

令和7年

決算特別委員会

9月8日

豊明市議会

決 算 特 別 委 員 会 会 議 録

令和7年9月8日

午前10時00分 開会

午後5時43分 閉議

1. 出席委員

委員長	中 堀 りゅういち	副委員長	郷右近 修
委員	岡 島 ゆみこ	委員	青 木 けんじ
委員	鈴 木 智 和	委員	浅 井 たかお
委員	こんどう のぶお	委員	鵜 飼 貞 雄
委員	いとう ひろし	委員	武 谷 としお
委員	林 ゆきひろ	委員	毛 受 明 宏
委員	月 岡 修 一	委員	一 色 美智子
委員	堀 内 ち ほ	委員	清 水 義 昭
委員	ふじえ 真理子		
議長	近 藤 ひろひで		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	加 藤 健 治	議事課長	深 草 広 治
庶務担当係長	福 田 悦 子	議事担当係長	矢 野 佑 輔

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小 浮 正 典	副市長	小 串 真 美
教育長	藤 井 和 久	行政経営部長	伊 藤 正 弘
市民生活部長	川 島 康 孝	健康福祉部長	塚 本 由 佳
経済建設部長	星 子 恭 士	教育部長	浅 井 俊 一
秘書広報課長	伊 藤 克 代	企画政策課長	萩 野 昭 久
公共施設管理課長	北 川 宜 志	情報システム課長	長 野 直 之
財政課長	浦 倫 彰	総務課長	田 木 勇
防災防犯対策課長	中 野 忠 之	税務課長	堅 田 直 寛
債権管理課長	高 垣 茂 晴	共生社会課長	松 本 小 牧

市民課長	杉浦由季	地域福祉課長	小野寺良夫
長寿課長	今枝翼	健康推進課長	川原静恵
こども保育課長	小川正寿	指導保育士	柴田美由紀
保険医療課長	近藤有紀子	子育て支援課長	松村清子
産業支援課長	塚谷友昭	農業政策課長	加藤直美
土木課長	外山紀元	都市計画課長	中田勝次
下水道課長	青山康德	環境課長	松本裕介
会計管理者 兼出納室長	相羽敏明	学校教育課長	秋永亘正
学校給食センター所長	矢野優	学校支援室長	奥平剛
生涯学習課長	山田隆貴	図書館長	水野美樹
監査委員事務局長	平下義之	重層支援センター主幹	岩佐智幸
指導保育士	鈴木祐見	秘書広報課長補佐	西森裕記
財政担当課長補佐	後藤明紀	監査委員	井上新
監査委員	服部龍一		

5. 傍聴議員

三浦桂司

6. 傍聴者

一般傍聴者 1名

午前10時開会

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 皆様、おはようございます。

定刻に御出席をいただきまして、ありがとうございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より御挨拶をお願いいたします。

市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、おはようございます。

本日からの決算特別委員会に付託されました一般会計、特別会計6件、及び企業会計の歳入歳出決算認定8件でございます。

令和6年度歳入歳出決算に続いて、慎重審査の上、認定いただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上、終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ありがとうございます。

続いて、議長より挨拶をお願いいたします。

○議長（近藤ひろひで議員） 皆さん、お疲れさまです。

なるべく質問がかぶらないようにというか、議案質疑等も行われていますので、そこで重複しないように心がけていただければと思います。

委員長、副委員長、よろしくお願い申し上げます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ありがとうございます。

ここで、市長におかれましては退席を願いますが、答弁を求める機会がある場合には、直ちに出席をいただきますようお願いいたします。

（市長退席をなす）

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可いたします。

本日の決算特別委員会の進め方につきましては、9月5日の委員会で協議されており、その結果に従い進めさせていただきますので、御協力をお願いいたします。

一般会計については、原則として、款別に所管の部長等により説明を受けた後に質疑を行い、特別会計、企業会計については各会計別に進めます。

なお、総括質疑は、一般会計の各款別の質疑終了後、行います。

討論については、特別会計、企業会計の質疑終了後に一括して行い、採決は会計ごとに行う予定でありますので、よろしくお願い申し上げます。

次に、職員の方をお願いをしておきますが、8日、9日及び10日の3日で審査を行う予

定であり、特に重要な部分を資料に従って簡潔に説明をしていただき、直ちに答弁できないときは、後から答弁をしていただくということで次の質疑に移りますので、御協力をお願いいたします。

議事の進行により、説明者の入替えのために休憩を取りますが、速やかに行ってくださいようをお願いいたします。

また、当局におかれましては、議論を深めるために反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ反問するようお願いいたします。反問を終了するときも、意思表示を明確にされるようお願いいたします。

会議に入る前に御報告いたしますが、会計管理者所管の歳入簿及び歳出簿等が提出されております。後ほど各自で御自由に御覧いただきたいと思っておりますので、御参考に願います。

あと、副委員長からも報告事項がございますので、副委員長、お願いいたします。

○決算特別副委員長（郷右近 修議員） 報告というか、御案内のようなものなんですけど、まず、2点あるんですが、1点は、事務局からの御案内もありましたが、サイボウズ上で案内もありましたが、サイドボックス上にこれからの審査に用いられる資料がまとめて掲載されています。場所は特別委員会の中の決算特別委員会のほうのフォルダーです。令和7年の9月8、9、10日開催というところにずらっと並んでいます。一つ一つだけを見れるようにもしてありますし、まとめて全部を見られるように、上の左から3番目の最後に（一覧）と書いたものを開きますと全部、ずっとページ続けて見れるようになっています。それが1点目です。

それからもう1点は、くどいようなんですけど、今、私がお話ししているとおり、マイクと、あと音声で拾って後々議事録もつくりましますので、丁寧に、ゆっくりで結構ですから、マイクに乗るように御発言いただきたいと思っております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） それでは、会議に入ります。

○議長（近藤ひろひで議員） すいません、先ほどの話、議場で議案質疑って発言しましたけど、これについては行われていませんので。建設文教委員会の冒頭で挨拶しようと思ったことを、10日ぐらい前から考えてたものですから、間違えてしゃべりました。訂正、削除してください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいでしょうか。

それでは会議に入ります。

認定議案第1号から認定議案第8号までを一括議題といたします。

初めに、認定議案第1号について、説明及び質疑を行います。

現金の保管及び一時借入金の状況並びに財産の保管及び移動状況について、会計管理者

より説明をお願いいたします。

相羽会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） それでは、令和6年度の現金及び財産等の保管、移動状況について説明をいたします。

初めに、現金の保管状況を御説明いたしますので、事前配付させていただきました決算資料ナンバー1、令和6年度現金保管状況（各月末残高）を御覧ください。

これは、本市における6年度の各月末の現金保管残高を表したものであります。一般会計と特別会計を合わせました支払い資金に充てる歳計現金欄の各月末残高は、月平均で約19億円でありました。なお、本年度は、令和7年2月におきまして、一時的に一般会計にて資金不足が生じたので、基金より5億8,000万円を繰替えにて運用いたしました。

歳計外現金欄の各月末残高、平均約3億円は、市県民税案分後の県民税や職員の所得税など、保管金の一時預り金であります。

基金につきましては、6年5月に約9,000万円ほど積み増しし、また同年11月には国保財調を一部取り崩しをいたしまして、7年3月には約23億円となっております。

また、一番右側にあります下水道事業会計のもので、月平均約7億円でありました。

続きまして、財産の移動状況を説明をいたします。

歳入歳出決算書267ページからの財産に関する調書を御覧ください。

まずは、公有財産（1）土地、建物の状況でございます。

最下段の土地の欄、年度中増減高が101.82平米の減でございます。これは山田グラウンドの用地購入もございましたが、旧内山保育園の土地を行政財産から普通財産に変更する際、現況道路になっている筆を除きまして、また改めて測量を行った結果、旧内山保育園の面積としては減として整理したことが主な要因でございます。

また、建物の延べ床面積でございますが、657.75平米の減でございます。これは、館小学校の教室棟の建設もございましたが、旧内山保育園園舎の無償譲渡が要因でございます。

続きまして、275ページを御覧ください。

公有財産の（2）山林から8、不動産の信託の受益権までは、前年度と同様で、変化はございません。

次に、276ページからは物品の保管状況であります。

物品により増減はございますが、280ページにございますように、年度末現在高は1,108点でありました。

続きまして、281ページを御覧ください。

3、債権は、市民税の特別徴収分4月、5月分でございます。年度末現在高は5億9,616

万6,000円となりました。

4、基金につきましては、最下段を御覧ください。6年度中に1億1,908万3,429円増加いたしまして、年度末現在高は128億3,120万7,913円となっております。

以上で、現金及び財産等の保管、移動状況の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ただいまの説明に対して質疑に入ります。

なお、当局の的確な回答を得るため、質疑については必ずページ数と項目を明示してから質疑を行ってください。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算資料1番の現金の保管状況についてですけども、まず、ちょっと確認からですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ごめんなさい、ページ。

○林 ゆきひろ委員 決算資料のナンバー1の現金保管状況で、この一番下のところに書いてあります、2月末に基金から歳計現金へ5億8,000万というのは、これは基金を取り崩してというんですかね、基金から現金化をして活用したというふうに理解すればいいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 相羽会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） 基金を取崩しということではなくて、一時的にお借りしたということで御理解いただきたいと思います。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、まず2点ほど聞きたいんですけど、1点目は、これで一時的に活用して、いつこれは戻したのかということと、あと、これは確かに、令和7年の2月に結構一般会計の現金が減っているんですけども、この要因というのは何だったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 相羽会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） 資金が枯渇するというふうに見込まれたのが2月末なんですけど、厳密に申し上げますと、2月20日から3月27日まで運用したということで御理解いただきたいと思います。

さて、その要因につきましては、例年2月には歳計現金の減少が見られるんですけども、6年度の歳入では、国からの補助金の交付時期が昨年より遅くなったものがある一方で、歳出では、扶助費や民間保育所への負担金など、月別に支払う額が、2月までに支払

う額が5年度と比較し増加をしております。こういったことが、2月に歳計現金の資金不足が生じたということで分析をしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 繰戻しの時期というのはいつになるんですか、そうしたら。3月27ということですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 相羽会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） 3月の末でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それと、基金が120億ほどあるんですけども、この運用状況というのはどういうふうですか。定期預金とか債権とか、大体でいいんですけど、何割とか幾らぐらいというのがあれば、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 相羽会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） 決算資料の1で申し上げますと、123億ございます。このうち、債権のほうが約4億円でございます。その他が銀行預金ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そのほかの銀行預金というのは、全てこれは定期預金というふうに理解していいんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 相羽会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） 一部普通預金がございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のその一部普通預金というのが、今回現金化した5億8,000万、それ以上定期預金ではなくて普通預金で管理されていたという、そういうことですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 相羽会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） 普通預金が4億円で、それ以外が定期預金ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 普通預金が4億円だとすると、定期預金を……。違いますか。普通預金はどれぐらいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 相羽会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） すいません。先ほど、すいません、4億が普通預金というふうに申しあげましたが、4億は債券でございます。普通預金がたしか5億ぐらいございました。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 だから、そうすると、5億8,000万繰り替えしたということは、これは定期預金を一部取り崩して繰替えをしたということなんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 相羽会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） すいません、普通預金でございます。定期預金は崩してはおりません。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、5億円以上定期預金組んでいない普通預金の金額があったということなんですかね。幾らなんですか、普通預金の金額って。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 相羽会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） ちょっとお時間いただけますでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） それでは、少々お待ちください。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 相羽管理者、まだ時間かかりそうですか。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） 手元に資料がなく……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） それでは、暫時休憩といたします。

午前10時17分休憩

午前10時20分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

それでは、先ほど林委員より質疑がございました部分に関しまして、相羽管理者、よろしいでしょうか。

相羽管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） それでは、すいません、普通預金のほうが約1,000万弱プラス、すいません、1,000万と、あと5億8,000万円の普通預金もございましたので、約5億9,000万が普通預金で持っておったという分でございます。あとは定期預金ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

相羽会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） すいません。

先ほど決算書の基金の状況について御説明をさせていただいたんですが、私、1億1,908万3,429円の増加と申し上げましたが、減少の誤りでございますので、訂正させていただきたいと思います。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 増加ではなく減少でしたね。分かりました。

ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） これにて、現金の保管及び一時借入金の状況並びに財産の保管及び移動状況についての質疑を終わります。

続いて、一般会計の歳入全体について、伊藤行政経営部長より簡潔に説明を願います。

伊藤行政経営部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） それでは、財政状況の概要から御説明いたします。

主要施策の成果及び予算執行の実績報告書の4ページをお願いいたします。

4ページの上段の普通会計ベースの令和6年度決算状況の歳入総額を御覧いただきたいと思えます。

令和6年度は、前年比でございまして、106.9%の291億9,729万9,000円でございまして、プラスの18億8,109万7,000円となっております。主な要因は、地方特例交付金と国庫支出金等でございます。

その2つ横の歳入歳出差引き15億4,861万5,000円が形式収支となります。ここから、その横の翌年度へ繰り越すべき財源1億1,329万5,000円を控除した14億3,532万円が実質収支となります。実質収支は前年度に比しましてプラスの4億8,486万6,000円でございます。これがその横の単年度収支額となります。

続きまして、5ページの財政構造の状況をお願いいたします。

表の基準財政需要額と基準財政収入額の差が普通交付税額となります。普通交付税、お

よそ、額で22億5,800万円で、2億2,900万円ほどの増加となります。財政力指数は先ほどの収入額を需要額で除したものでございまして、表中は3か年の平均でございまして、

最下段の公債費比率は、標準財政規模に対する公債費の割合でございまして、

続きまして、6ページの市債の状況をお願いいたします。

上段の(1)全体の推移の表の最下段、年度末現在高は、令和5年度に比べましておよそマイナス11億円でございます。本市の市債残高及び各年度の償還状況は、初日の健全化判断比率における実質公債費比率及び将来負担比率の報告の際にもお伝えをさせていただきましたとおり、健全な状況でございます。

続きまして、8ページ上段の消費税交付金充当表をお願いいたします。

地方消費税交付金でございますが、通常収支分と社会保障費とに分かれて交付をされます。増額部分は社会保障費への充当となります。交付額に対する社会保障費への充当割合は57.1%となりました。

続きましては、下段の基金残高でございます。

一番上の財政調整基金の年度末残高は36億8,900万円でございます。令和5年度末に比べまして、プラスの2,009万2,000円でございます。そのほかの基金も含めまして、経済状況の変動、災害対応、施設等の長寿命化対策などの財政需要、さらには増加する福祉需要に対処するため、基金による財源確保を進める必要があるというふうに考えております。初日の健全化判断比率の報告の際にもお伝えしましたが、この基金残高の状況により、将来負担比率が健全な状況でございまして、将来への連続性が確保されております。

9ページ上段では、都市計画税の充当状況をお示ししております。

それでは、一般会計の歳入決算について御説明をさせていただきます。

前年度との比較ができますので、監査委員の監査意見書にて御説明をさせていただきたいと思っておりますので、監査委員の意見書の10ページをお願いしたいと思います。

意見書をお持ちでない方は、決算書で8ページからになりますので、御覧いただきたいと思っております。

令和6年度の決算額でございますが、291億7,688万1,860円で、前年度決算額と比較をしますとプラス約18億8,000万円となります。

12ページをお願いいたします。

1款の市税につきまして、12ページの1款の市税でございます、収入済額は112億396万4,318円でございます、前年に比べますとマイナスの約2,595万5,000円でございます。失礼しました。

続きまして、16ページでございます。

16ページ中段の9款 地方特例交付金でございますが、前年度からプラスの3億2,045万4,000円となりました。

下段の10款の地方交付税でございます。地方交付税は24億6,233万円でございます。前年度からプラス2億1,919万1,000円でございます。

続いて、少し飛びまして、19ページに進ませていただきます。

14款の国庫支出金でございます。国庫支出金の合計は52億706万2,644円で、前年度に比べますとプラス6億9,347万923円でございます。この主なものでございますが、意見書に記載していただいておりますとおりでございますが、増額の主な要因として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、ここがプラス3億3,318万8,000円、都市構造再編集中支援事業費補助金、ここがプラス3億7,300万円でございます。

続いて、21ページをお願いいたします。

17款の寄附金でございます。寄附金は2億9,380万5,540円ございまして、対前年でプラスの2,759万5,040円でございます。中央競馬会からの競馬場周辺整備事業寄附金は2億5,606万円の御寄附をいただき、ふるさと豊明応援寄附金は全てトータルで2,417万8,840円の決算となりました。また、企業版のふるさと納税寄附金は460万円や、教育費の寄附金で715万円など、市民の皆様、また事業所の皆様から多くの御寄附をいただいております。

中段の18款の繰入金でございます。19億9,863万8,410円で、前年度比で行きますとプラスの2億6,226万3,433円でございます。財政調整基金の繰入金は前年度比でプラスの1億2,508万3,000円、水上太陽光発電事業特別会計から一般会計への繰入れにつきましてはマイナスの829万1,000円でございます。

下段の19款の繰越金でございますが、11億3,363万8,806円で、前年度に比べますとマイナスの4,042万6,569円でございます。

22ページ、22ページ下段の21款の市債でございます。市債は5億970万円ございまして、前年度よりマイナスの3億3,070万円でございます。マイナスの3億3,070万円でございます。

なお、満額発行が前提となります臨時財政対策債は、普通交付税のほうで全額措置されましたので、発行額はゼロとなります。今後も、発行額が必要ということで示される場合は、満額発行となります。

以上で一般会計の歳入全体の説明を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ただいまの説明に対して質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の14ページの個人市民税と法人市民税のことをちょっとお聞きしたいんですけども、まず、個人市民税が3億ほど減っているのは定額減税の関係かということと、法人市民税が、これは6,000万ほど増えているんですけども、この理由は何でしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堅田税務課長。

○税務課長（堅田直寛君） まず、個人の市民税のほうから御説明させていただきます。

均等割、所得割がありますけども、所得割につきましては、今、林委員がおっしゃっていただいたとおり、定額減税の影響での減になります。

均等割の減につきましては、昨年度から市県民税が3,500円から3,000円に下がったということでの減少という形になっております。

法人につきましては、こちらのほうにつきましては、コロナからの企業業績の回復したことというふうに分析しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の個人市民税のところ、ちょっと、しっかり説明、理解しにくかった部分もあるんですけども、定額減税で減ったと思うんですけど、定額減税が、ほかの多分歳入で入ってきていると思うんですけども、どのぐらい市に定額減税分で国の補填として入ってきているかということと、それを含めると、大体個人市民税というのはどれぐらいの金額になるかというのは、分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦財政課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 定額の減税と同額が地方特例交付金で入っておりますので、失礼しました、減税の分と同額が地方特例交付金の歳入に入っておりますので、その点で地方の差引きはプラスマイナスゼロというところがございます。そのおおむね3億を市税に足していただくと、現実の、実態の市税ということになってきますので、そういった点では、前年に比べて増額になっているというふうに考えております。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいでしょうか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 確認ですけど、そうすると、3億足して4億6,500、違うか、46億と5,700万ぐらいで、微増か、ほぼ同じか、そういうふうでいいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） 所得割のほうだけで見ますと、2億3,000万ぐらいの決算の減になっておりますので、今回の定額減税が約3億1,000万という形になっておりますので、その分が実質的には伸びていたという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、相殺といいますか、足すと、なので、ほとんど同じか、ちょっと増えているかという、そういうふうで理解していいんですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） 今、林委員がおっしゃったとおり、その分が伸びたという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、実績報告書7ページの市債のところですけども、これだけ5億970万の起債をされているんですけども、まず、この中で、これ、全て交付税算入されるのか、されないものもあるのかということと、あと、この中でも利率が2%とか結構高いものもあるんですけども、それはどういうふうに決めているのか、入札とかそういったことをされているのか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 今回このページでお示ししているものについては、まず1点目の交付税措置は、全てあるもので構成されているというところがございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

○財政課長（浦 倫彰君） 2点目ですね、すいません、失礼しました。

2点目の利率のところでございますが、基本的には、昨年度お答えしたかと思いますが、ここに記載をしている公的資金を借りるほうが有利ですので、まずは公的資金を借りるという形で実施をして、それができなければ、基本的には民間の金融機関からということになっていますが、民間の金融機関を借りる際も、競争して利率の安いところ選ぶという形にしておりますので、基本的には安いものを選んでいくというところがございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員　まず、この2%のところは地方公共団体金融機構となっているんですけども、これ、公的機関だと思うんです。民間のところはもっと低いところも見られるんですけども、入札をされなかったのはなぜですかね。公的のほうがこれでも安い状況だったんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君）　理由は2点ございまして、1つは、歳出の工事と一緒にすけれども、基本的には入札、これは疑似的な入札です、競争ですけれども、それは結果ですので、結果でこういうのが出てくるということと、仮に、全ての本市の資金需要を民間で賄うということが現実可能かということがありますので、公的資金で賄えるものは、原則安い利率が提示されていますので、そこで借りていくということを前提にして、残りの資金需要を民間で調達するというほうが適切だというふうに考えております。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　ほかにございせんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員　決算審査の意見書の13ページの下です。不納欠損の処分状況が表で出ております。

令和5年度と比べてぼんと上がっているように思うわけですが、主なものは個人市民税であるというふうにあるんですが、こういった傾向、令和6年度、どのように、市民の生活に関わるんですが、どういうふうに分析されていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　高垣債権管理課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君）　今回額が増えているということで、一部で高額の欠損があったことと、あと、過去からの滞納分が時効を迎えまして、その額が増えたためと分析しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員　決算書の40ページの真ん中辺り、雑入のところですけども、これはもしかしたら環境課とか、そういうところで聞いたほうがいいかもしれないですけども、真ん中辺りの再商品化事業者の市町村の拠出金がかかり、半額ぐらい減っているんですけども、これは何か市のやっている施策だったりとか、そういうことが何か影響して減ってきているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 確かに、水平リサイクルでしたかね、それを実施しておりますので、令和6年からの回収ペットボトルの水平リサイクルを行ったことによって、売却収入が変動しているというところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の25ページで、真ん中から下ぐらいで物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金の、こちらの内訳を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 内訳というのは、どんな事業に充当したかということによろしいでしょうか。

主なものでお答えをさせていただきます。

物価高騰対応重点支援給付金という給付制度で、およそ5億6,000万円でございます。次に、給食費の補助事業でおよそ8,900万円弱というところでございます。残りの事業は1,000万円程度の額になっておりますので、基本はその2つかなというふうに思います。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところで、これ、資料請求したんですけど、ないというのは、一覧はまとまってないんですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） 現存する一覧という資料がなくて、歳出側で繰越事業があったりとか、そういう形で存在するものですから、1年遅れみたいな形で私たちもまとめているという実態がありまして、今、財政課長のほうからは、主なものの口頭で御説明をさせていただいたということです。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 国に、多分というか、申請すると思うんですけども、それはまだ出してないということなんですかね。何に使うかというのは。まとまっていないですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） これ、ちょっと予算とまた違う、決算と違う。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 資料請求で必要な資料は各課お出ししていますので、出せるものは今出しているということなのじゃないかなというふうに思いますので、基本は今、私のほうで、充当なりはお答えさせていただいた内容だというふうに説明をさせていただきます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員、決算の中身に対して。

○林 ゆきひろ委員 これの用途を細かく教えてほしかったんですけど。これ、国が出している交付金で、それに対して何に使うかというのは申請していると思うんですけど、これ、まだ申請してないということなのか。どういう状況なのかっていうのを聞きたいんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） ちょっと確認をさせていただきますので、少々お時間いただきたいと思います。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにありますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど個人市民税と法人市民税のことで、ふるさと納税で市外のほうに流出している金額、個人と、あと法人のほうも企業版があると思うので、その辺りも分かればお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） まず、個人の令和6年度のふるさと納税寄附金税額控除につきましては、約2億5,100万という形になっております。

企業のほうですね、ふるさと、企業のほうにつきましては、特定寄附金税額控除につきましては756万という形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 先ほど、ふじえさんの質問のところの関連なんですけども、不納欠損のところ、549万円で、決算書の39ページに生活保護費の滞納繰越分172万8,000円があるんですけど、この差額が滞納金額の残になっているんでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） すみません、質問、ごめんなさい、後半がちょっと聞き取れなくて。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） じゃ、武谷委員。

○武谷としお委員 不納欠損額549万円で、こちらの決算書の39ページに生活保護費の滞納繰越分172万8,000円、これを相殺した額が残、滞納金額の残なんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 生活保護費はこちらには含まれておりません。あくまでも税のところでの範囲になりますので、不納欠損には含めないという形になります。

（含めない。ありがとうございますの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の35ページで、財産売却収入の土地建物売払い代金、これ1億3,210万455円かな、この場所はどこですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 今、御質問ありました1億3,200万円の売払いの場所で、一番大きな主なところでお答えをさせていただきますと、栄町梶田の辺りの土地というところになります。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 武谷委員。

○武谷としお委員 決算書の22ページです。

13款1項5目の公園使用料と有料公園施設使用料、これ、2つに分かれているんですけども、この中身の違いつて何でしょうか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） ちょっと少額で、申し訳ありません、ちょっと把握をしておりますが、恐らく何らかの用途の区分で違いがあると思いますので、ちょっと確認した後ほどお答えします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、実績報告書の9ページの一番上の都市計画税の充当で、資料のほうだとナンバー4の③ですけども、この資料だと、全然ざっくりしてて分かりにくい

んですけども、例えば、この街路の大久伝二村台線の改良事業費がどれぐらい充てられていて、この「等」というのはどういう事業があるのか。

それから、公園についても、公園の施設改修事業でどれぐらい、公園の施設維持管理事業でどのぐらいで、「等」はどういう事業があるのか。

その他も、土地区画整理事業でどのぐらいで、「等」でほかにどういうものがあるのかということをお聞かせいただきたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） まず、先ほど利率のことを御質問いただいたときに、ちょっと分かりにくい伝え方してしまって、公的資金が優先しますということをお伝えしたんですが、優先というか、公的資金を借りるという条件になりますので、公的資金を借りることがまず先に、大前提として国のルールであってという形になりますので、それは、すいません、改めて補足をさせていただきます。

2点目の都市計画税です。都市計画税につきましては、例えば街路の、主なものでいうと平手豊明線の工事でおよそ2,700万円ほどですとか、前後駅前広場デッキで4,700万円ほど、公園であれば三崎水辺公園で7,000万円ほどと、間米の区画整理で4億6,000万円ほどというところがございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 まず街路の、ごめんなさい、大久伝二村台線の改良事業費がどれぐらい充てられているかということと、あと「等」は教えていただいたんですけど、土地区画整理事業のそれ以外の部分の「等」というのは何があるかということ、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 資料請求を今見ていらっしゃるっていう形でしょうか。

（どちらも見てますの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書と内訳という資料を両方見比べて聞いているんですけども、事業ごとに聞きたいので、例えば大久伝二村台線の改良事業がどれぐらいか、あと土地区画整理、ここに市街地開発関連事業等って書いていますが、「等」は土地区画整理以外にどういうものがあるかということをお聞かせください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

(内訳はちょっと今お答えをの声あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 浦課長。

○財政課長(浦 倫彰君) 大久伝二村台線などの道路のところでお答えしたとおり2,700万円ほどで、駅前広場デッキで4,700万円ほどで、公園が4,700万円で、区画整理のその他ということですかね、最後。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 林委員。

○林 ゆきひろ委員 土地区画整理事業等って書いてある。で、先ほど4,600万というのを聞いたんですけど、それ以外どういう、その他の中の土地区画以外がどういうものがあるのかということです。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 答弁願います。
浦課長。

○財政課長(浦 倫彰君) 河川改修の工事などが含まれております。
終わります。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 林委員。

○林 ゆきひろ委員 河川改修というのは、境川のところでの河川敷とか、そういうあれなのか、どこのどういう川になるんですか。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 浦課長。

○財政課長(浦 倫彰君) これは寺池関連のという形ですので、境川ではないかなというふうに思います。
終わります。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) ほかにございませんか。
一色委員。

○一色美智子委員 自主財源の中でも、特に市民税、固定資産税……。
(マイクの声あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) マイクのスイッチが。ちょっとお待ちください。

あと、ページか何かあればお願いします。

(発言する者あり)

○一色美智子委員 ごめんなさい。

自主財源の中でも、特に市民税と固定資産税の構成比が高いと思います。固定資産税の評価替えによる影響なんですけども、令和6年度にどのぐらいあったのか、また、土地の価格の動向とか、人口構成の変化が影響しているのかどうかというのが、ちょっと分かれ

ばお聞かせください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） ごめんなさい、今のお話なんですけど、今おっしゃっていただきましたとおり、令和6年度が固定資産税の評価替えの年度でございました。額というよりも、理由としましては、こちらのほう、地価のほうは上昇しております、それに伴って評価額も上がったよということと、住宅につきましても、新築住宅ですとかリフォームされた建物、そういった評価額が見直されたこと、また、原材料費とか、労務費の上昇が建築単価に反映されたということで家屋の評価額が高くなったということと、あと、納税義務者数も増えているということがあって、全体的にそういったことでの要因で、固定資産税が増えたという形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ちょっとストップです。

マイク、ちょっとバッテリーに不具合ございますので、いましばらくお待ちください。

事務局、これは終わりましたか。

それでは再開いたします。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 先ほど、武谷委員のほうから御質問のありました、すいません、公園使用料と有料公園施設使用料の違いはなんですかというところでございますが、公園使用料については、中電さんとかの電柱の使用料というものの歳入でございます。有料公園施設の使用料については、落合公園などのテニスコートの使用料ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） 先ほど、林委員からの御質問の関係で、物価高騰の関係の資料が存在しておりませんという説明をさせていただいたことを、少し補足をさせていただきます。

国のほうから指定される事業がございます、それに充当して、それ以外の残り分、市の裁量分みたいなことで、何をやるかということで、財政課長から先ほど主なもの、御説明させていただきました。まごころサポート便であったり、高齢者タクシー事業であったり。

あと繰越しがありますのでという御説明を申し上げたのが、新入学祝い金が繰越しで、歳出側で事業として実施しております。そういう形で、決算のほうは新年度側で確定してくるということもありまして、資料としての取りまとめがずれるというお話をしたつもり

でございます。

で、申請の時期が曖昧でございましたので、申し訳ありませんでした。申請の時期につきましては、1月に申請をさせていただいておりました、3月の概算払いというようなやり取りに国とはなっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） 先ほど、一色委員からの御質問があったときに、私がちょっと家屋の関係で少しちょっと言い間違えましたので、訂正させていただければと思います。

家屋の評価額が上がった理由としましては、新築住宅、そちらの分がということで、リフォーム等につきましては直接の関係はございませんでしたので、大変失礼いたしました、訂正をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 実績報告書から2つ質問します。

4ページの、市民税は減少している一方、交付税は増加していると思います。臨時財政対策債との関係、市民税や交付税の決算をどう認識しているかが1点目。

同じく実績報告書の5ページですけれども、基準財政収入額も増加していますが、これは固定資産税などが伸びたというのが理由でしょうか。

以上2点です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 2点ですかね、いただきましたので、順にお答えをさせていただきます。

市税の減少と交付税の増加の件は御指摘のとおりです。国や地方共に税収堅調ですので、地方交付税、上昇して、臨時財政対策債がゼロになっているというところでございます。市税、先ほどもお答えいたしました、定額減税分を除けば125億になっていますので、増加をしているというところでございます。

あと、2点目の基準財政収入額の増加の部分でございますが、御指摘のとおり、固定資産税ですとか、地方消費税の交付金とか、そういったものが伸びているというところでございます。

あと1点、ごめんなさい、私、先ほど林委員の都市計画税のところ、多分、大久伝二村台線のことを分かりにくかったのは、大久伝二村台線と資料では書いてあるんですけど、

私、都市計画名で平手豊明線と答えてしまったので、同一のものかちょっと分かりにくかったということでございます。失礼しました。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 まず、先ほど部長から物価高騰のことを説明いただいたんですけど、要は概算払いのときの申請で、どういうものを申請したかということが聞きたかったんで、今お答えいただいたことでいいですかねということと、あと、都市計画税の充当のほうは、今後もう少し詳細に資料を出していただきたいなと思うんですけど、土地区画整理事業の先ほどの「等」の寺池関連で、河川という話だったんですけど、ちょっとそれがどこかイメージがわからないんですけども、どの辺りのどういう工事で都市計画税を充てているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） 前段のほうは先ほど申し上げて、口頭で申し上げた事業に充てるということで御理解ください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） ちょっと、全ての細かい資料はちょっとお持ちしておりませんので、恐らく地区外の排水工事の関係ということだと思います。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 まずは、都市計画税は今後もう少し詳細に最初から出していただきたいということと、先ほど、充当事業の、ごめんなさい、実績報告で、7ページのことで、国のルールがあってということで、多分2%で地方公共団体の金融機構で、結構利率が高いところを選んでいているというのは、もう国で、この事業はここのところから借りてくださいというのは出ているのか、市の裁量で入札にするということとはできないという、そういうふうには理解していいんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） できないと、そういうルールですね、それでも金利が上がっていますので、低く抑えられているもので借りられるように、国のほうで措置しているものをルールどおり借りるのが優先になるということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の36ページ、繰入金で基金繰入金、これの教育施設建設及び整備基金繰入金1億6,700万、これは何に使われたのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基金の繰入れでございますが、令和6年度については、主なものでお答えをいたしますと、館小学校の校舎建設工事などでおよそ1億強、1億1,000万円ほど使っていると。もう一つが、中学校のプロジェクター型電子黒板の設置で3,300万円ほどなどというところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その下の公共施設建設の1億6,500万、これの、何に使ったんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 公共施設建設及び整備基金の内訳でございますが、主なものをこちらもお答えをいたしますと、まず防災調整池の対策事業におよそ3,000万円強使っておりまして、あと農水管の改修工事に2,500万円ほどで、桜丘沓掛線の道路改良事業の町債関係で1,300万円ですとか、土地の購入などで1,800万円といったもので使用しております。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 すいません、もう一つ、福祉基金のほうもお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 福祉基金につきましては、心身障がい児者の扶助事業や後期高齢者医療の給付関連、福祉医療関連などにそれぞれ5,000万円ずつですとか、館保育園の改修などに3,000万円を超える額を充当するですとか、HPVの接種委託に4,000万円ほどというようなものを、失礼しました、HPVは最終的には4,500万円ほど充当するということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書42ページの臨財債ですけど、決算書にはゼロとなっていますが、監査意見書の7ページを見ますと、6年度の臨財債の発行可能額というのが6,900万ほどあるんですけども、これ、可能だけど借りなかったと。今まで満額借りてたんですけど、今回は借りなかったと、そういうことなのでしょう。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 満額発行前提でございますが、令和6年度については、当初で7,000万円、満額お示しされた後で、国が収税好調なので、普通交付税に振り替えますというふうになりました。ここがゼロになっていないのは、本市のように年度末に借りる自治体だけではなくて、もう既に借入れをしてしまっている自治体もあるので、それをゼロに、マイナス、してしまうと、借りたところには臨財発行できなくなるので、交付税側で臨財債分を払うので、借りてしまったところはそれを措置するし、借りずに済むところは借りずに交付税で対応してくださいという形になりますので、本市の場合は交付税で、借りてなかったの、対応ができていてということで、額が出ていますけれども、現実には国のほうで、最終的には臨時財政対策債はゼロになっているというところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の38ページ、雑入です。これの一番下の自治総合センター助成金、これ、1,000万がありまして、次の39ページ、次のページ飛ぶと、真ん中辺に自治総合センター助成金250万ってあるんですけど、これの違いはどうなるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） それぞれの助成金については、ちょっと所管部署がちょっと違いますので、それぞれ用途が違うというところでございますので、ちょっと後ほど回答をいたします。すいません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ごめんなさい、先ほどちょっと臨財債のことで。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ページ、何ページですか。

○林 ゆきひろ委員 今、監査報告書の7ページの、この6,900万のところなんですけども、先ほどの課長の説明ですと、普通交付税でこの臨財債可能分は払ってもらったのでと

ということだったと思うんですが、そもそもこの発行可能額というのは、標準財政収入額と基準財政需要額の増差額により普通交付税が出されて、そのさらに足りない部分を臨財債の発行可能額としてたと思うんです。そうすると、この金額が出るというふうなんですけども、まさにこの7ページのところに普通交付税額って出ているんですけども、これはこの金額だけ発行可能額がゼロという、そこのところの原理がちょっと分からない。もし、浦課長が言うとおりであれば、普通交付税額がもう少し、発行可能額も含めて、ここに書いてある数字が高くなってないと計算がおかしいような気がするんですけど。もうちょっと説明をしてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 臨時財政対策債が、額が出ているけれども、現実には借りなくてもいいよというふうにしている仕組みでございますが、ここに最終的な普通交付税の決定額、書いていますので、この額で確かに計算をしていって、豊明市も林委員が御指摘のように、監査意見書に書いてあるとおり、7,000万円、臨時財政対策債の発行可能額というものが残っていますというところでございます。

で、通常であれば満額発行するんですけども、満額発行しない理由がちょっと分からないというところかと思えます。現実には普通交付税が追加交付で多めに入ってきて、そこに臨時財政対策債は結果としてゼロにしてもいいんですけども、7,000万円残っていて、本市は借りずにいきますと。で、借りてしまっている団体もありますということのプラスマイナスがどう調整されるかですけども、本市は借りなかったので7,000万円提示されていますけれども、実際にはそこは借りてないと。借りてしまったところは、後年の交付税で減額されるという措置だというふうに御理解いただければいいと思います。本市は、それは基本的には対応できていますので、それは対応せずに済んでいるというところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 決算書の38ページ、先ほど、自治総合センター助成金のところなんですけど、これ、去年が500万で今年度が1,000万になっているんですけど、この2倍になった理由を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 今確認をしておりますので、お待ちください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書39ページ、雑入です。

上から2番目の太陽光発電パネル撤去再設置工事費負担金、これ、180万ほどですね。これ、場所はどちらになるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） これは恐らく学校の工事で外しているかと思っておりますので、それで御理解いただければと思います。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 今の関連で、たしか学校のほう、撤去するときに、業者さんが負担するよという、そういった件ですよ。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 鵜飼委員御指摘のとおりです。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の22ページの上の四角の中の老人憩の家施設行政財産目的外使用料で、金額は小さいんですが、私の理解不足だったらすみません。

老人憩の家ってもう全て譲渡されているかと思ったんですが、令和6年度、すいません、ちょっと説明をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

塚本健康福祉部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 今、委員の御指摘のとおり、老人憩の家は全て今地域のほうに移管されている状況ですが、建っている下の土地、そちらはまだ市が所有しているものがありまして、そこに電柱とかそういったものがあるものですから、そちらの分となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 39ページ、決算書、これの下のほうの心身障害児扶助費過年度返還金なんですけど、これってどういったものなんですか。どういった事業所から入ったん

でしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本、扶助費の返還については、年度で完全に額が確定しませんので、追加交付もあれば、返還もあるということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 今、委員御指摘の心身障がい者のところでございますが、令和6年度ですが、障がい福祉サービス事業所におきまして、国や県から行政処分を受けたことに関連いたしまして、3事業所ですが、返還がありましたので、そちらの雑入でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 決算書の39ページの上から5番目の不用情報機器の売払収入12万1,000円、これは内容は何でしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本的にはパソコンなどでございます。

終わります。

で、すいません、委員長。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） はい。

○財政課長（浦 倫彰君） 先ほど浅井委員から、自治総合センターのことで御質問がありました。まず1,000万円はひまわりバスの購入に当たるものでございます。

もう一点が、共生社会課所管でございますが、区に対する備品の補助でございます。減額しているのは、基本的には団体数の減少というところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて一般会計の歳入全体の質疑を終わります。

次に、一般会計の歳出に入る前に、職員の人件費について、一括して伊藤行政経営部長より説明を願います。

伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） よろしく申し上げます。

令和6年度の職員給与費の決算につきましては、事前に配付をさせていただいております決算資料2というものに沿って説明をさせていただきます。

特に前年度と比較をしまして、増額、減額となった理由を中心に説明をさせていただきますが、一般会計及び各特別会計間は職員の人事異動によっても前年度との給与差が生じてまいりますので、この説明は全会計の合計額で行いたいと思っております。

また、表の括弧で示している金額は、特別職の給与費を除いた額を表示しておりますが、説明は特別職の給与費を含めた総額で行います。

それでは、説明に入ります。

令和6年度職員総数は、市長以下、再任用職員を含め454名でございます。前年度より9名の増となっております。

給与費の支出額合計は26億9,526万9,651円で、前年度と比較しまして8.7%増、金額にして2億1,638万円余の増額となります。

次に、表の各項目別に説明をさせていただきます。

2、給料の決算額は15億7,974万1,842円で、前年度と比較しますと9,219万円余の増額となりました。増額要因の主なものとしましては、職員数の増、及び人事院勧告による給料等の引上げによるものでございます。

3の職員手当等の令和6年度決算額でございますが、11億1,552万7,809円で、前年度と比較をしますと1億2,419万円余の増額でございます。

扶養手当の決算額は2,907万2,979円で、前年度と比較しますと196万円余の減額、地域手当の決算額は1億9,565万6,899円で、前年度と比較しまして4,172万円余の増額でございました。

住居手当の決算額は1,568万347円で、前年度と比較しますと185万円余の増額、通勤手当の決算額は1,999万9,070円で、前年度と比較しまして27万円余の増額でございました。

特殊勤務手当の決算額は57万3,900円で、前年度とほぼ同額でございます。

超過勤務手当の決算額は8,053万5,523円で、前年度と比較しまして1,207万円余の増額でございました。

管理職手当の決算額は5,309万9,300円で、前年度と比較しまして93万円余の増額でございます。

期末手当の決算額は3億8,916万7,341円で、前年度と比較しまして3,606万円余の増額でございます。

勤勉手当の決算額は3億969万5,950円で、前年度と比較しまして3,120万円余の増額でございました。

管理職特別勤務手当の決算額は7万1,500円でございます。

教員特別手当の支給はございませんでした。

児童手当の決算額は2,197万5,000円で、前年度と比較しまして205万円の増額でございました。

決算資料ナンバー2の説明は以上となります。

なお、歳入歳出決算書に説明をさせていただいております人件費につきましては、所属ごとの管理ではなく、予算科目での管理となり、前年度比較の増減につきましては、全会計におきまして、配置職員の属人的な要因によるものでございますので、御理解をいただきたいと思っております。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ただいまの説明に対して質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 人件費の関係で、資料ナンバーの4の1、時間外の勤務で資料を請求させていただきました。これを見ますと、やはり大体、いつも1人当たりの残業時間が高い課というのが結構決まってくるんですけど、例えば情報システム課とか保険医療課とか、農業政策もちょっと高いですかね。しかも、これ、前年度も結構そこ、同じように高いんですね。こういうの見直して、人数の配置だったりとか、配分とか、そういうのは考えられているのか。なぜ、これ、なかなか減っていかないんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤秘書広報課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 人の配置につきましては、もちろん各課の残業時間等も見て考えてはおりますけれども、その年だけ特別なイベントがあって多くなっているというものもございますので、あと、人が予定どおりに採用できるかどうかというところにも関係してきますので、考えてはいるんですけども、なかなかそのように配置ができていないというところが現実でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 なかなか改善されていない課も結構見られるんですけど、先ほど申

し上げた課等、その人数の補充だったりとか、そういうのはやっているんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） 今、林委員御指摘の課につきましては、課題感としては全く持っておりまして、本会議場でも市長も申しておったかと思うんですが、人が足りない、これ、もう全体的に、豊明市役所だけに言えることでもないんですが、職の流動化みたいなこともありますので、ですので、そういうところが根本的な、本質的な解決の部分でございますので、そこに取り組んでいくことが、最終的には今御指摘のような課についても改善に向かっていけるのかなと。

情報システム課なども御指摘の中に入れていただいておりますが、やはり業務のインフラを担うようなところは、さらに恒常的な業務が、もう大量の業務といいたいでしょうか、時間外に作業をしないといけないインフラを担うみたいな部分もございますので、こういったところはまた別の課題もあるかなというふうには考えております。いずれも、本質的にはやはり人ということかなというふうには思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 時間外にしないといけない業務がということは、もう少し働き方を変えろということですか、そういうことだったりとか、あと、他の課から忙しいときに応援をもらおうとか、そういうことというのは考えられるかなと思うんですけど、そのあたりはどうですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 御指摘のとおり、例えば税務課の当初課税の業務ですとかは、毎年その時期、他の課から業務応援をいただいてやっております。

時間外に作業しないと出来ない人についての働き方については、一応時差出勤ということもうちの市では採用しておりますので、それができる部分についてはやっているとは思いますが、なかなか、全部が全部時差出勤で賄えるものではなく、やはり本当に情報システム課などは業後に、職員がパソコンを使わないときにパソコンのメンテナンスをすとかいう業務等もございますので、どうしても時間外が増えてしまうという状況はございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 つまり、これ、今見ている限りだと、比較的専門性の高いような課が時間延長になっているのかな、超過勤務になっているのかなと思うんですけども、そういった専門性のある職員さんたちも、いずれは増強するというような方向で今考えてはいるという、そんな答弁でよろしいですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 鵜飼委員のおっしゃるとおりです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて、職員の人件費関係の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために10分休憩にいたしたいと思います。

午前11時20分休憩

午前11時30分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、少々お待ちください、続いて、歳出に入りますが、今後につきましては、議事進行に合わせて、関係職員の入替えのために休憩を入れる場合もありますので、御承知おき願います。

それでは、1款 会議費について、説明を願います。

（議会費の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 議会費について説明を願います。失礼いたしました。

加藤議会事務局長。

○議会事務局長（加藤健治君） では、それでは、1款 議会費について、歳出の決算を御説明いたします。

決算書の43ページをお開きください。

43ページ上段、1款1項1目 議会費です。

1枚めくっていただいて、44ページの上のほう、右上のほうですが、上段の支出済額の欄を御覧ください。

議会費の歳出決算額は2億3,503万2,050円です。対前年度比として106.7%、約1,480万

円の増額となっております。増額の主な要因は、前年度、令和5年度ですけれども、職員が減員状態でありましたので、そのことを受けて令和6年度に人員が増になりました。そのことによって職員人件費の増額及び職員、及び、ごめんなさい、議員報酬の人事院勧告に伴う条例改正に伴う期末手当の増額によるものです。

以上で、1款 議会費の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 説明は終わりました。

1款 議会費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の18ページで、退職年金と遺族年金の数、教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

加藤局長。

（深草ですの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 深草課長。すいません。

○議事課長（深草広治君） まず、退職年金の受給者数については9名、遺族年金の受給者数が20名でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて、1款 議会費の質疑を終わります。

続いて、2款 総務費について、順次説明を願います。

伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） それでは、行政経営部の歳出を御説明させていただきます。

主要施策の成果及び予算執行の実績報告書の20ページをお願いいたします。20ページでございます。

2款 総務費、1項 総務管理費、1目 一般管理費の中の財政課所管であります契約検査事業でございます。契約検査事業は決算額289万8,861円で、前年度比3万1,748円、おおむね横ばいでございます。3万1,748円の減額で、おおむね横ばいでございます。

続きまして、下段の2目の秘書人事管理費でございますが、決算額が9億4,529万8,229円で、前年度と比較しますと7,564万円余の増額でございます。増額の主な要因としまして

は、職員数の増、及び昨年的人事院勧告に基づきます職員の給料等の引上げや、会計年度任用職員についてはボーナス時に勤勉手当を支給するようになりました。こういったことによるもの、職員共済組合負担金をはじめとする共済費の増によるものでございます。

次に、22ページをお願いいたします。

4目の広報費、4目 広報費の決算額でございます。2,038万5,884円で、前年度と比較しますと433万円余の増額でございます。この増額の主な要因は、広報紙の印刷製本費の増額でございます。広報紙をリニューアルをしまして、全ページカラーとしたことなどによる印刷単価の引上げ、こういったことによるものでございます。

続いて、5目の財政管理費は決算額1,173万5,781円で、対前年比で申し上げますと89.3%というところでございます。

続いて、24ページをお願いいたします。

7目の財産管理費の中の行政経営部の所管であります公共施設管理事業でございます。この決算額は6億7,782万614円でございます。前年度と比較しますと、3億860万円余の減額になりました。減額の主な要因としましては、この前年度に中学校のトイレ改修工事、また二村台小学校の外壁等改修工事、また図書館のトイレ改修、外壁改修工事など、複数の大型工事が前年度にあったための減額ということでございます。令和6年度の主な事業としましては、公共施設の包括管理業務委託、館小学校の校舎の増築工事、カラットの広場舗装等整備工事、ひまわり児童館の大規模改修工事、館保育園の園舎改修工事などを行いました。

続きまして、26ページをお願いいたします。

8目の企画費でございます。

8目 企画費の決算額は1億2,884万788円で、前年度と比較しまして3,361万円余の増額でございます。これは主にひまわりバスの車両の更新費用、また第6次総合計画の策定支援業務委託、こういったことによる要因でございます。

続いて、同じページの10目の市民相談費の決算は476万1,341円で、前年度と比較しまして69万円余の増額でございます。主な要因としましては、相談業務を担う会計年度任用職員1名の報酬等の増によるものでございます。

続きまして、29ページ、30ページをお願いいたします。

12目になります、電算管理費の決算額でございますが、1億7,256万5,393円で、前年度と比較しまして500万円余の増額でございます。令和6年度は庁舎内のL G W A Nネットワークの無線化と同時に、事務用パソコンをタブレットタイプへ更新をしまして、庁舎内での事務環境の改善を図りました。また、第5次L G W A Nへの移行とガバメントクラ

ウドへの接続環境を整備し、自治体情報システムの標準化、共通化に係る準備を進めました。

次に、翌年度の繰越額、不用額について説明をいたします。

決算書の45ページをお願いいたします。

決算書45ページの2款 総務費、1項 総務管理費、2目 秘書人事管理費の4節 共済費の不用額4,050万5,517円は、負担金率の確定によるものでございます。

49ページをお願いいたします。

49ページ、7目の財産管理費の12節 委託料の繰越明許費3,494万7,000円のうち、公共施設管理課の所管分は3,355万円でございますが、小中学校屋内運動場等空調設備設置工事設計業務委託料でございます。この2つ下、14節の工事請負費の繰越明許費3億3,399万1,000円の主なものは、小学校屋内運動場空調設備設置工事費でございます。それぞれ右側、不用額は執行残でございます。

なお、実績報告書9ページの掲載があります充用額の状況については、行政経営部所管部分についてはございません。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 説明は終わりました。

2款 総務費……。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） まだか。

相羽課長。

○会計管理者兼出納室長（相羽敏明君） それでは、出納室所管部分について説明をいたします。

決算書は48ページ、実績報告書は23ページをお願いいたします。

説明は実績報告書のほうで進めさせていただきます。

6目 会計管理費であります。決算額は約2,830万円で、前年度より600万円余り増額となっております。これの主な要因は、令和6年10月から支払いにおける振込手数料が必要になったためでございます。

電算関係委託料は約1,470万円、約33万件の処理をいたしました。

以上で出納室所管部分の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 平下監査委員事務局長。

○監査委員事務局長（平下義之君） それでは、監査委員費について説明します。

実績報告書の35ページを御覧ください。

6 項 1 目 監査委員費の決算額は約2,363万円で、対前年度比97.5%です。主なものは、監査委員の報酬と監査委員事務局職員の人件費です。監査の実績につきましては、定例監査、例月出納検査及び決算審査等を実施しました。

以上で監査委員費の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川島市民生活部長。

○市民生活部長（川島康孝君） 続きまして、2 款 総務費のうち、市民生活部所管のものにつきまして、実績報告書から御説明させていただきますので、23ページを御覧ください。

23ページの1 項 7 目 財産管理費のうち、総務課所管の庁舎維持管理事業につきましては、対前年度約310万円の増額となっております。主なものとしましては、来庁される方の安全確保のため、市役所庁舎内に防犯カメラを設置いたしました。

続きまして、27ページを御覧ください。

27ページ、11 目 市民活動推進費は、対前年度約655万円の増額となっております。主なものとしましては、増加するベトナム人市民に対応するため、ベトナム語通訳を1名任用いたしております。

続きまして、30ページを御覧ください。

30ページ、13 目 防犯対策費は、対前年度約740万円の減額となりました。主な理由としましては、令和5年度に市内の、市内というか、名鉄の前後駅周辺に防犯カメラを設置したことに伴う減額となっております。

続きまして、31ページを御覧ください。

31ページ、2 項 1 目 税務総務費は、対前年度約5億290万円の増額となりました。主な理由としましては、国の定額減税調整給付金によるものでございます。

続きまして、その下、下段の2 目 徴収費につきましては、対前年度約940万円の増額となっております。主なものとしましては、債権管理課内に収納コールセンターを設置しました。また、預貯金の照会を紙から電子データに改めております。

続きまして、32ページを御覧ください。

32ページ、3 項 1 目 戸籍住民基本台帳費は、対前年度約794万円の増額となっております。主なものとしましては、戸籍の氏名に振り仮名をつける法改正に伴うシステム改修によるものでございます。

続きまして、34ページを御覧ください。

34ページの4 項 3 目 衆議院議員選挙費は、令和6年10月27日に投開票が行われた衆議院議員選挙に伴う経費でございます。

続きまして、35ページをお願いいたします。

35ページ、5項3目 諸統計調査費は、対前年度約240万円の減額となっております。主な理由としましては、令和5年度は住宅・土地統計調査が実施されたことに伴う減額でございます。

続きまして、37ページを御覧ください。

37ページ、7項1目 交通安全対策費は、対前年度約380万円の減額となりました。主な理由としましては、令和5年度に前後駅旧駐輪場用地の返却のため、原形復旧工事を行ったことに伴う減額でございます。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 一通りよろしいでしょうかね。

説明は終わりました。

2款 総務費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の59ページ、戸籍住民基本台帳費で戸籍総合システム等使用料というのがあるんですけど、1,113万円ほどですか、これは毎年支払うものになるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 杉浦市民課長。

○市民課長（杉浦由季君） 毎年支払うものです。こちらは戸籍のシステムに使っているクラウド使用料が主な支出になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 これには補助金とか、そういうのがあるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁。

杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） こちらについては補助金はついておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 2款1項7目の公共施設……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ページ。

○岡島ゆみこ委員 ちょっとお待ちくださいね。実績の24ページです。

公共施設管理事業なんですけど、迅速化等施設の維持の一元化のための包括的な管理として、従来と比べてスピードやコスト面で改善が見られましたか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

北川公共施設管理課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君） 公共施設包括管理業務委託についての御質問……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ちょっと聞こえないんで、マイク近づけてお願いします。

○公共施設管理課長（北川宜志君） 失礼いたしました。

公共施設包括管理業務委託に関する御質問かなと思いますが、公共施設、小中学校と保育園が主な対象施設となっておりますが、修繕業務ですとか保守管理業務、そういったものを一括して業者さんに委託したものです。

従来のやり方ですと、一つ一つの修繕ですとか、包括管理業務に関しては職員が全て一件一件事務処理を行っていたというところが、まず大きく事務の軽減が図られたというところになります。

あと、施設を使用している側の方にとっては、包括管理業務を受託している業者さんが定期的に施設を巡回しております。その巡回しているときに、ちょっとした困り事ですとか、ちょっとここ調子悪いんですというようなことを聞いていただくと、その場で住宅の業者さんが対応できる場所はすぐ対応していただいたりとか、そういったところで大きなメリットがあるというふうに感じております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の公共施設の包括管理で、資料ナンバーの1の③で詳細に実績いただきました。ありがとうございます。

まず、修繕業務で、これ、3,500万ほどかかっているんですけども、これは何か所ほど修繕したのかということと、定期保守と適時保守点検というのがあるんですけども、これはどのぐらいの頻度で、定期はどのぐらいの頻度で巡回しているのか、適時保守というのはどのぐらいの頻度なのか、どういうふうなのか、ちょっと御説明をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

北川課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君） まず、保守のほうなんですけども、様々な保守業務を含んでおりまして、今、資料のほうでは3つほど例示として挙げておりますが、資料真

ん中の下段のほうの表、保守点検等業務というところの下に定期保守点検等とありまして、その右側に電気工作物保守ですとか浄化槽保守、エレベーター保守等ということで、これ以外にもたくさんのもので点検等を行っております、点検の内容ごとに点検する頻度等も異なりますので、ちょっと、まとめて月に1回やっていますとか、そういったお答えはちょっと難しいかなというところでございます。

適時保守に関しましては、こちら、例えばこういったものがあるかといいますと、蜂の駆除ですとか、樹木剪定ですとか、そういったものになりますので、施設の管理をされている方から要望が出た都度ということになりますので、こちら一概に、どういう周期でやっているというのはちょっとお答えが難しいというところなんです。

あと、修繕業務に関してなんですけども、箇所数ではなくて、ちょっと件数でのお答えになってしまうんですが、施設修繕等に関しましては実績として500件超になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の修繕は、施設と備品と合わせて500件ほどというふうでいいですかということと、あと、保守点検のほうは、それはいろいろ機器ごとに違うと思うんですけど、施設にはどのぐらいの頻度で巡回をされたのかというのは、どうですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 北川課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君） 修繕に関しましては、施設と備品合わせての件数になります。

先ほどお答えしました500件超というのは、専門の業者さんにお金を払って修繕をしていただくという件数になります。それ以外に、包括管理業務の受託している業者さんが直接自分たちで修繕していただくというものもやっているんですけども、それも500件近くあります。合わせて1,000件近く、1年間で実施したという実績になります。

もう一つの御質問が……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 管理の、定期的なのかとか、と巡回が。

○公共施設管理課長（北川宜志君） 失礼いたしました。

業者さん、保守、すいません、包括管理業務の受託者さんが直接施設を回るのは、月2回回っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の巡回は施設ごとに、1つの施設に対して月2回ずつということ

でいいのかということと、あと、この実績の中の統括管理業務等ってあるんですけど、これは具体的にどういう業務をされているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

北川課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君） 施設を巡回する回数につきましては、月に2回、全ての施設を巡回しております。

等につきましては、不具合があった際に、施設から包括管理業受託者のところに、緊急なりでも、直接電話連絡が入ったりですとか、その対応の費用ですとか、いわゆるマネジメントに関する費用ですとか、それと、あと、業者からの提案の業務になるんですけれども、施設のドローンを飛ばして写真を撮って、それでいつでもデータで施設の状況を確認できるとか、そういった業務を行っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 まず、この包括管理なんですけども、そもそもモニタリングというのは主として行っているのかということと、先ほどの包括管理の中のドローンというのは、常に施設にそういうのがあって飛ばしているのか、どういうタイミングとか、どういうふうで活用しているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

北川課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君） モニタリングは行っております。

ドローンに関しましては、たしか年に1回飛ばしているという記憶です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 モニタリングはどういうことをチェックされているのか。それで、年に1回というのは施設ごとに、1つの施設に対して年に1回飛ばしているのか、どうですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

北川課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君） モニタリングに関しましては、例えば修繕業務に関して、適切に業者から見積りを取っているかですとか、支払いの状況などに関して書類のチェックを行っております。

ドローンに関しましては、全ての施設に関して、年に1回飛ばしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鈴木委員。

○鈴木智和委員 先ほどの岡島委員の関連ですけれども、公共施設が全体的に老朽化しているので、改修、修繕の優先順位などのつけ方はどのようにしているか、お聞きいたします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これは実績表の何ページですか。24ページの件でよろしいですか。

答弁願います。

北川課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君） 包括管理業務の中でという御質問よろしい……。

（はいの声あり）

○公共施設管理課長（北川宜志君） ということでお答えさせていただきますと、包括管理業務の中では、対象としている施設の長期的な修繕計画といったところまでは現在やっております。施設のほうから、ちょっとした修繕に関して、同時にたくさん出てきますので、その中でどれを優先するかというのは包括管理業務の受託者の中で優先順位を決めて、場合によっては我々のほうにも相談があって、優先順位を決めて対応しているというところでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いたう委員。

○いたうひろし委員 実績報告書の23ページ、最下段、財産管理事務事業の剪定と草刈りの委託料、これ、それぞれの場所と金額を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

田木総務課長。

○総務課長（田木 勇君） 草刈りの場所の主な場所につきましては、令和6年度、どんだり学園跡地のほうが増えております。あと、幹部交番の横の職員駐車場、幹部交番の周辺の職員駐車場が幾つかございますので、そちらのほう、横井老人憩いの家、あと前後駅南の線路沿いの駐車場、あと大宮小東のごみ置場横等になっております。

個別の金額等につきましては、ちょっと今持ち合わせておりませんので、個々のものはちょっとございません。申し訳ありません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これは草刈り全部、合計でいいんですか。1か所1か所。

（合計は分かるからいいよ。個別はいいですの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いいですか。

（2件は。いや、これ、2件って書いてあったもんでの声あり）

（指名して、指名の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 田木課長。

○総務課長（田木 勇君） 申し訳ない。契約が2件で、場所については多くありますので、お願いいたします。

（分かりました。ありがとうございます。それでいいですの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書で20ページ一番下、会計文書法規研修が前年が81人だと思んですけど、今回36人ということで減少しておりますけど、こういうのがミスの原因のあれになるんでしょうか。減少した原因でいいですよ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 減少した原因ですよ。

答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） こちらの研修につきましては、一応職員全員にお知らせ、案内をして、希望者ということでやっております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書の27ページの市民提案型まちづくり事業交付金なんですけど、これ、主な何か採用された事業を紹介していただきたいのと、あと、決算書の54ページに、これ、流用額が6万5,000円プラスされているんですけど、これというのは、当初予算で足りなくってほかから流用した、件数が増えたから6万5,000円増えたという認識でよろしいんでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。すいません、もとい、松本共生社会課長。

○共生社会課長（松本小牧君） まず、予算額の利用につきましてはおっしゃるとおりでございまして、コロナ禍で提案数が非常に減っておりました。その関係で予算額は縮小して計上させていただいておりましたが、コロナ禍が一段落して提案数が非常に増えてきたということで、予算が不足しましたので流用させていただいたというところがございます。

そして、主な事業の内容ですが、一般コース、そしてビギナーコースとございますが、一般コースのほうにつきましては、西沓掛区のイベント、そして、動物愛護の地域猫の取

組というのが2つ、これが一般コースでございます。そして、ビギナーコースにつきましては様々ございますが、多くは子ども食堂、そして、高齢者の介護予防や居場所づくりというものが多くなってございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） すいません、先ほど、伊藤課長の答弁のほうで、私、途中で多分切ったと思いますので、先ほどの研修の件ですよね、八十数名から36名になった、もう一度お願いいたします。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 前年の81件の中には、会計文書法規研修と財政契約研修と合わせての件数になっております。6年度につきましては財政契約研修のほうは行っておらず、文書、会計文書法規研修のみをやっておりますので、件数が非常に減っているように見えることとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の21ページ、研修視察がありまして、これの政策課題実務研修、これ、視察先があるんですかね、あと対象者、あと、どんな効果があったか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 6名の職員が、行きたいという有志の方々で行っておりますが、小田原市と秦野市に行っております。公共施設マネジメントの関係で視察研修を行ってきたというふう聞いております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書45ページの上の段の一般管理費の中の行政不服審査制度の業務委託です。これ、22万と、あと、その下のほうにある行政不服審査会の負担金、これは令和5年度と比べると増額しているんですけども、実際何かそういった行政不服申立てみたいなのがあったのかどうか。この負担金と業務委託の内容も併せてお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 田木総務課長。

○総務課長（田木 勇君） では、それぞれで分けて説明をさせていただきます。

最初に御質問ありました行政不服審査制度補助業務委託料につきましては、行政不服審査があった場合に審理員という方をお願いいたします。これ、市の課長級の者にお願

るんですが、審理員が審理員意見書を作成する際にアドバイス等をもたらすための委託料となっております。

2つ目の御質問、行政不服審査会負担金というものは、豊明、東郷、日進で組織する行政不服審査会がございます。こちらのほうで審査をしていただくんですが、令和6年度については、令和5年からの継続案件もございますが、2件ございました。その負担金ということで、これは増加しているということで、負担金が増加しているということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 実績報告書の32ページなんですけれども、コンビニ証明書発行交付事務ですが、コンビニでの利用件数が年々増加していますが、利便性向上につながっていると感じています。市民からの反応や評価などを把握していますでしょうか。また、運用上で新たに生じた事項とか不都合はございますか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁。

杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） 窓口のほうで、確かにコンビニ交付のほうは利用率が上がっておりますので、住民票や印鑑証明等は窓口に関しては減っております。そして、コンビニのほうが増加しておりますので、コンビニのほうに御利用いただいているというふうに感じておまして、ただ、まだ証明窓口のほうで、コンビニでも取れるにもかかわらず、やはりお越しいただいている来庁者様が多いので、もう少し周知の方法を考えていかなければいけないかなというふうには思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 御答弁よろしかったですか、高垣課長は。大丈夫ですか。

ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 決算書55ページの2款1項12目 電算管理費の中で、消耗品費のところなんですけども、これ、流用額が600万円ってかなり大きいんですけども、何を買われたのかと、あと、これ、600万円、かなり大きいんですけども、補正を組まなかった理由というのは何かあるんでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

長野情報システム課長。

○情報システム課長（長野直之君） 流用しまして、600万円ほど流用しておりますけども、こちら消耗品で、ライセンス数のほうを購入しております。エクセルとかワードのオフィスのライセンス、それから、ドキュワークスといたしまして電子文書の管理編集ソフト、それから、パワーポイントのソフトを追加で購入しております。

今回、パソコンのほうを入替えまして、古いパソコンを保育園のほうに、保育園のほうに十分台数が配付できていなかったものですから、保育園のほうに配付をするということで、急遽ドキュワークスとエクセル、ワードのほうを購入したということで、流用のほうで対応させていただきました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の22ページというか……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） もう一度。二十何ページ。

○こんどうのぶお委員 すいません、ホームページの件なんですけど。

（何ページの声あり）

○こんどうのぶお委員 何ページというか、ホームページ関連、22ページでいいか。ホームページ関連でいいですね。

ホームページの中にチャットボットというのがあったと思うんです。それがなくなっているんですけど、それ、いつなのか、その理由というのを、どうですか、教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） チャットボットにつきましては、令和6年度から廃止をさせていただいております。理由といたしましては、いわゆるメンテナンスに非常に職員の手間暇がかかりまして、費用対効果のことを考えると、ちょっとあまり今後の効果が見込めないというか、あまりに職員の動力が必要になりますので、きちんと運用されていない部分がたくさん見受けられたものですから、6年度について廃止をさせていただきました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 広報とよあけ、今の22のところですか。で、発行部数が毎月の2万6,500ということなんですけど、で、各公共施設に置いていると思うんですけど、それを余った部数というのはどのぐらいあるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） その月々で違うんですけども、手元に、最初に配布のときには100部から200部残るようにはしておるんですが、途中で、破損したから欲しいとかというようなこともあって、お配りしますと、手元のほうには、少ないと30部ほどから100部ぐらいの間で残っているという感じになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかに。

一色委員。

○一色美智子委員 今回の広報とよあけのところなんですけども、これ、一新されて、右開きから左開きに変更されましたが、市民から、以前より見やすくなったとか、そういう評価なんかはどういうふうにしてみえるでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 去年の5月号からリニューアルをさせていただきました。左開きになったこともそうですし、全ページカラーでやらせていただきました。で、色ごとにカテゴリーごとに色分けしたりとか、いろんな工夫をさせていただきました。実はeモニターでアンケートを去年の冬ぐらいい取っているんですけども、その結果では、見やすくなった、前よりは見やすくなったという、そちらのいいほうの評価のほうを多くいただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

まだ皆様、しばらくありそうでしょうか。

それでは、申し訳ございません、ここで、会議の途中ではございますが、1時10分まで、13時10分まで昼食のため休憩といたします。

午後零時8分休憩

午後1時10分再開

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

2款 歳出で、質問のある方は挙手をお願いいたします。

武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書の32ページです。

収納コールセンターの設置をしましたが、これ、設置したことによって、収納額

が向上したとか、費用対効果のほうはどれほど上がりましたでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 以前からやっていた催告書のみの送付ですと、過去3年間の平均で、送付が8,000件に対して、実際納付いただけたのが790件、納付額が約1,760万円でした。コールセンターは令和6年10月から、出納整理期間を含めた年度締めまでで、架電、電話をかけたほうが……。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） すいません、もう少し、ちょっと大きめにお願いします。

○債権管理課長（高垣茂晴君） すいません。

コールセンターは10月から、出納整理期間、5月末までを含めた年度締めまでで、電話をかけたのが約4,900件に對しまして、実際の納付が約470件、納付額は1,750万円と、件数割合としては以前と大きく変わっておりませんが、納付額は増えておりまして、効果があったと見ております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じところですが。収納コールセンターの設置ですけど、これ、電話等によって促すというふうで記載があるんですけども、電話等の等というのはどういうことをやりましたか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 電話のほかに、はがき、ダイレクトメールですね、はがきによるもの、それからショートメッセージ、SMSによる呼びかけにより納付をいただいておりますというところです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 青木委員。

○青木けんじ委員 実績報告書の32ページの一番上、スマートフォン決済アプリによる収納の実施ということで、こちらのほうの状況はいかがだったでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） スマートフォンの決済アプリによる収納ですと、件数割合としては全体の1.3%です。令和5年度につきましては0.9%でしたので、向上してきているというふうに見ております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

副委員長。

○郷右近 修委員 ページが、失礼、令和6年度決算書のページが58ページ、令和6年度決算書のページが58ページで、一番下の滞納処分物件評価等委託料がゼロ円と、ゼロ円ということで、要するに実績がなかったということになると思うんですけど、令和5年度だと15万何がしかという、そういう状況だったということで、令和6年度の滞納に関する処分の様子というのはどうだったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 差押えに関しましては、令和6年度の実績としましては755件、差押えをしております。その中で、滞納処分物件評価等委託料につながる不動産ですと16件差押えしているんですけども、実際に評価を行ったところがございませんでしたので、今回はゼロ円でした。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じく実績報告書32ページで、決算書だと59ページですけども、余預貯金照会電子化サービスの利用で、これも令和6年から実施で、これ、利用料金が出ているんですけども、金融機関等への照会というのは、これはどれぐらい出ていって、効果というのはこれはあるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 今回、電子による照会サービスを行ったことで、以前は文書によるやり取りですと、年間約300から400件ぐらいで収まっていたんですけども、今回6,408件、1年間で照会ができたということです。その中で残高があったりすると、その部分を滞納処分につなげたりしておりますので、実際に、先ほど申し上げた差押えと同様に、数字が伸びておるといふところになります。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今6,400件ほどあるって言ったんですけども、それ、全部一応滞納ということで確認して、それは処分つながっているということなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 照会は6,408件行っているんですけども、残高がないとか、

もう口座が解約されているとか、そういう答えも返ってくるものですから、その場合は滞納処分にはつながらないということになります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 資料のナンバー2の8です。2の8、令和6年度市長への手紙等集計です。

その中で、真ん中辺の合併・まちづくりってあるんですけど、合併って具体的にどういったところの、合併って名前出ているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

資料2の……。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） まちづくりの関係の手紙の内容ですけども、例えば大きな商業施設を誘致してほしいですとか、火葬場のことだったり、豊明市の未来のことについて、お手紙をいただいているという状況です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 それでは、その他17件、多いんですけど、具体的にどういった内容になるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 大丈夫ですか。資料2の8、その他17件が、内訳ですね。よろしいですか。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） ちょっと手元に資料がございませんので、今この場ではちょっとお答えできないんですが。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 じゃ、後ほどお願いします。

これ、市長への手紙ということで、市長が全部返信をしているのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 内容によって、担当の部署があるところについては、そちらの担当部署が回答の文書をつくっていきりますが、もちろん最初にメールや手紙が来たときに、市長はまず先に目を通していただいて、回答を送る場合にも、送る前に必ず

市長に目を通していただいて、それでいいかということを確認していただいて、回答は送らせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 実績報告書26ページのチョイソコとよあけについて伺いたのですが、よろしいでしょうか。

いろいろと策を講じられて、停留所を増やしたりだとか、大脇での実証実験を行ったり。ですが、前年度比で90.6%、利用者数のほうが伸び悩んでいるのかなと思います。この理由と、この数字というのは妥当なのか、どういった見解なのか、教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

萩野企画政策課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 利用者が減少している要因としては、5年度の後半から開始しました高齢者のタクシーの初乗りの補助、これで一部の利用者がタクシーのほうへ移行をしていることで減少しております。

一方で、タクシーの利用者が増加しましたので、市内のタクシー事業者は新たに運転主さんなどを採用して対応しているということで、こちらの市内のタクシーの応援に関しては狙いどおりだったかなと。

で、チョイソコの会員自体は増加傾向にありますので、外出時にチョイソコだったり、タクシーだったり、あと、ひまわりバスだったり、利用する高齢者の方が増えているのかなと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 なので、つまり、今豊明市でいうと、ひまわりバス、チョイソコ、で、またタクシー助成云々とか、そういった交通手段を確保することができているので、総合的に見ると、パッケージングとしては上手、いい形で成り立っている、そういった考えでよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 委員のおっしゃるとおりです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のチョイソコなんですけど、新しい地区の、今度上石田ともう

一か所、これ、何ていうのかな、何だったかな、阿野町ですね、この地区、どれだけ今乗っているような状況になるんですか。実績というんですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 荻外山とか。

答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 荻外山でどれぐらい乗っているかという……。

（両方ですね、上石田もの声あり）

○企画政策課長（萩野昭久君） 一応登録で31人の方が登録しているんですけど、実の利用者でいきますと5名ほどになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 今のお話なんですけど、前年比でいうと90%になっていて、分析だと先ほどの答弁のようなことになっているというのが令和6年度の振り返りだとすると、これまでいろいろな方にお話聞いてきたときに、自分が会員登録もして予約もしようと思っ
て調べてみるけど、なかなかもう入っていて使えなくて、うーんと言っている人が多かったように思ったんですが、チョイソコの、直近のそういうふうにタクシーのほうに変わっている人がいて、若干減っているみたいなものというのは、今みたいな市民の方にはあまり伝わってない様子で、この半年や1年はなっていたようだという事なんですか。ぱんぱんのままだから100%のままかなとか思ったんですけど、その予算、振り返りで分かるでしょうか、令和6年度は。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 詳しい内容まではちょっと把握してないんですけど、チョイソコは一応無料ではありませんので、タクシーのほうがおうちの前まで来てくれて、実際目的地まで直接行ってもらおうということで、そちらのほうに移行しているのかなと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 伊藤課長、先ほどのその他の17件は分かりましたか。まだ。市長の手紙の。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 今確認中です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 確認。分かりました。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書24ページの真ん中辺りの園舎解体工事の事業損失防止調査委託630万ですけど、決算書でいいますと、51ページの財産管理費の下のところに、これ、補償費で支払った分が21万9,000円出ています。

まず、これ、旧沓掛保育園と旧どんぐり学園の2つの解体工事のものだと思うんですけども、それぞれ何件ずつ事業補償で出ているのかということをも。あと、金額も幾らずつなのか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

北川課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君） 件数、補償の件数ですが、どんぐり学園のほうは1件で沓掛保育園のほうは2件です。

金額のほうは後ほどお答えいたします。申し訳ございません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 22ページ、ちょっとまた戻って申し訳ないんですけど、ホームページ管理です。

高齢者、障がい者を含めた誰もが使用する云々って書いてあるんですけど、分かりやすい提供ということで、これの委託料118万8,000円、これは何をやってもらうような費用なのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） ホームページ、CMSというシステムを使ってやっているんですけども、その保守とかをやっていただいております。業者に委託してやっていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

追加ですね。北川課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君） 先ほど御質問をいただきました補償の費用の内訳ですけれども、どんぐり学園のほうがおよそ8万円ほどで、沓掛保育園のほうは合計15万円ほどとなっております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） もう一度、ちょっと大きめ声で。金額のところからでいいので。

○公共施設管理課長（北川宜志君） どんぐり学園のほうが8万円ほどで、沓掛保育園のほうが13万円ほどとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 どんぐり学園のほうが結構金額が大きいんですけども、どういう状況、損失だったのかということと、あと、解体のときに大きな揺れとか振動とか、そういう影響かなと思うんですけど、そのときに市の職員というのは立ち会っていたのか、調査はされていたのか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

北川課長。大きい声でお願いします。

○公共施設管理課長（北川宜志君） どんぐり学園のほうの補償の内容としましては、隣接する住宅の車庫の雨漏りの補修となっております。

解体作業中に職員が立ち会っていたのかという御質問ですが、ポイントでは立ち会っておりますが、解体作業中ずっと立ち会うというところまでは行っておりません。

解体の方法につきましても、一般的な解体の施工方法であったというふうに認識しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 まず、確認する車庫の雨漏りというのが全面改修をされたということなのか、今回の工事が要因だということで認定されたということなんですよ。

ということと、その件をまずお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 北川課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君） 解体工事を行う前にも対象の家屋の調査はしてございまして、解体工事の前と後で両方調査を行って、解体後に新たに生じた不具合ですとか、ひどくなっている不具合に対して補償を行っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

これにて……。

（あります、ありますの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

伊藤課長、先ほどの件ですか。

じゃ、伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 市長への手紙・メールのその他のものなんですけども、この表でいう左のほうの分類には分けづらいものということなので、様々あって、ちょっと全部は答えできないんですけど、例えば、この分類には入らない行政関係の内容のであったりとか、マイナンバー関係、あるいは消費生活関係など、様々なちょっと分類しづらいものについて、その他ということでも分類させていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書22ページ、真ん中の下です、令和5年度の実績報告書が90部、令和7年度当初予算書85部とあるんですが、これ、減っていると思うんですけど、この理由を。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 印刷部数の精査でございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の29ページの区長会事業のところ、これで、区長連合会の研修を、総会、役員会、研修を開催したということなんですけど、この研修の内容ですね。それで、何月にされたかということをお教えください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 研修会の内容でございますが、主に2回実施しております、毎年です、1回はおたがいさまセンターちゃっとの講演をお聞きすること、そして2回目は視察研修でございます、名古屋市の防災センターのほうで防災の勉強をさせていただいております。開催時期につきましては毎年7月、そして、視察研修のほうは10月を実施月としておりまして、昨年度も同様でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 武谷委員。

○武谷としお委員 決算書58ページ、2款2項2目の償還金のところ、過誤納還付金、これ、間違っって納めた税金のやつ、2,700万円なんですけど、これの件数とか、この金額になっている理由というのは何かありますでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 過誤納還付金ということになります。例えば確定申告等

で、税額が変わった場合に納め過ぎの税金があるケースがございます。その場合にお返しする金額、お返ししたものでございます。件数でいいますと、過誤納還付金ですと589件ございました。その下、過誤納還付加算金ですと、これは22件ございました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 資料のナンバー2の5、令和6年度環境整備対象事業で資料を頂きました。私の資料請求中に金額は必須事項と書いてあったんですけど、書いてないんですけど、これ、どうしてなのでしょう。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） もちろん一つ一つ事業費、あるわけでございますが、これ、昨年度もお答えしたかと思いますが、基本的には一般寄附で頂いておりますので、その額を超えるような形で事業をJRAにはお示ししておりますが、構成団体としては、一般寄附で頂いておりますので、特段特定財源で頂いているものではありませんので、このような形の資料を作成しているというところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 資料を頂いた中で、第1要項で大きく3つありますよね。で、第2要項で2つあるんですけど、これの金額は分からないということですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 事業費でよろしいでしょうか。

○こんどうのぶお委員 道路整備事業、交通安全施設整備事業、教育文化施設新設設備事業と、あと第2項の主な事項の社会福祉施設整備事業と教育文化施設整備事業、この5点です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 市道大根若王子線道路整備事業でございますが、これであれば、例えばおよそ700万円ほどでございます。

次の吉池団地1号線整備事業でございますが、この場合はおよそ4,800万円ほどの事業費というところでございます。

共生プラザの整備事業は、およそ4,000万円ほどというふうになっております。

次に、館保育園はおよそ7,500万円ほど、最後の館小学校が1億3,000万円ですが、いず

れにいたしましても、特定財源ではなくて、一般寄附でいただいているものですので、構成団体としては一般寄附であるということ、J R Aに常にお伝えをしているというところがございますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 実績報告書28ページ、コミュニティ助成金。

歳入のときでもちょっとありましたけども、6年度に関しては、私のゆかりのある吉池区が頂いているということなんですけども、これ、結果として吉池区が通ったのか、もしくは吉池区だけしか今回手挙げなかったのか、どちらなのでしょう。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 令和6年度につきましては、吉池区のみが申請をしております。1団体辞退となっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のところ、250万ということで、これ、購入は何を購入されているのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 太鼓、机、椅子、空調機等です。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の33ページの中段のところ、外国人者数内訳のところのその他のところが知りたいんですが、教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） こちらのその他なんですけれども、外国人で46か国の方がいらっしゃるんです。そして、ここに記載されているのが上位の7か国、それ以外の39か国の方がその他というふうにくくられております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 一応おおむね国名、どこかというのを聞いてたと思うんですけど。

○市民課長（杉浦由季君） 国名、ちょっとお待ちください。

後ほどお答えします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の29ページの真ん中ほど、区長会事業ですけども、2番の地域一括交付金の交付ですが、これ、地域一括交付金の交付は、まずお聞きしたいのが、この金額は一般財源と特定財源、全部含まれたものでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） おっしゃるとおりでございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 この交付をしたものから還付をされたもの、要は地域のほうから戻ってきたお金というのはありますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 返金はありません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 これ、交付するに当たって、補助要綱なんかがあるものもあるかと思うんですけども、それを全部確認した上で、還付も必要ないというような形を取ったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 委員のおっしゃるとおりでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 特定財源の中で、たしか令和6年度は地域塾とかをやったと思うんですけど、ちょっとこの款で聞いていいかどうか分からないんですけども、それも補助要綱に合った形で交付して、還付もなしというようなことでよかったんでしょうか。10款かも分からないんで、ちょっとそれも併せて。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いいですよ。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 地域塾につきましては、補助要綱で、5回から9回の実施で5万円、10回以上で10万円の補助額となっておりますが、その回数をきちんと実績報告書で確かめさせていただき、返金はないということになってございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 今この款でいいということは確認できたのでお伺いしますけども、補助

対象要件の中に、毎回在籍する児童生徒が5人以上とすること、そうじゃないと補助はしませんよというような補助要綱になっているわけですが、これは毎回5人以上が必ず在籍していたということによろしいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 実績報告書のほうには開催概要をつけていただいておりますので、確認させていただいております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 再度確認しますが、毎回必ず5人以上来てやられた、それが1カウント1回というふうにカウントされたということによろしいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 詳細につきましては、今手元に資料がございませんので、後ほど回答させていただきます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 実績報告書の37ページ、総務費、交通安全対策費、駐輪場維持管理事業ということで、その2段下に令和6年度の放置自転車等の撤去台数、これというのは駐輪場の中の58台ということでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野防災防犯対策課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、駐輪場に限らず、撤去した台数になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 それで、この58台の中で、乗り捨てちゃっても、全然置いてっちゃったやつと、盗まれたやつだとか、そういう性質がありますよね。その辺って確認はされていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 58台撤去をしてきたんですが、放置自転車の返還の手続がなされたものは26台ということですので、その他は処分等になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今、これ、返還が26になるんですかね。それで、この台数が、これ、去年書いてあったんだけど、これなくなったんだけど、どうして消しちゃうんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 質問をもう一度お願いいたします。

○こんどうのぶお委員 これ、返還台数、去年書いてあったと思うんですよ。これが書いてなかった、その理由でいいんですけど。なくした理由という。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 特に理由はございません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 今回の放置自転車のことですけど、返還が26台ということですね。そのほかは廃棄ということなんですけど、その前に、警察等に報告して確認、盗まれたものとかそういったものを、報告が入っているかもしれないので、警察に報告を済ましてから処分したのか、どういうことでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 撤去してきたものについては全て確認をしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の20ページ、契約検査事業、資料請求の1の①、ありがとうございます、設計金額が250万を超える工事の一覧いただきました。46あります。一番右下のところで、平均の落札率90.21って出してくださっています。これ、工事、多分当初の契約したときの落札率だと思うんですが、いろんな、途中で変更だとか減額、増額がいろいろあるかと思うんですが、その変更後の平均の、変更後の落札率というんですか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） そのような資料は作成してはおりません。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

（委員長の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 先ほどの答えですね。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 先ほど御質問があった件でございますが、地域塾の実績報告書でございます。

まず、地域塾の要綱を見ますと、参加人数の規定はございません。あくまでも年間の実施回数、そして、指導を行う者2名以上配置することとなっております。したがって、実績報告書のほうは回数を報告するような様式となっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） 先ほどのタイ以降の国名ということですが。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 39全部言わんでいいんで。上のほうだけ。

○市民課長（杉浦由季君） 分かりました。

では、タイに続きまして、ペルー、スリランカ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、インド、バングラデシュと続きます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の29ページの区長会事業だったかな、ちょっと待ってくださいね。ごめんなさい。区長会事業ですね、地域一括交付金の件で、地域塾の絡みですけども、今御答弁ありましたけども、在籍する児童生徒についての補助要綱に記載がないというようなことですけども、これ、あるんですよ。第2条の第5号、在籍する児童生徒は5人以上とすることというふうにあるので、もしもこれが守られていなかったとしたら、それは地域のほうから還付されるべきお金だと思うので、そこ、はっきりしてください。ないのかあるのか。というか、手元に私が持っている資料としてはあるんですよ、要綱の中に。お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

要は手元に……。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 第2条の1号の中に地域塾というふうにあります、アが、設置・運営の主体が区であること、そして、イが、児童生徒に学習支援を行うこと、ウ、年間5回以上実施すること、エ、学習支援を行う者を2名以上配置すること、オ、1回につき1時間以上の開催することというふうになってございます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 食い違っているかな。

清水委員。

○清水義昭委員 ごめんなさい。自分が見ているのは豊明市地域塾事業費補助金交付要綱

というのを見ています。令和6年1月26日決裁のものを見ていまして、第2条、補助対象要件、補助する要件が書かれているんですけど、この第2条の第5号を見ています。在籍する児童生徒は5人以上とすること。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 大変失礼いたしました。

私が今申し上げましたのは現在の要綱になってございます。令和6年度は改正前になりますので、要件があったということだと思います。

一方で、私ども、一括交付金のほうの要綱で、こちらのほうは回数のみを期待しております。実績報告書のほうも回数だけの報告となっておりますので、人数の詳細のほうは把握してございません。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 要は、補助金を出すための補助金交付要綱のほうに、この要件じゃないと補助金を出しませんよというふうに書いてあるわけですよ。事実、はっきりしていませんけども、毎回5人以上いたのかどうか分かりませんが、まだそういう答弁がないので分からないんですけども、これ、5人以上もしないかかったとすると、それは還付していただかないといけないことになるんですよ、この補助金交付要綱がありますので。それは我々も見られるようなものがあったので。そこについて、ちょっと明確な答弁をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 事業の詳細の確認のほうは、担当課のほうでしているというふうに把握しております。我々のほうは、あくまでも補助金を一括交付するという立場でございまして、実績報告書のほうにつきましては、地域一括交付金の交付要綱に沿って、実績報告書には回数だけの報告となっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 10款で聞けばいいんですかね。2款じゃなくて。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） そうですね。

そしたら、私のほうでこちらのほう、交付金ということの流れで許可したんですが、10款のほうでもう一度聞いていただくって形でお願いしたいんですが、よろしいですか。

（10款のほうにこの項目がないんですよの声あり）

○清水義昭委員 総括、いいですか。

多分流れとしては、この地域塾事業をやっているのは多分学校教育課のほうでやっていて、お金を出すとか、要件に当てはまっていてお金を出すかどうかというのが多分共生社会課だと思うんですよ。だから、ちょっと課がまたがっているとは思いますが、お金出しているのは2款で出している。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ただ、要件のその申請が10款じゃないと分からないということなんですよ、人数の回数というのは。件数だけしか分からないで。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 一括交付金の事務でございますが、基本的には予算の段階で、各課から、どこどこに幾ら交付するということを共生社会課のほうで取りまとめまして予算化をし、一括に交付をさせていただくという仕組みになってございます。事業のそれぞれの所管は所管課になっておりますので、詳細につきましてはそちらのほうで聞いていただければと思います。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと確認なんですけども、これ、誰に確認していいのか分からないんですけど、今、自分が見ている豊明市地域塾事業費補助金交付要綱という、この要綱の所管課はどこなんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 交付金の件ですので、お願いします。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 学校教育課でございます。

（どこの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 学校教育課。

（学教、じゃ、10款でいいですねの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 一旦、現時点で完全な回答になるか分かりませんので、10款で改めて御質問いただくことを前提にして、ちょっと今の、補助金交付規則所管部局ですので、今御指摘の件についてのちょっと今思う見解をちょっとお伝えしたいと思います。

今、清水委員御指摘なのは、在籍5名以上というところのことについて、毎回出席が5名以上必要なのではないかというような御指摘かというふうに思います。

補助金のこの定義上の在籍という部分を見ますと、在籍ですので、いわゆる在籍児童が何人いて、出席が毎回5人以上というふうに要綱上は書いていないので、つまり、その必要性がある児童が5人いるということが、一旦この補助要件上の記載の意図ではないかと

いうふうに思います。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員、よろしいですか。

○清水義昭委員 ごめんなさい、意味が分からん。在籍というのはどういうことをもって在籍になるんですか。ちょっと意味が分からない。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） じゃ、もうちょっと詳細で。

（10款で聞きますの声あり）

○財政課長（浦 倫彰君） そういうことかなと思いますので、一度また改めて10款で御覧いただければと思いますが、一応そのような見解ではないかというふうにお伝えしておきます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 すいません、これも10款かもしれないんですけども、地域塾を実施した区がどれだけあって、その登録人数がどれだけというのは分かっていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 地域塾を実施している区は2区でございます。登録人数が何人かは、共生社会課のほうで把握はしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほど、その他の区ということでお答えいただいたんですけど、ちょっと早かったので再度お願いします。

それと、その中に、その他の中に無国籍の外国人の方がいたか、また教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） もう一度申し上げます。

タイに続きまして、ペルー、スリランカ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、インド、バングラデシュと続きます。

無国籍なんですけれども、人数としては3名いらっしゃいます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 先ほどの交付金の件、登録人数と申請の人数、この部分に関して、10款のほうに持ち越しますが、交付金の話になりますので、これ、今度10款に持ち越してきたときに、交付金なので分かりませんということがない形でちょっと引継ぎをお願いしまして、しっかりとお答えできるものを持ってきていただきたいと思っていますので、そこだけお願いいたします。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のちょっと国籍のところをちょっとお聞きしたいんですけど、何か市が、昨年だったと思うんですけど、難民の受入れのネットワークで何か加盟していたと思うんですけども、そういう方というのはどれぐらい受け入れたかという実績というの分かるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） 難民の方の人数のほうは把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 所管課がそこだけじゃないかもしれないんですけども、受け入れるための何か施策とか体制とかは、何か打っているものってあるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） そういったのは、実際そういう方がもしあるようでしたらという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、そういう方は何かしらの方法で手続というか、申込みをされるという、そういうふうになっているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 実際、難民の方が豊明市に来られるときのちょっと手続方法に関しては、ちょっと把握をしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の30ページの下の部分、一番下のところの特殊詐欺対策電話機設置に補助を行いとあるんですけど、これ、補助件数24件あるんですけど、これは内容としては、内容というか、中身はどんなもん、どんなシステムというか、なっているのか。それから、対象者はどんな人なのかを教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 対象者のほうは、豊明市に在住の65歳以上の高齢者ということになっております。こちらのほうは、録音、通話録音のメッセージや着信拒否機能がある電話を購入された場合に補助を出すものになっております。1台の購入金額の半額または5,000円以上のうち、低いほうの額ということになっております。

以上になります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の23ページ、真ん中辺の下で防犯カメラ設置工事費があるんですが、230万ほど、これは維持費ってどのぐらいかかるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 田木課長。

○総務課長（田木 勇君） 維持費ではなく、設置にかかる費用となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 この防犯カメラをつけたことにより、何か効果ってあったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 田木課長。

○総務課長（田木 勇君） 防犯カメラを設置したことにより、来庁者の方の安全性、また抑止力も含めて、特に問題は起こっておりませんので、一定の効果があったというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 予算に、予算に係る質問でお願い、大変失礼しました、決算に係る質問でお願いいたします。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 資料ナンバー1の④です。

令和6年度の職員の採用・退職者数を出していただきました。令和6年4月の採用の技術職・建築というところが、採用人数、応募3に対して採用人数ゼロだった。あと、10月に採用の栄養士、任期付職員さんも、応募人数1に対して採用人数ゼロというのがあるんですが、ゼロだったということで、令和6年度、何か支障はなかったんでしょうか。

また、最初に行政経営部長も少し触れられたんですが、職員の流動化とかという言葉があったんですけども、計画の採用数が満たない点について、どういった議論というのか、令和6年度中、どういう検討をされたんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 技術職、建築で、応募が3人にありながら採用がゼロ、あるいは栄養士も応募がありながら採用がゼロということについてでございますが、応募はされて、それぞれ試験のほうは1次、2次、3次と行わせていただいております。やはり本市の職員として採用するに当たる職員を採用するという方ですので、応募があれば誰でもかたでもを採用するという形ではございませんので、御理解いただきたいと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 なので、年間の採用予定数とかがあるかと思うんですが、それに対して令和6年はゼロ、欲しい方がこの枠でゼロだったということについて、業務への全体の支障はどうだったのかということと、先ほど言った、採用数が満たないということについて、どういった議論、検討をされてきましたか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 業務に支障があるかないかと言われたら、もちろん人手は足りない状態ではありまして、多くの職員を雇いたいという気持ちはございます。ただ、やはりきちんと仕事のできる職員を採用しないと、言ってみれば職員のお給料も税金でございまして、働けない職員を採用するわけにはいかないものですから、足りない分については今いる職員で何とか取りあえず頑張らせていただいて、6年度を終えたという形になります。足りてないところについては、もちろん引き続き募集をかけて、採用できるように努力はしているということでございます。お願いします。失礼します。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 繰り返しになってごめんなさい。

流動化とかいろいろ、退職される方もいらっしゃるんですが、そういったことについての問題をどういうふうに、ただ採用を頑張っていきたいというのはもちろんなんですが、具体的にどういった議論が令和6年度されたんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副市長。

○副市長（小串真美君） 例えば今の建築のところでは申し上げますと、見ていただいている資料に経験者採用ということで2名入っていただいております。こういった形で、新採でなかなか採れない。建築業界、非常に人手不足で、大手建築会社にほとんどの方が入っていくということが、原因をいろいろ議論する中で分かってきていますので、社会人採用でそういった活躍できる方を、面接を経て採用しております。

議論というところでいきますと、採用の、インターネットで応募できるとか、いろいろ手は尽くすんですけれども、応募者は多くても、やっぱり最終的に私どもで働いていただける、私どもが求めるスキルというか、人的に耐え得るかというところになかなか達しない方もいるものですから、採用できない方もいますし、多くの、ここの応募からゼロになっているようなところは、今、課長が申し上げましたとおり、合格を出しても辞退されてしまうということがありますので、そういった点では議論の中で、本市が選ばれる市になっていかないと、なかなかそういった人材確保には結びつかないねということはやっております。そういった点で、今後も努力していきたいと思います。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 一応、当局皆様、答弁のとき、ちょっと聞こえづらいんで、マイク、大分近づけてちょっとはっきりとまたお答えいただければと思います。御協力をお願いいたします。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ありがとうございます。

今と同じナンバー、資料の同じ資料で、一番下の令和6年度中に退職された方で、真ん中の普通退職で16名ってあるんですが、この年代層というのはどんな分布になっているんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 普通退職でございますので、定年ではないです。その前の年齢の方で、年代でいうと、20代、30代、40代、50代、バラバラでおりますので、ちょっと一言では申し上げにくい状況です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の28ページの下の部分、国際交流協会支援事業についてですけど、これ、補助金額200万ってあるんですが、これは何回ぐらいのそういう交流会をしているかというのと、中身もちょっと知りたいんですけど。

あと、これ、参加する人は会費というか、料金というのは必要なのか、その3点教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 国際交流協会の補助金でございますが、これ、事業に補

助金を出しているということではなくて、豊明市国際交流協会全体に係る補助金として交付をしております。

国際交流協会の事業としましては、例えば日本語教室とか、外国語の理解講座ですとか、今、委員がおっしゃったようなイベントということだと思いますと、昨年度は30周年記念イベントですとかスポーツ交流会、そして、日本文化の体験ツアーといったものが当たるかなというふうに思います。

そして、収入ということですが、国際交流協会は個人、それから法人の会員がございまして、会員からの会費を頂いて運営しているというところもございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　実績報告書の23ページ、公用車の購入事業で自動車購入費350万ほど、これ、何台で、車種は何でしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　田木課長。

○総務課長（田木　勇君）　購入した車は2台になります。普通車の乗用車1台、普通車の貨物1台となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　ほかにございませんか。

青木委員。

○青木けんじ委員　実績報告書の37ページで、自転車乗車用ヘルメット購入の補助なんです、補助件数の463件の年代別の割合はどのようになっていますでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　答弁願います。年代別の割合です。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君）　年代別の割合としましては、18歳以下が391件、65歳以上が72件となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　実績報告書25ページ、一番上のほうですけど、栄小学校の長寿命化改修の見直し、複合的な活用の検討ということで、どんな検討が行われましたか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　答弁願います。

北川課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君）　複合化の検討の内容としましては、児童クラブ、放課後子ども教室を校舎の中の、特に特別教室ですけれども、そちらを活用していくという

方法を検討いたしました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　その下のエレベーター改修工事、中央小学校ですけど、これのエレベーターは築何年で、改修内容をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　北川課長。

○公共施設管理課長（北川宜志君）　設置年は、申し訳ございません、把握しておりますが、改修の内容としましては、エレベーターの籠の全面的な更新となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　資料ナンバー1の①の、先ほどふじえ委員が質問した契約実績一覧で、これ、総評点を見ますと、結構40点台とか50点台とか低いものも見られるんですけども、点数が低いというのはどういう状況なのか。で、こういったのがちょこちょこ見られるんですけども、これはどういうふうに分析されていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦　倫彰君）　幾つか、多分40、上から3つ目の点数の低いものなどを御確認いただいてということだと思います。

これ、工事内容について、本課の職員たちから指摘が必要になった工事があるって、そういう回数ですとか、そういうものでこういう評価になっていると。ただ、やっていく過程では指摘をして、やってもらって工事を終えておりますので、最終的には終わっているんですけども、指摘が必要だったというふうに考えています。その指摘が必要だったということについても、当然指摘がないほうが我々もいいと思っておりますので、当該事業者の方々と終わった後に話をして、そういうことがないようにしてほしいということは伝えてあります。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　指摘があつて直す部分に関しては、無料でといたしますか、業者の負担でやると、そういうことでいいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　浦課長。

○財政課長（浦　倫彰君）　委員御指摘のとおりです。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　実績報告書の27ページ、上から2番目のところで、市民相談事業があるんですけど、法律相談167、困り事相談8、司法書士相談54、一般相談が225とあるんですけど、これらの相談後の解決件数はどうなっていますか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君）　ここはあくまで相談を受ける場ですので、解決に向かって、次はどういうことをしたらいいとか、どういったところに相談するといいいよとか、そういったことをつなぐ場所でもあります。その場で相談して解決したのがあるかないかについては、ちょっと、申し訳ありません、把握はしてはおりませんが、およそその場で相談を受けてすぐ解決するような内容は、こういったところには相談には来てないというふうに私は認識しております。

　　以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　委員の皆様に質問します。まだありますか。また大分ある。ありますね。あります。

　　それでは、じゃ、続きまして、引き続き質疑のある方は挙手をお願い。

　　林委員。

○林　ゆきひろ委員　決算書51ページの企画事務事業の中の行革の委員報酬ですけども、昨年より増額しているんですけど、行革自体は多分回数は変わってないと思うんですけど、多分等の中に何かいろいろ入っているんですかね。どういうものが入っていて増えているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　答弁願います。

　　萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君）　増えている原因としては、要因としては、総合計画の審議会の委員さんの報酬が入っております。

　　以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　実績報告書の27ページの一番下のほうになりますけど、共生交流プラザ管理運営事業5,800万ほど、これらなんですけど、これの中で利用料収入とイベント収入、公共利用分の収入、それぞれお答えください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君）　カラットの利用料収入でございます。全体で約1,600万円、そのうち一般利用分が1,200万円、約1,200万円、公用利用分が約400万円というような内訳

になってございます。

イベント収入でございますが、その他の収入ということで、イベントのみならず、例えば印刷機とか駐車場の料金、そして売店の売上げ、それらを合計しますと、約950万円相当が全体の収入になってございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の29ページ、多文化共生推進事業の2番目、外国人市民向け相談対応時事業の中の通訳業務事業144万で、これらの件数と相談内容、教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 通訳業務約144万円のものですが、内訳としましては、下に書いてありますとおり、電話通訳、3者間通訳ですけれども、これが大体140万円、そしてタブレット翻訳機の通信料が約3万円というふうになってございます。

それから、内容でございますが、多くは保険医療課の案件、それから、債権管理課案件の滞納とかそういった相談、それから市民課の案件で、例えばマイナンバーとか住所変更とか、そういったものが多くなってございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところで、ちょっと重なっちゃうかもしれないんですけど、通訳業務が、これ、実際、大分これ、昨年と比べると減ってきている、減ったんですけども、何件の理由で、これ、減ったのはなぜなんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 契約金額が大きく減っているのは、入札によるものでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 利用件数とかは変わってないんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 利用件数につきましては、昨年度よりは減少をしております。理由としましては、ベトナム語通訳を配置したことによるものです。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの決算書51ページの行革の委員のところですけども、これ、委員報酬は行革の委員と総合計画の委員だけですかね。で、増えたのは総合計画の部分だけですか。実績の26ページのところに、民間活用の審査委員会というのはあるんですけど、これはここには入ってないんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） この報酬の中には、林委員が言われる民間活用の審査委員会の委員さん、あと、まち・ひとの総合戦略の委員の報酬、あと、行政区の町名・地名審議会というのを開きましたので、その委員さんの報酬も入っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の34ページになります。一番上のところなんですけど、個人番号カード保有枚数ってあって、5万3,887ということで、これ、減っていると思うんですけど、その理由はどうでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） 今までは交付枚数のほうを記載しておりました。実際今回は保有枚数ということで、実際今、市民の方がマイナンバーカードを保有していらっしゃるという枚数になっております。交付枚数になりますと、2枚目の方もそこにカウントされてしまいますので、今回から保有枚数というふうに記載をさせていただきました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 会議の途中ではございますが、ここで10分間の休憩といたします。

午後2時11分休憩

午後2時21分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

それでは、こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどの続きの個人番号カードの件なんですけど、これ、返納し

た人って見えるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） 返納した方はいらっしゃるかと思いますが、数字のほうは持っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ちょっと返納は、多分あまり関係ないかなと。願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その下の選挙啓発事業で、明るく正しい選挙の執行と選挙に関心及び政治意識の高揚とあるんですけど、政治意識の高揚、どういったことをしたんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 田木課長。

○総務課長（田木 勇君） まず、新たに有権者になった方、18歳になった方については、啓発のはがきをお送りしたりとか、二十歳の会において、選挙啓発のパンフレットのほうを皆さんに配布して、そういった政治意識の高揚を図っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績26ページの下の方の公平委員会がかなり増えているんですけども、昨年度はどういう案件を何か議論されたんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

田木課長。

○総務課長（田木 勇君） 公平委員会の案件についてはございませんでしたが、各総会が、コロナで行われていなかったものが、全国とか、東海支部の総会が行われたため、増えているということになります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績27ページ右の共生交流プラザカラットのところですけども、この運営事業の委託指定管理料が5,800万ほどありますけど、このほかに利用料の収入とかイベントの収入ってどのぐらいあったか分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これは、この金額に対してのことだけ聞いてください。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、それはどういうふうに使われたかというところは把握されていますか。その収入の部分の部分をどういうふうに使われたのかというの。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） この決算に対してのなので、収入も言えないし、駄目ですね。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） まず、共生交流プラザカラットの全体の予算規模、支出の規模が約6,400万円になっております。大変失礼しました、ごめんなさい、6,500万円です。収入、支出ですね。収入のほうが、6,500万円のうち、利用料収入が、まず一般のほうで1,200万円程度、それから、先ほど御質問がありましたその他の収入、これが大体900万円程度、そして指定管理料、これは公用の利用料を含みますけれども約4,400万円、計6,500万円が全体の収入になっております。支出のほうはここから、例えば人件費ですとか施設の維持管理費、そしてイベント等備品を買ったりといったような、消耗品等を買ったりとかというような需用費ということで、6,500万円支出しておるといような状況でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて、2款 総務費の質疑を終わります。

ここで、理事者の説明者の入替えのために、暫時休憩といたします。

午後2時24分休憩

午後2時28分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 続いて、3款 民生費について、説明をお願いします。

塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） それでは、3款 民生費の決算について、御説明をさせていただきます。

実績報告書の38ページをお願いいたします。

3款1項1目 社会福祉総務費です。決算額は6億9,663万3,041円で、前年度より5億4,518万円余の減額となりました。減額の主な要因は、次のページの39ページの下段、国民健康保険特別会計繰出事業で、前年に比べ5億6,850万円余の減額となっております。

続きまして、実績報告書40ページ、お願いします。

2目 老人福祉費です。決算額は10億8,455万2,394円で、前年度より1億2,140万円余の増額となりました。増額の主な要因は、介護施設等整備事業費補助事業の4,810万円余の増、及び42ページの中ほど、介護保険特別会計繰出事業が総額で5,520万円余の増となっております。

続きまして、その下、3目 心身障害者福祉費です。決算額は24億172万1,480円で、前年度より3億4,546万円余の増額となっております。増額の主な要因は、心身障害児者扶助事業における扶助費が、前年度より3億2,124万円余の増額になったことによるものです。

続きまして、実績報告書45ページ、4目 福祉医療費です。決算額は9億123万2,394円で、前年度より2,900万円余の増額となりました。増額の主な要因は福祉医療助成費の増額によるものです。令和6年度より、子ども医療の通院について、18歳到達年度末まで対象を拡大いたしました。

続きまして、46ページ、5目 後期高齢者医療費です。決算額は11億3万1,114円で、前年度より1億2,660万円余の増額となりました。療養給付費負担金と保険基盤安定繰出金の増額、また、後期高齢者健康診査等の事業で、はつらつ健診委託事業等を後期高齢者医療特別会計から一般会計に移したことによるものです。

続きまして、その下、2項1目 児童福祉総務費です。決算額は17億153万1,984円で、前年度より144万円余の増減額となりました。児童福祉事務事業において、児童手当拡充により……。

(発言する者あり)

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どうぞ、続けてください。

○健康福祉部長（塚本由佳君） 児童福祉総務費です。増額、すいません、増額です。失礼いたしました。

児童手当拡充により1億4,736万円余の増額となりましたが、令和5年度に行いました物価高騰対策としての国及び市の給付事業分が減額となり、児童福祉総務費全体としては大きな増減はございませんでした。

続きまして、実績報告書48ページ中ほど、2目 保育園費です。決算額は31億5,754万7,207円で、前年度より6億3,068万円余の増額となりました。主な増額の要因は、正規職員の保育人件費の増額や会計年度任用職員の賃金上昇及び勤勉手当支給の報酬、職員手当等の増額で合わせて2億円余りの増額、加えて民間保育所等の改修工事に対する補助金として、認可保育所等整備補助金約2億円の増、そして、内山保育園が民間に移行し、給付対象になったことや、公定価格の引上げにより施設型地域型保育給付費が2億2,096万円余の増額になったことによるものです。

続きまして、実績報告書49ページの下段、3項2目 扶助費です。決算額は9億7,632万9,702円で、前年度より4億848万円余の減額となりました。減額の主な要因は、国の方針に基づく非課税世帯等を対象とした臨時給付金関係経費が、前年度に比べ約4億円減額となっていることによるものです。

以上で民生費についての説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 説明よろしいですか。

説明は終わりました。

3款 民生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

武谷委員。

○武谷としお委員 決算書70ページで、実績報告書は44ページなんですけど、決算書の中で施設入所支援費7,100万円があります。ここの中に、去年、事業取消しになったグループホームがあるかと思うんですけども、この項目に入っているかどうかということと、取消しになったときに、市への返還金とか、市から県への返還金があるかと思えますけども、それはどのようになりましたでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

小野寺地域福祉課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） ただいまの質問について、お答えをさせていただきます。

返還金につきましては、額を確定をさせて、恐らく令和7年度において、国や県に返還をしていくという運びになろうかというふうに思っています。不適切対応があった施設につきましては、グループホームでございますので共同生活援助、その項目に入っているという状況でございます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 実績の39ページの重層支援センターに関してなんですが、対応が難しいということで重層支援センターをつくられて、この1年間で従来の体制では解決が難しかったという典型的なケースがあったならば教えていただきたいですし、この302世帯の相談があった、依頼相談あった件数ですが、その中で当初の想定していた件数よりも多かったのか少なかったのか、どのような、理由が分かれば、それに関して分析はされていますでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 今、岡島委員からありましたように、支援依頼のあった件数については302世帯でございました。実際に相談のあったものについて、支援会議を立ち上げて、どのように対応すべきかという、その会議を行った件数というのは316件でございます。制度のはざまということがございますので、お金に関すること、障がいに関すること、そういった要因が様々複合的に絡み合った、そういった相談支援について、適切な対応を図ってきたというところでございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほどのグループホームの件で、返還金についてちょっと、もうちょっとお聞きしたいんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ページ、ページだけ。

○浅井たかお委員 ごめんなさい。実績報告書の44ページの障害福祉サービス事業のところ、先ほど武谷委員が質問したことに関連ですけど、市や国、県に返還のお金は分かるんですけど、利用者負担というのがあるんですけど、利用者の負担についてはどのような返還がされるんでしょうか。市が一括で受け取って利用者に戻すのか、業者が一人一人に戻すのか、どういうふうでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 市が返しているものについては、施設運営に対するサービス給付に係るものでございますので、そちらについては国や県の補助金を頂いているものでありますから、不正請求のあった分については市が国や県に返していくということになります。利用者負担額については、施設側が直接御本人と対峙をする中でお金をお返しをしていくと、そんな形になります。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今は、利用者に対しての返還というのは確認できているんですか、市のほうは。そうするか、別の機関が確認するのか、どうなっていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 不正請求のあった額、そういったものにつきましても、利用者負担額につきましても、そもそも施設については県の認可ということがございますので、県において確認をなされている。名古屋市の施設を利用している場合については、

認可が名古屋市でありますので、名古屋市において確認がなされているという状況でございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書の39ページの上から2つ目、生活困窮者緊急生活支援事業です。

これ、とても感謝されている事業だと思うんですけども、現在も相談窓口を案内されたということで、この困窮世帯の方の現在の相談内容とかがお答えできれば教えていただきたいのと、どのようなそのほかにも効果があったのかなということが分かれば教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 具体的な相談のあった内容というものは、やはり時代に合ったというか、今の時代に即したものでございまして、お米が高いとか、物価が高いとか、そういった御相談があります。相談というよりは、意見があります。

市民から直接的な相談としては、お子さんの不登校のことであったりとか、市の制度、医療費の減免をどのように受けるかとか、駐輪場の利用をどうすればいいのかとか、そういった市のサービスによる御相談があります。こういった相談については担当課と連携を図りながら、直接丁寧に御回答を差し上げているといった状況でございます。

以上であります。

（それは解決のほうに向かったということでもいいでしょうかの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） お返しをして、その後の反応がございませんので、御本人は御理解されたのかなというふうには受け止めております。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のは生活困窮者の緊急生活支援事業だと思うんですけど、これ、昨年と比べるとかなり減ってきています。

で、実績の50ページの真ん中辺りの非課税世帯の臨時特別給付金のところを見ますと、新たに非課税になった世帯が498世帯で均等割のみが336世帯、結構私は多いと思うんですけども、で、この給付金事業も、金額としては昨年よりもかなり少ない金額になっておりますが、こういうぎりぎりの世帯が多くなっているということをどういうふうには分析して

て、昨年度ですけど、どういう支援を考えてきたのか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 今、林委員がありました、非課税世帯等への臨時特別給付金につきましては、これはあくまでも国の制度によるものでございます。国の考え方に基づいて、市が国の意向に沿って実施をしたというものでございます。

しかしながら、生活困窮者緊急生活支援事業というものにつきましては、市の施策判断において実施をしたものでございまして、やはり市民の方のアンケート結果を見ると、やはり感謝をされている、こういった制度については非常にありがたいという意見もありましたし、一方では、ここまで丁寧に市が対応してもらわなくてもという、そういったお声も実際にはあったというところでございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それに関連してですけど、実績報告書の49ページを見ますと、の一番下ですけど、保護率も本市は上がってきています。先ほど、50ページの住宅確保給付金も支給世帯が増えているんですけども、この状況はどういうふうに分析されていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 生活保護の受給者数、割合が増えているということにつきましては、やはり高齢化に伴って高齢者の世帯が増えていると。また、併せて単身世帯が増えているといったことが、背景としてあるんだろうというふうに思っています。

住宅確保給付金につきましては、離職等によって住居を失った、またはそのおそれのある人に給付をするというものでございますので、やはり昨今の経済情勢とか、そういったものが影響しているんだろうというふうに捉えているところであります。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のその住宅確保給付金のほうで、これ、19世帯で延べ71世帯ということは、1世帯当たりが割と長く使っているのかなと思うんですけど、ここの条件とか、一定期間の家賃相当というんですけど、これ、一定期間というのは上限なくできるようになっているのかということと、やはりこれはなかなか就職しづらいような社会情勢があるのかどうか、この辺りはどう考えていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 家賃額については、生活保護の住宅扶助の基準にのっかってやっております。例えば、1人世帯であれば家賃額の上限が3万7,000円、2人世帯

であれば4万4,000円ということでございますので、これを限度に住宅確保給付金を支給していると。申請については2回までできるとされていて、最大9か月分の家賃を受給することができる、こういった制度でございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、9か月以上の場合は、もう支援がなくなって打切りになったら、どういうふうに使われていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） あくまでも国の制度が9か月までということでございますので、そのような形になってございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、先ほどの非課税の世帯の臨時給付金もですし、住宅確保給付金も国の制度でということなんですけど、市の独自施策としては特に考えはないということですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） あくまでも、給付金にしても、住宅確保給付金についても、繰り返しになりますが、国の制度によるものでございます。市といたしましては重層支援センター、あるいは生活困窮相談よりそいの中で、お困り感のある人についてはしっかりと耳を傾けて、どのような対応ができるのかというところについて相談支援をしっかりとやっていく。このようなことが大切な視点かなというふうに使っています。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そういう方の生活の実態調査とか、そういった状況というのは把握されていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 具体的には、アンケート調査による生活の実態調査というのはしていません。ただ、よりそい相談、そういった中では生活の実態というところについては、少なからず把握はできているのかなと。全てではございませんけども、実態というものについては把握できているのかなというふうには思っています。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書の39ページの3つ目の包括的就労推進事業にお聞かせください。

これだと333件の相談があったと書かれているんですけども、これ以上にひきこもりの方というのはもしかしたらいらっしゃると思うんですけども、相談のあった333件のこの方たちが、どれぐらいの就労ができたのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 結果として就労につながったという件数につきましては5件というところでございます。件数としては非常に少ないという状況ではありますが、5件の方が就労につなげることができたというところでございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 その5件以外の人たちにも、何らかのアプローチとか、その後のフォローとかはしてくださっているということでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 包括的就労につきましては、相談内容としては確かに就労につなげるという部分もございますけども、一方では、働くということがつながらないというところでは就労の定着支援と、こういった相談も受けているところでございます。数は少ないところがございますけども、ひきこもりであったりとか、人間関係のことであったりとか、そういった支援も相談者に寄り添って対応はさせていただいているということでございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 補足をさせていただきます。

今の包括的就労支援でございますが、重層支援センターと連携をして実施をしております、昨年度です。重層支援センターのほうで就労に、包括的就労支援と一緒にやって就労につながった件数は約30件になっております。ですので、合計35件程度ということでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 実績の45ページで福祉医療事業なんですけど、18歳まで医療費の助成が

始まって、2,900万円ぐらい増加していると思うんですけども、このことによって、この増加分の何%が高校生までの医療費に当たっているのか。また、件数も増加していると思うんですけども、この件数もそれに比例したものであるのかを教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 令和6年度の4月診療分より、子ども医療、高校生の18歳到達年度末までということで拡大をしておりますので、その影響ということでお答えをさせていただきます。

子ども医療につきましては総額で3億9,400万程度となっております、3.5%ほどの増となっております。ですが、年代別での分け方というのが、ちょっと系統的に難しいものですから、この中で高校生の分が幾らかということは確定できません。ただ、45ページにございます受給者数につきましてはの前年度比の急増分につきましては、高校生の増に伴うものでございます。

それと、あと医療費につきましては、コロナ以降を、非常に増減を繰り返しておりますので、ちょっと前年と比較してこれが多いか少ないかというのは非常に難しいところかなと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 決算書の75ページ、3款2項2目の保育園費のところの警備委託料です。

これ、330万円のうちの270万円を流用しております。これって流用の対応でよかったんでしょうか。それとも、本来なら補正予算を組むのが適切かと思うんですけども、流用した理由というのは何かあるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 小川こども保育課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 警備委託料が増額した分でございます。流用して執行しております。こちらについては、園のほうに不審な手紙が届きまして、緊急対応で警備員を雇ったというもので、補正のタイミングがなかったということで、流用でやらせていただいたというものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書39ページ、真ん中辺のひきこもり対策推進事業で、ひ

きこもり相談窓口が1,539件ということで、社会参画の促進ということで、これで何人ほど復帰した件数があるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 令和6年度の新規の相談というのは17名ございました。その中で、令和7年度においても引き続き支援をしているという方が14件ございますので、令和6年度の数だけを限って申し上げれば、3名の方が相談支援が終了したというような状況ではございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じ39ページの上のところの先ほどの包括的就労推進事業の、これ、相談件数自体が半減しているんですけど、その理由と、あと、その下の生活学習支援、これも独り親世帯も合わせてって書いてあるんですけども、申込者がこれも半分よりも少なく、延べ回数も半分より少なくなっているんですけども、この理由をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） なかなか、相談件数が減ったという原因について、なかなか分析するところは難しいところではございますけども、令和5年度が652件、令和6年度が333件ということからすると、やはり確かに大きく減っているといったところがございます。学習支援につきましても、令和5年度が58名、令和6年度が23名ということで、いずれも大きく減ってございます。これについては数字の結果ということでございまして、なぜというところについては、分析はちょっとできていないというのが実態でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村子育て支援課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 先ほどの地域福祉課長が答えました生活困窮者学習等支援事業でございますけれども、令和6年度から、子育て支援課の児童福祉総務費のほうでも、独り親家庭への支援ということで予算を取らせていただいております、ちょっと分ける形になっているんですけども、そちらのほうの実績、すいません、主要施策のほうには書いていないのですが、申込者数が26人で、延べ450の方に学習支援を行うことができましたので、合わせていただくとそれほど変わっていないかなと思います。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 併せて相談件数のほうでございますが、こちらも重層支

援センターとともに相談を受け付けております。重層支援センターのほうは各支援機関の支援依頼で動いておりますので、これまでセンターがなかった場合には、就労ということであれば、まるっとさん、包括的就労のほうに行きましたけれども、例えば困窮で受けたり、子育てで受けたときに、一旦重層支援センターのほうに受け付けて、それで連携してやっているというところで、分散して計上されているというところがございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 月岡委員、大丈夫ですか。

ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の38ページの一番下の表というか、欄のところですけど、一番右側に連絡調整回数ってあるんですが、これの連絡調整というのはどんなものがあるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） この連絡調整というのは、市との関わりの中で何かやらなければいけない、いわゆる定例会に参加をさせていただいたりとか、そういった件数もこの中には含まれているというふうに理解をしています。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の39ページ、ひきこもり対策推進事業って、先ほど令和6年が17名が就労ができたということでしたけれども、これ、1,539件の相談件数があるって、全体では、これ、何名いるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 先ほど、就労ができたというのは、私のほうで5名というお話をさせていただきました。重層支援センターでも就労支援といったものも併せて行っておりますので、そちらのほうで就労につながったというのが30件ほどありましたので、合わせて35という数字になろうかと思えます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） これ、1,539件のうちで、就労に該当する件数、聞いているんじゃないんですか。対象人数1,539人のうち、就労。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） すいません、かねてからの相談実人数ということがございます。そこについては、令和6年度末現在で51名という数字になってございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書39ページの先ほどの下のところの重層についてですけども、今議会で今話題になっているスマホ条例が上がっているんですけども、たしか、これ、そういうこういった重層の相談の中で、スマホを長時間見てて、それが原因でいろんな解決できない困難事例が複数あって今回条例に至ったという話を聞いたんですけど、実際この302世帯のうち、どれぐらいそういったものがあるんですか。分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） スマホ条例を制定するに至ったいろんな背景というのは、何もこういった重層の案件だけではなくて、例えば母子保健のほうで子どもの、乳幼児の育児において、例えばスマホ利用が気になるとか、保育園現場でそれが問題になっているとかいった、様々なものがございますので、この重層のほうの相談から今回の上程になっているというわけではございません。まずそこはお話をしたいと思います。

そして、スマートフォンの利用とか長時間利用、またゲームの依存等での事象が見られるお子様については、今年度、令和7年度に、子ども家庭庁の事業で不登校支援をしている一環で、そういった事例が目立っているというところがございますので、昨年度には、我々、不登校の領域のほうは相談を受け付けてございませんので、この中には含まれていないということで御理解いただければと思います。よろしく申し上げます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 決算書の66ページの下のほうからちょっと、老人クラブの補助金、これ、多分お元気な老人クラブに入られている方の補助金だと思うんですけども、これの人数を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 令和6年度の老人クラブの会員数でございますが、2,802名となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の40ページ、真ん中から下の辺の老人施設入所措置事業ってありまして、特別養護老人ホームが女性3名入っているんです。この方が3人増え

たんですけど、この要因はなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 老人施設入所措置事業の特別養護老人ホーム、女性3名が増えた件ですが、虐待等による措置の必要があったため、3件増えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 一応、女性が増えたというところにピックアップしているんですけど、特に理由はないということでもいいんですよ。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 特段、ケースケースが女性だったということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

副委員長。

○郷右近 修委員 決算書76ページ、3款2項2目 保育士資格取得の支援事業のお金の金額で、ゼロということは実績がないということで、どういう様子かが、答弁できる内容があったらお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小川課長。

柴田課長……。

（小川で回答させていただきますの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小川こども保育課長。

○こども保育課長（小川正寿君） 執行がゼロということですので、実績もゼロでございます。こちらについては大人の学び直し事業で、市内の専門大学で保育資格を取得のために学んでいただく学費について補助をするものでございますけれども、対象者が、6年度から実施しておりますけれども、対象者がいなかったということもございます。なかなか、社会人枠というところもございますので、お金をかけて、時間をかけてやるということは、なかなかハードルが高い事業ではあるなというふうには認識しております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 制度の運用とか問合せみたいなものというのは、あるにはあったんですけどっけっか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） スタートのときは、報道機関にもいろいろ報道してい

ただきまして、話題はありましたけれども、特に保育課のほうに問合せがあったことはございませんけれども、大学を通じてやっている事業でございますので、受験希望の方には漏れなく伝わっているという認識をしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　決算書のほうの73ページ、独り親家庭等学習等支援事業委託料なんですけど、これは所得制限とかはあるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君）　ございます。児童扶養手当受給者というふうにさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　その下の子連れ出勤普及啓発事業委託料です。これ、今、市役所内もまだやっているんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君）　市役所内でも実施しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　それで、これ、市役所と、あと事業所もやっているんですね、これ。子連れ出勤普及啓発事業の補助金ですか、こちらのほうは何事業所で、延べ日数とか延べ人数はどういうふうでしょう。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　こんどう委員、これ、事業所もやっていますねというのは何を指しているのかだけ、お願いします。

○こんどうのぶお委員　74ページの子連れ出勤普及啓発事業費補助金なんですけど、これの件なんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君）　事業所は、6年度につきましては3事業所に普及啓発事業を委託させていただいております。従業員の数につきましては、少々お待ちください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員）　じゃ、続いて、質疑のある方。

浅井委員。

○浅井たかお委員　決算書の71ページなんですけど、の下のほうに扶助費の下、未熟児養育医

療給付費負担金・返還金の42万5,539円ってあるんですが、これが返還されたのは、これ、
どういう理由からでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらのほうは、国と県からの補助金に関して、実績
に合わせて返還したものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長、いいですか、お願いします。

○子育て支援課長（松村清子君） 子連れ出勤の社員の数でございますが、はっきりとし
た数は申し上げられないのですが、アンケートを取らせていただいた従業員の方は合計
で29名となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 社員の方はよかったですけど、その使われている方のお子さん
の日数だとか、人数はお分かりになりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 普及啓発事業の委託の中に、その人数の報告とかが入
っておりませんので、把握できておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの子連れ出勤ところですけど、市のほうではどれぐらい、利
用人数とか日数とかはあるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） すいません、主管課が秘書広報課に移っておりますの
で、私のほうからは差し控えさせていただきます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の47ページの下家庭相談員のことで、これもスマホの、
先ほど、子育てしながらスマホとか、そういう話もあったんですけども、かなり相談件数、
これ、増えているんですけど、そういうスマホのことに関しての相談とか、そういうのは
あったんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 家庭支援をする中で、お子さんのスマホの時間とかゲームの時間というお話はございました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それはどの程度あったかというのは数えていますか。把握していますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 実人数としては2人です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の49ページの民生費の生活保護総務費の下のほうの危機管理監視委員のところは、これなんですけど、どんな成果があったかということと、平常時はどんな業務をされているか、あと、対応された事例はあったか、教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 危機管理監視員につきましては1名雇用しております。週5日、9時から17時まで勤務をいただいておりますが、平常時といいましょうか、家庭訪問を通じて、やはり生活保護を受給している方の中には少し乱暴な方もいらっしゃるという中については、ケースワーカーに同席をいただいております。家庭訪問をしていただいているというようなどころでございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどの47ページの家庭相談員なんですけど、これ、件数、非常に増えているのが不登校だとか、その他育児ですか、増えていまして、4人でやってみえるということで、1人1,300人ぐらいになるんですか、1,300件ですか。これで人数のほう、足りているんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 正職員も3名入っております、家庭相談員ではないんですけれども、令和6年度、7人体制で対応してまいりました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございますか。

副委員長。

○郷右近 修委員 決算書77ページ、2款3項2目 進学準備給付金、これも実績がないということで、対象になる方々のこの6年度の様子と、あとは、先ほどと同じように、問合せとかいろいろな確認なんかがあったかどうかみたいなことをちょっと答弁していただきたいです。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） これも結果としてゼロだったというところがございますし、問合せについては、残念ながら問合せもなかったというところが実態でございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の47ページ、下のほうなんですけど、6番目、保育所等訪問支援というのがありまして、保育所、幼稚園、学校等に在籍する児童に対し、支援員が訪問するということです。これの訪問頻度はどのぐらいなのでしょう。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） こちらのほうは障がい児のサービス事業として実施しておりまして、訪問頻度につきましては、すみません、その一人一人で異なりますので、今お答えができない状況でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 松村課長、今お答えできないということは、答えを持って来るんですか。

○子育て支援課長（松村清子君） すいません、答えがないです。申し訳ございません。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 もう少し具体的な支援内容を、もう少し教えてほしいんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） こちらは、保護者の方の求めに応じて、受給者証のある方に対してのサービスとなります。保護者の方がこちらの訪問等支援事業を受けたいよということだと、そちらの支援員が学校とか保育園、幼稚園と調整いたしまして、どのぐらいの頻度で伺ってどういった支援をしていくか、お子さんにとってよりよい環境を一緒に考えて、その方がその場所で過ごしやすいような環境を整えていくというような事

業となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 すいません、実績報告書の50ページの上のほう、住居確保給付金支給事業について、少し教えてください。

この19世帯の中、延べ71世帯あるんですけど、日本人の方だけなのか、外国籍の方もいるのか。それで、もし外国籍の方があれば、割合というか、件数を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） 大変申し訳ありませんが、この19世帯について、外国籍なのか、日本人籍なのかというところについては、正直、今手元に持ち合わせていないところがございます。たとえ外国籍の方であっても、日本人と同じように対応はさせていただいているというところで、御理解を頂戴できればと思います。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の74ページ、真ん中からちょっと下です、児童福祉総務費の中の補償補填及び賠償金の契約清算金というのがあるんですけど、これは何の契約になるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 昨年の12月補正で計上させていただいたものになりますけれども、障がい児の相談支援事業委託に係る過去の消費税分につきまして、修正申告に伴う補填の金額となります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績47ページの下の家相相談員のところですけども、先ほど正規の職員が3人プラスして7人で実施しているということですけど、この家相相談員4名は多分会計年度の方だと思んですけど、この人の勤務時間と週何日か。で、かなりこれ、そうはいつでも件数が多いので、そういう残業対応とかそういったことはないのかどうか、その辺りはどうでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 6年度につきましては、朝9時から午後5時までの勤務の者で週4回の者が3名、それから、朝8時半から午後4時半までの勤務で週5勤務の

者が1名でございました。

で、保護者の方と何らか面接をするに当たり、仕事が終わってからの面接もございませぬので、時間外で対応している場合もございませぬ。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませぬか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 資料ナンバー2の④です。各児童クラブの開所日数と定員、登録人数の表です。

栄児童クラブと吉池クラブが定員に対して登録人数が超過して、特に栄児童クラブは令和5年度もそういうふうで多かつたんですが……。

10款ですね、失礼しました。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですね。

一色委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書49ページ、公立保育園のICT化事業、これなんですけれども、スマホやネットで保護者との連絡を進め、保護者と保育士の業務軽減を図ったということなんですけど、これ、当初予算よりも約560万減額してあります。それと、保護者と保育士からの評判はどのようなものなのか、ちょっとお聞かせください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小川課長。

○こども保育課長（小川正寿君） まず、減額分でございますけれども、これは入札執行によって減額になったものでございます。

それで、評判はというところでございますが、やはり新しいシステムですので、導入当時はなかなか戸惑ったところはございますけれども、登降園のスマホで打刻するということは今100%の御利用をいただいております、欠席、遅参の連絡等もやりやすいよというふうなお声はいただいております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませぬか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の79ページの真ん中辺のところ、保健衛生事業で、予防接種健康被害調査……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これ、4款。

○こんどうのぶお委員 4款。ごめん。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 重層支援センターのことについて聞きたいんですけど、決算書だと65ページの上のほうで、実績報告書だと39ページのちょっと下になるんですけども、これ、予算の審査をしていたときに、国や県のほうから支出金が頂けるといようなことで、2,000万ぐらいあったんですけども、この重層支援センターの事業で幾ら全部で使ったのか。この款だけではないと思うので、もし分かればそれを教えていただきたいのと、国・県からどれほどが充てられたのか、そこ分かればお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） この事業費につきましては、様々な課で予算計上されている事業費でありますので、円単位までの正確な数字というところはお答えは差し控えていただきますが、総事業費といたしましては、決算ベースでは約2億8,000万円ほどというふうに理解をしているところでございます。それに対して、国や県から頂いた交付金といったところにつきましては1億5,000万程度と、そんなような事業になってございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書42ページの一番上の地域包括支援センターのところなんですけども、これ3つ、北部と南部と中部とありますけども、南部の相談件数だったりとか、件数が大分少ないと思うんです。対象となり得る第1号被保険者はほとんど同じぐらいだったと思うんですけども、なぜこれ、南部のところだけ、ちょっとそういった相談件数が足りないのか。要するに人員が足りなくてということとかもあるのかどうかって確認したいんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 先ほど、高齢者の人口で申し上げますと、北部が、7年の3月末現在の数字を申し上げますが、北部が5,147名、南部が5,454名、中部が7,097名となっております。そう考えると中部は比較的多いかなというところではあるんですが、北部と南部は近い数字となっております。

委員御指摘の南部が少ないというお話ですが、現場から聞いている話では、相談、人員体制が充実してなくて相談が受けられないというような声は聞いておりません。様々、相談件数が多い・少ないということは、一般的には後期高齢者の人数が多いですとか、独居の方が多いと相談件数は多くなるということは想像できるんですが、すいません、南部だけ確かに突出して少ないものですから、その原因は分析はできておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　実績報告書の41ページで、真ん中からちょっと下の辺の利用者助成事業、社会福祉法人による利用者負担減免措置事業というのがありまして、これの福祉法人による利用者負担の減免措置事業に関して必要事項を定めということで、この必要事項、どういった事項なのか。あと、交付団体2法人、これはどちらになるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　今枝課長。

○長寿課長（今枝　翼君）　一定の要件につきましては、収入の要件と資産の要件等により、低所得者というところで制限を設けさせていただいておる制度となっております。

もう一点ですが、2法人の、ごめんなさい、どういう施設かという御質問ですかね。

共に特別養護老人ホームを経営しておる社会福祉法人だと、そこから実績報告は上がっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　決算書69ページの下の辺りにあります、保育所等における性被害防止対策にかかる設備の補助金ですけど、これ、ゼロ円なっているんですけども、補助金の制度としてはあって、募集したけど申込みがないということなのか、周知は、事業所に対しての周知というのはされているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君）　実は市内の相談支援事業所から1件、パーティションのようなものを設置をしたいという御要望があったんですが、実態としてはその取組がなされなかった。結論としては、相談支援事業所が今休止状態になってございますので、この補助金を活用されなかったというのが実情でございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　ほかにも相談支援事業所とか、そういった支援事業者はいっぱいあると思うんですけど、そういったところは、こういった補助金があるというのは周知はされているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君）　補助制度が確立された時点で、市内の事業所全てに周知をさせていただきました。結果として手が挙がったのが、相談支援事業所1者であったということでございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　決算書67ページ、下のほうなんですけど、社会福祉法人指導監査委託料、あるんですけど、これは何か所で、どういった施設を見ているんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝　翼君）　1法人に指導監査に入っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　どちらに委託しているんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　今枝課長。

○長寿課長（今枝　翼君）　税理士法人のほうになります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　浅井委員。

○浅井たかお委員　実績報告書の47ページの下の方、家庭相談員による相談事業のところの相談件数、内訳、その他3,338件というふうにあるんですが、この中身というのは、様々あると思うんですけど、どんなものがあるか、ちょっと主立ったものを教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君）　その他で上げさせていただいておりますのは、複合的な課題を抱えて関係機関とより緊密に連携している、関係機関も多いケースとなります。必然的に1機関と情報の共有をさせていただいたりしますと、1件というふうにカウントするものですから、この件数が上がっているような状況となります。具体的には、貧困でしたりとか、あと養育能力的なものですとか、環境的なものですとか、様々となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　決算書の72ページ、児童福祉費です。一番下の備品購入費705万6,500円、これの内訳、どういったものを購入したんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君）　ひまわり児童館の改修に伴いまして、支援センターを設置させていただいた関係で、滑り台ですとかマットなどの遊具を購入させていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書69ページの下のほうの基幹相談支援センターですけども、これはかなり増額されているんですけども、昨年度そういった人員を増やしたのか、それとも何か別の事業が始まったのか、どういうことなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

小野寺課長。

○地域福祉課長（小野寺良夫君） この基幹相談支援につきましては、社会福祉協議会に委託をしている事業でございますけども、職員体制を1名増やさせていただいたというものでございます。なぜならばというところでございますけども、地域生活支援コーディネーター、この1名分を増とさせていただいたというところでございます。

以上であります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて、3款 民生費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために10分休憩といたします。

午後3時24分休憩

午後3時34分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、4款 衛生費について、順次説明を願います。

塚本部長。

○健康福祉部長（塚本由佳君） それでは、4款 衛生費の決算のうち、健康福祉部所管のものについて、御説明をさせていただきます。

実績報告書51ページをお願いいたします。

4款1項2目 母子保健費です。決算額は3億5,788万8,131円で、前年度より2,757万円余の増となりました。増額の主な要因は、子育て予防接種事業において、子宮頸がんワクチンの接種者数が増えたことによるものでございます。

続きまして、実績報告書52ページ、3目 健康推進費です。決算額は3億481万9,498円で、前年度より6,998万円余の減額となりました。主な要因は、新型コロナワクチン接種事

業に係る経費の減額によるものでございます。

続きまして、54ページ中段、6目 休日診療所運営費です。決算額は2,996万7,094円で、前年度より339万円余の増となりました。増額の主な要因は、医薬材料費の購入によるものでございます。

以上で、4款 衛生費のうち、健康福祉部所管の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 星子経済建設部長。

○経済建設部長（星子恭士君） それでは、4款 衛生費のうち、経済建設部が所管します決算概要を実績報告書に基づき説明いたします。

実績報告書の53ページを御覧ください。

4目 環境衛生費です。主な事業といたしましては、住宅用地球温暖化対策設備等設置費補助金交付事業、電気自動車等充給電システムの設置に対しての補助ですとか、合併処理浄化槽設置費補助金交付事業により、生活排水による河川等の水質汚濁防止に努めました。

次に、54ページを御覧ください。

7目 公害対策費です。主な事業といたしましては、公害対策事業として、健康や生活環境を保全するため、河川等の水質調査を実施いたしました。

次に、55ページを御覧ください。

2項1目 清掃総務費です。前年度比較約5,908万円の増額でございます。理由といたしましては、東部知多衛生組合の負担金が約4,152万円増額となったためでございます。これは東部知多クリーンセンターの公債費の増が主な要因でございます。

次に、56ページをお願いいたします。

2目 塵芥処理費です。主な事業といたしましては、市民から出される可燃ごみ、不燃ごみの収集運搬を行い、清掃事務所では粗大ごみの受付業務と玄関先への戸別有料回収を実施いたしました。

3目 し尿処理費です。主な事業といたしましてはし尿の収集処理でございます。

以上で、経済建設部が所管いたします4款の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 説明ほかありますか。よろしいですね。

説明は終わりました。

4款 衛生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 決算書の79ページの備考欄のところで、保健衛生事業の一番下のとこ

ろ、尾張東部地域救急医療対策協議会負担金というのが新たにできたみたいなんですけど、249万4,000円、これはどういったものなのでしょうか、教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁。

川原健康推進課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 新たな事業ではございません。瀬戸、尾張旭など5市1町で、人口割の負担で、折戸病院、旭労災病院など、輪番制で救急医療の体制を整えるための補助金となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 実績報告書53ページの環境衛生費について伺います。

単独から合併処理浄化槽に変換するよという補助金、これ、ちょっと確認なんですけど、家の建て替えとかに伴う浄化槽の入替えに関しても、これって補助の対象でしたでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 合併浄化槽の補助金については、あくまでも単独浄化槽、もしくは市へのくみ取りから合併浄化槽の転換が対象ですので、もともとくみ取りや単独を使ってみえた方が建て替えて、そのときに合併浄化槽をつけるという場合は対象です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ていきますと、ちょっと市内見渡してみると、意外とこのところ建て替えとかも多いような気がするんですが、上のV2Hがまず1件の補助実績、で、合併処理もこれ、2基の補助実績ということなんですけど、私の感覚ではちょっと件数、少ないのかなというふうに思うんですけど、どのようにこのあたり理解されていますでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 委員おっしゃるように、まず、すいません、V2Hに関してはやはり伸び悩んでおるということを思っております。やはりこういった家庭用のそういったエネルギーだと、太陽光発電と家庭の蓄電池が普及をしておるということで、それとV2Hというのが若干競合する場合がございます。我々としては、防災力の強化ということでV2Hを推奨しておる場所ではありますけれども、決算ではないんですけれども、令和7年度から蓄電池の補助を追加でやらせていただいております。

もう一点、合併処理浄化槽、こちらにつきましても、市内で建て替えで新規でというお声は確かにあるんですけれども、まずはし尿、くみ取りや単独浄化槽を合併処理浄化槽に

転換するのをお導きさせていただくということが、水質の良化につながると考えております。こちらも決算ではございませんが、令和7年度からそういった補助金について拡充のほうをさせていただいておりますので、そういった形で考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の79ページ、真ん中辺の保健衛生事業で、予防接種健康被害調査委員会委員報酬ってあって、これの委員会のメンバーと、これ、何回開催したんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 委員の皆様7人おまして、1回開催しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございますか。

武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書の55ページです。

資源回収の奨励金なんですけども、令和5年度に比べて300万円ほど減っております。これの要因というのは、民間のごみステーションが増えたとか、アルミ缶の盗難があったとか、何か要因は把握しておりますでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 資源回収奨励金が減っておる理由としましては、委員おっしゃるように、主にアルミ缶の価格が、売却の価格が下がっておりまして、アルミが約30%弱減少しております。鉄類もやはり下がっておりまして、なおかつ回収量自体も減少しておるということで、併せて奨励金自体の金額が減っておるというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 武谷委員。

○武谷としお委員 関連なんですけど、アルミ缶って1キロ当たり30円上がってないでしょうか。ちょっと確認ほう、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） アルミ缶は30円上がっておるんですけども、紙ですね、主に紙の回収の量が減っておりまして、年々減ってはおるんですけども、そういったことで奨励金自体は下がっておるという状況でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の79ページ、先ほどの、真ん中辺なんですけど、予防接種健康被害給付費ってあるんですけど、これは何名ほど支払い対象になったのかと、これ、あと算定はどういった形で算定するのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） こちらの給付の件数は4件となっております。こちらは予防接種を接種した市町村が窓口となりまして、その方の御相談を受け付けさせていただき、先ほど説明いただきました委員会、調査委員会が行い、それを基に県のほうに進達をし、国のほうで審査をし、認定を認めるかどうかということで給付が決まってきます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 関連です。

先ほど予防接種の被害調査委員って1回あったということなんですけども、申込み件数というのはどれぐらいあったんですか。健康被害の。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 6年度の。

（6年度ですの声あり）

○健康推進課長（川原静恵君） 6年度は、相談があった件数としては3件ですが、委員会として行ったのは1件で、1件を進達しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 実績報告書の54ページ、松本課長にお聞きしますが、公害対策費、7目です、下のほうの下から2行目、河川等水質調査、年2回、6月と12月ということで、河川、ため池、生活排水路となっておりますけど、数値的にはぶれたことはなかったでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 年2回測定をしまして、そういった直ちに人体に影響を及ぼすような数値というのは出てございません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 実績報告書51ページ、母子保健事業の産後ケア事業について伺います。

すいません、僕の記憶が間違っていたら申し訳ないんですけど、宿泊型が何年か前に比べると増えてきているのかなという感じがするんですが、こういったニーズの把握とかってされていますでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 改めて何かアンケートを取ったりということはしてないのですが、一番は、保健師が全件赤ちゃん訪問しておりますので、その中で必要な方に御案内をさせていただいておりますのと、一応ホームページにも掲載して周知させていただいておりますので、御本人からお申出がある場合もございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

月岡委員。

○月岡修一委員 実績報告書の52ページ、中ほどですけれども、ハローウッドプロジェクト事業、長野県上松町の作られたおもちゃの件ですけども、このおもちゃの種類と、441件というたくさんの方に贈呈しているわけですけども、総額幾らになったのか、これを教えていただけますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） こちらでお渡ししています木のおもちゃは3種類ございまして、1つが木製のスプーン、もう一つが握ると鈴が入ってしまっていてカラカラ鳴るもの、それから、手でにぎにぎするもの、すいません、うまく言えませんが、そういった3種類になっております。ちょっと金額については後ほどお答えさせていただきます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところと少し関係するんですけど、実績の51ページの先ほどの赤ちゃん訪問だと432件、その上の新生児の聴覚検査433件で、先ほどのハローウッドが441、ちょっと人数がばらばらなんですけど、このあたりはどうしてこういうふうにはばらけているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） カウントするタイミングが異なるためというところで

ございますが、具体的に申し上げますと、例えば新生児聴覚検査は、国保連を通じて医療機関から御請求いただくのが2か月後というふうになりますので、そういったタイミングでいろいろずれてくるのが要因でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 実績報告書の51ページですけれども、下のほう、出産後、赤ちゃん訪問を実施されているわけですが、世の中にはせつかく訪問されても拒否をするようなお母さんも見えるということを知っています。豊明でそのようなこと、あるかないか、また、あった場合はどういう処置を取るのか。もしあれば、分かれば教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 令和6年度につきましては、保護者の方から、訪問は必要ないですか、拒否された方は1件ございまして、そういった方につきましては、お電話でいろいろと御様子を伺ったりですとか、3か月健診では必ずお会いして御様子を伺うようにしております。

以上です。

あと、すいません、先ほど御質問いただいてお答えをお待ちいただきましたハローウッドプロジェクト事業の6年度の予算でございますが、約173万7,000円となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） もう一度金額を。

○子育て支援課長（松村清子君） すいません、約173万7,000円でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 あと、今のハローウッドプロジェクト、実績報告書の52ページだと思うんですけど、173万7,000円のうち、森林環境譲与税が充てられたのってどれぐらい分かかりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 今、お答えしたのが譲与税額なので、基本的にはほぼ、丸々充てているというふうな形でございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書51ページの真ん中の子宮頸がんワクチンですけれども、こ

れ、かなり接種件数が増えているんですけども、その理由と、これに関する健康被害の相談とかはどうなんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） こちら、キャッチアップ接種というのが、令和4年度から令和6年度までの事業となっております。ちょっと一部、条件付で7年度も打てる方も残ったんですけども、そういったことで、最終年度であります6年度には、メディアでもかなりPRされたのと、こちらとしても接種されてない方には個人通知したりですか、そういったことで接種向上に努めてまいりました。子宮頸がんワクチンについて、直接市のほうへ御相談ですとか健康被害、そういった件数はゼロとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

副委員長。

○郷右近 修委員 実績報告書53ページの帯状疱疹ワクチンの実績で、令和5年8月とここに書いてあるように、年度途中からの実施になったのに比べると、令和6年度実績のほうシングリックスに関しては数字が低いという状況なんですけど、どんな利用者、対象者の様子だったかというのは分かりますかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 今おっしゃられたように、昨年度よりは回数は減っておりますが、同様に、任意予防接種というところですので、正しい情報をお伝えしつつ、接種されたい方については助成をしていくというような事業をしておりますので、初めに打ちたい方が50歳以上の方が対象となっておりますので、助成を始めていただいたのではないかとこのように思っております。考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その下のコロナワクチンのほうですけども、これ、53人の予防接種ですが、中学3年生は何人このうちいたんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 6人です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 52ページ、実績報告書52ページの下のいろんな検診、健康推進活動事業の中の検診ですけども、こういういろいろ、がん検診等をされていますけども、そこで検診された方のうち、何か見つかって再検査ってなった場合に、再検査、行ったのかど

うかというのは確認はされていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 受診率とともに、精検率も100%目標としております。精検の結果につきましては、各医療機関のほうから返却いただいていたような形で、依頼書と返信用封筒もお願いしておりますし、返信がない方につきましては勸奨通知だとかをしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 勸奨通知をしているんですけど、検診を受けたかどうかというのは分かっているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 結果まで把握しております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それなら、どれぐらい再検査なった人で受診できているかという率だったりとか、そういうのは分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） がん検診の種類によって精検率が変わってきますので、精検の、市が把握している令和6年度末の時点で実施が把握できているのが、少ない受診率ですと75%、多いと90%を超えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の54ページの一番上、環境監視員の活動についてですが、報酬等というのが昨年度と比べて190万ぐらい増えているんです。で、日数も5日ぐらい増えているんですが、これ、解決に至った、この監視員によって解決に至ったものは何件ぐらいあるかというのと、あとは何件ぐらい対応したかというのを教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 解決に至ったというのは、例えば環境監視員さんだと、野焼きをしていたらすぐ現場に駆けつけて注意をしますので、そういった部分であれば、その都度解決しておるとい形になりますので、この相談件数のうちの大気汚染20件というのが主に野焼きですので、そういった部分であるとか、あとは不法投棄も監視員さんが解決というか、やはりそういったもので目を光らせておるとい部分の100件、これが全て解決

したわけではなく、何をもって解決というかはなかなか難しいと思いますけれども、そういった形で貢献していただいています。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 ありがとうございます。

では、下の衛生費、公害対策費のほうでもお聞きしたいんですが、これも監視員さんが出向いて、あとは窓口の、当局の方も出られたこともあるかもしれないですけど、まず最初に、このその他の67件について、その中身をちょっと教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） その他67件のうち、52件ぐらいが動物の死体があるよという連絡です。そのほかが粉じんのことであったり、あと蜂とか、そういったものの御相談という形になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 すいません、今の蜂の相談ということで、蜂のそういう相談があった場合は、職員さんが行くということじゃなくて、何か業者を、そういう連絡先を教えるという、そういったふうなことでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 蜂といっても様々ですので、例えばスズメバチやなんかだと危ないものですから、そういった形もありますけれども、場合によっては監視員さんのほうで殺虫剤という形もあります。ただ、民地かどうかとか、公共用地だとか、そういった形で対応は変わりますので、民地であれば、通常ですと御自身でお願いしますという対応になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 実績報告書56ページ、松本課長が多分まだ答弁したいと思うので聞きます。

衛生費のごみの収集です。年間のごみ回収実績量が、たしか平成28年か29年あたりぐらいからずっと下がってきているんですね。これ、年間の総量もそうなんですけども、市民1人当たりの1日に出す量、これも圧倒的に減ってきているんです。これはどういったことが要因でここまで減ってきているのかというのは、分析されていますでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） おっしゃるように、市民の皆様1人当たりのごみの、主に家庭系のごみの量というのは年々減ってきております。やはり、まずは市民の皆様が、可燃ごみについては水を切って出していただくとか、分別のほうを徹底していただくとか、余分なごみを出さないように御尽力いただけておるということで、我々としても、環境フェスタであるとか、いろいろな環境啓発とかといった部分でやらせていただいております。生ごみの処理機の補助金であるとか、そういったものも要因の1つではないかなというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 武谷委員。

○武谷としお委員 今のところの関連なんですけれども、56ページ、実績報告書の56ページ、今、課長の答弁にありましたけれども、生ごみの減量化の補助金、これ、電動化が追加されたことによって対象者も増えて補助金も増えた、そういった考えでよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 電動を追加して、例えば令和5年度との比較だと、令和5年度だと電動は21件が、令和6年度だと50件という形で増えておりますので、市民の皆様、電動を購入される方が増えて、ごみの減量に寄与していただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の56ページ、今の塵芥処理費のところの、玄関先への戸別有料回収を実施したとあるんですが、この金額というのは幾らぐらいかということと、あと、何件ぐらいこの申込みがあったか、教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） こちら、粗大ごみの有料回収という形になっておりますので、回収実績としては3,378戸になります。で、粗大ごみの券を買っていただくことになりますので、そちら1,030円という形になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 関連。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の個別の有料回収というのは、仕組みとしては、そのまま回収事業者には入っていく、回収事業者の収入になるのか、一旦市が徴収して委託料という形で

出すのか、どういうふうなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 令和6年度の粗大ごみの回収は清掃事務所が行っておりますので、清掃事務所で回収し……。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どうぞ、続けてください。

○環境課長（松本裕介君） 清掃事務所で回収をして、少し分別というか、解体なんかさせていただいた後に、エコリに持っていけるものは持って行って、それ以外のもの、売却できるものは売却するという流れです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の54ページ、一番下になります。

先ほど公害対策事業で話ありましたけど、相談件数328件のうち、解決した件数ってお分かりになりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 解決した件数というのは、すいません、なかなか解決の判断というのが難しいんですけども、逆に、令和5年度に御相談のあった案件で、令和6年度も引き続き対応させていただいておるとい案件に関しては約10件弱ございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 もう一つ、一番下の3番です。地下水位調査事業なんですけど、毎月1回ということなんですけど、この場所はどこなんでしょうかということと、どうやって決めるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 地盤沈下ですね、これ、所管は愛知県になります。愛知県から、この場所ということで委託を受けております。場所は藤田医科大学になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 青木委員。

○青木けんじ委員 決算書の81ページ、下から3分の1ぐらいのところで、がん患者ウィッグ等購入費助成金なんですけど、これ、何人ぐらいの方がこちらのほうを申請なさっているんでしょうか。また、そのウィッグ、金額のほうの上限とかはあるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） こちらのほうですけれども、合計で30件の申請をしております。上限は2万円となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算報告書の56ページの衛生費、真ん中のところ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 56。

○こんどうのぶお委員 実績、衛生費のところなんですけど、これ、前年度決算が2,000万、それで今回決算2,000万で、予算現額が6,400万ってあるんですけど、これ、何でこの6,400万になるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。予算現額が6,400万、決算現額が。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） こちら、すいません、トイレカーを繰り越した部分になろうかと思えます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書54ページ、一番上、環境監視員の活動について。

先ほど、報酬が190万ぐらい増えたというふうでお聞きしたんですけど、これは、この理由を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 環境監視員の期末勤勉手当の影響です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどの56ページ、実績報告書、その56ページの一番下で、浄化槽汚泥なんですけど、これは単独と合併の両方が入っているんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 単独と合併両方入っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 もう一つ、3,232基ということで、これ、増えていると思うんですけど、どうして増えるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） こちら、清掃したときのあくまでも引き抜きの汚泥の量になりますので、浄化槽の基数イコールではございません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書の52ページの3、健康推進活動事業のところで、子宮頸がん検査受診促進事業で、若い女性の方の受診率は上がりましたでしょうか。

それからもう一つ、特定健診受診者のうちに、糖尿病性腎症、腎疾患の予備軍に対して予防教室を行っていただいているんですけども、糖尿病予備軍の方とか腎臓病の方というのは結構、物すごく多い数があるんじゃないかなと思うけれども、実際この19人と61人というのを見ると少ないかなと思うんですけど、これについての分析というか、見解を教えてくださいいただけますか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） がん検診全般について、若い方の世代の受診率が伸び悩んでいるのは伸び悩んでおります。

CKD、いわゆる腎臓病とか糖尿病なんですけども、こちらの教室の対象は、豊明市の国民健康保険の加入者の特定健診結果後のフォローとなっておりますので、全体ではないです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の85ページ、いろいろまとめてちょっと聞きますけども、85ページの真ん中辺りの委託料の資源回収委託料と資源処分委託料、それから、その次の86ページの下の辺りの塵芥収集委託料、87ページの下のところのし尿くみ取りの委託料で、事業者へ委託している事業ですけども、これがやはり毎年少しずつ上がってきている。この上がる分も、100万、200万と上がってきているんですね。恐らく人件費の高騰というところもあるかなと思うんですけども、ごみは減ってきて回収する分は減ってきているんですけども、これ、どういうふうに金額というのは確定をされているのか。あと、入札とかそういうこともやっているのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 今おっしゃっていただきました委託について、やはり上がっ

ている要因としては人件費になります。確かにごみの量が減っておって、委託料としては上がるということなんですけれども、やはり車両ですね、可燃ごみであれば市内にたくさん可燃のステーションがございます。そういったところを全て回っていくということになりますと、ごみの量が減ってもやることは変わらないという形になりますので、人件費であるとか燃料費、そういったものの高騰で上がってしまっておるとい状況になります。

ほかの委託も基本的には同様ですので、理由としてはそういったことになります。こちらは、入札は見積り徴集という形でやっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 資源も、し尿も全部ですね。塵芥もですね。
（一緒ですの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 分かりました。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 なので、事業者のこの委託料の費用というのは、例えば、何人に対してどれぐらいの時間がかかったのかというふうで払っているかとか、車の燃料費でどれぐらいかとか、そういったところまで確認しているのかということと、あと、先ほど、見積り徴集でという話なんですけれども、入札で、複数の事業者が手を挙げた中で安いところが選ばれるとか、そういった競争みたいなことはしているのかどうか、どうでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、積算については、車両何台でとか、どういったこと、車両何台で何をやっているという形で積算をしております。

入札をしていない理由、これは判例でも出ているんですけども、こういった特に一般廃棄物の収集に関しては、やはり競争になじまないという形が想定されますので、そういった形で入札はしておらないというふうに、そういう状況でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 競争になじまないということなんですけれども、こういったことができるところというのはほかにないんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、できる場所はあると思います。ただ、それをやったとして、こちらについて、ごみの収集が滞るとい事態だけは絶対に避けたいといけないというふうに考えておりますので、今の現状のやり方でやらせていただきたいというふう

に考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の関連で、塵芥収集委託料のところ、収集箇所数も増えているかと思うんです、肌感覚では。調べたら2,449か所あったんですが、令和6年度ってどのくらい増えているんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 可燃ごみだと2,496か所、今、何とおっしゃいました、委員。
(2449の声あり)

○環境課長（松本裕介君） そうですね、2496。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほど、家庭系ごみの減量ということで、1人1日の排出量というのは具体的に何グラム、あとリサイクル率もお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、1人1日当たりは444グラムで、昨年度は、453グラムでした。

リサイクル率でよろしいですか。すいません。

リサイクル率に関しましては昨年度が28.31%で、今年度が、令和6年度が27.31%です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 すいません、ちょっと先ほどの確認なんですけど、実績報告書の51ページの子宮頸がんワクチン接種事業で、これ、接種延べ件数2,200件あって、副反応というのありましたっけ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 市のほうにお寄せいただいている御相談、医療機関からも含めてございません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の84ページの真ん中辺りの休日診療の医薬材料費、これ、前回、昨年は590万で、今回1,000万とかなり高額になっているんですけども、こういったこ

とも医薬品、高騰しているかなと思うんですが、一応その理由と、これ、どこから購入していて、こういったことも競争入札とか、そういったことができるのかどうか。どのようにしているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） こちらの医薬材料費が増えたことなんですけれども、昨年度はインフルエンザが急激に流行しました。そのときに検査薬と治療薬の確保が発注のタイミングでは品薄状態でしたので、確実に供給されるということではありませんでした。あと年末年始も控えておりましたので、数が確保できる、幾つかの医薬品の会社から、確保できるところで入札というか、随意契約で購入しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の82ページの下から7ぐらい、有害鳥獣駆除委託料が3倍ほどに上がっているんですが、何が増えたのかと、あと、何か温暖化とかで、そういう生息が変わったのかな、そういう温暖化の影響とかもあるとかという分析はあるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、有害鳥獣駆除委託料、こちらにつきましては、猟友会様にわなの設置のほうを委託をさせていただいております、そちらの件数、わなを設置して捕まえることができたならば殺処分という形なんですけれども、こちらの実績が増えていきますので、わなに関しては令和5年度8件だったものが11件、殺処分に関しては令和5年度2件だったのが6件という形で増えております。

で、何が増えたかと言いますと、ハクビシンが少し増えておるのかなという状況ではありますけれども、気候的な要因というのは、分析しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 上がった理由は、わなの数が増えたということではないんですね。

（実績が増えたということですのでの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 すいません、何度もすいません。

環境監視員さんの活動についてですけど、ちょっとこだわりがあって、54ページ、実績報告書の54ページで、実際にこの監視員さんは、活動日数は350日って書いてあるんですけ

ど、パトロールする時間、それから実際外に出ていく時間、出ている時間、それから、通報して走ってもらえる時間、電話してももう戻ってきているから駄目だということは、結構早い時間から言われることなんですけど、その活動の、実際に現場にも行ってもらえる、通報して行ってもらえる時間帯、時間、それを教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、環境監視員さんに関しましては、年末年始以外、土日祝日問わず、まず対応はしていただいておりますということなんです。

で、対応できる時間ですけれども、基本的に9時から出勤をさせていただきますので、9時からで、お帰りになれるのは5時までです。9時から5時までの勤務になります。我々のほうで別にお願いがあれば、その時間にこだわらずやっていただくということはもちろんありますし、ただ、やはり当然こういった方、車両の準備だとか、そういったこともありますものから、9時から5時までぴしっとというわけではなくて、それを過ぎたら職員の方で、その前、その後、職員の方で対応できる部分は対応しますので、そういった形で運用のほうをしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 すいません、今ちょっと誤解があるといけないんですけど、お昼時間は活動しないですね。当然、出られないということでもよろしいですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 出られないというか、通常のパトロールはお昼の時間はやっていないということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長、そうじゃなくて、昼、指定があれば、昼でも全然時間関係なくやるということですよ。

○環境課長（松本裕介君） おっしゃるとおりです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の53ページの一番下、環境審議会ですけれども、これ、たった1回しか、これ見ますと昨年度はやってないんですけども、市としてどういうふうにCO₂削減をしていくのかとか、これ、2030年までに46%削減という国が目標、掲げていますけれども、そういったこととか議論できているのか。それから、市の新エネルギー、これも新エネルギーの検討委員会が昔ありましたけれども、それもこの環境審議会に統合したん

ですけれども、そういった市で行う新たな新エネルギーとか、そういったこともここで検討できているのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 令和6年度に開催させていただいた環境審議会、こちらは、林委員おっしゃるように、環境基本計画における地球温暖化対策の進捗状況ということも確認はさせていただいております。ただ、やはりなかなか一朝一夕でCO₂が削減できるというわけではございませんので、委員の皆様からいろいろな御意見いただきながら、じゃ、どうやっていくかということの場というふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それをどうやっていくのかということを、たった1回でそういうことができるのかどうかということを知っているんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 確かに必要であれば、回数にこだわらず開催はもちろんさせていただきます。環境基本計画、これ、中間見直し、来年度、もう想定されておりますので、そういった中で、環境審議会の中でもお話あったんですけども、実際具体的にどういう数字を入れていくのかという部分に関しては、議論していく必要があるというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、それなら市として、2030年、46%削減という目標があるんですけども、市としては令和6年度でどのくらいCO₂削減ができたのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） CO₂の削減というのは、基本的に使った電気、こちらをCO₂換算して出すということが一般的でございます。例えば、市でいうと公共施設のLED化であるとか、道路の街灯のLED化という部分は進んでおりますので、概算ではありますけれども、年間で99トンほど削減ができておるというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それって何%とかというのはわかりますか。量だけですか。パーセンテージだとどうですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 分かります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 全体が、ちょっとお待ちください。すいません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の53ページ、一番上のところで成人予防接種事業があるんですけど、定期接種、高齢者肺炎球菌予防接種です。で、去年が577人ほどだったと思うんですけど、今回190人と、この減った理由はどうでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 令和5年度までは経過措置ということで、65歳だけではなく、70歳以上5歳刻みの方が対象と含まれていたためです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それ、前回まではそういった5年間の経過措置あったんですけど、それ、なぜなくなってしまったんですか。で、必要な方でもういらっしゃらないんですか、以前の方は。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） こちらは平成26年の10月から定期となりまして、10年間、令和5年度まで経過措置が続いておりましたが、国のほうで接種率だとかを経過を見ていく中で、もう定期化の対象者ではなくてもということで、令和6年度からは65歳の対象者と、一部の60歳から64歳という結果になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） すいませんでした。

全体で市のCO₂というのが25万3,357トンを想定しておりまして、そのうちの、これが年間ですので、そのうちの99トン、すいません、単位がぐちゃぐちゃで申し訳ないですけど、になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員、いいですね。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 割合は分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） そうしたら、これで答え、よろしいですか。独自で計算いただくということで、お願いします。

ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書53ページ、真ん中辺の草刈り機貸出しなんですけど、これ、今、燃料というか、ガソリンで使っていると思うんですけど、今後、騒音だとかCO₂の対策で電気とかに変える、そういった方向はないんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これはちょっと、決算とは関係ないです。

浅井委員。

○浅井たかお委員 すいません、松本課長に質問なんですけど、すいません、これ最後になると思いますが、私の、環境監視員、実績報告書の54ページ、環境監視員活動の中で、これ、2名合計と書いてあるんですが、1名だけの出勤のときもあるということよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） おっしゃるとおりです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほどの林委員の関連になるんですが、CO₂削減云々のところの、確認したいんですが。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ページ数。

○ふじえ真理子委員 ページ数はどこだ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 実績。

○ふじえ真理子委員 実績の53ですね。環境衛生費、4目辺り。

市全体でCO₂、先ほど25万余何トンってあったんですが、これは市とか民間とか個人の住宅とか、全部含めての数字が25万何トンというふうですかね。そのうちの99トンというのは公共の部分ですか。ちょっと私、理解が、ごめんなさい。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） すいません。まず、この私申し上げたのは市の施設、エコアクションプランという中で出していますので、あくまでも市の施設。で、市の施設ですので、逆に建物ですので、道路の街路灯とか、そういったものはそこには入らないです。入らないので上乗せ部分という形になります。

で、先ほど、何%かというところ0.04%です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 私は市の全体、公共だけじゃなくて、全体のCO₂のを見てきたい。

で、CO₂の見える化というのでも取り組まれているじゃないですか。そういった個人で取り組まれている、事業者が取り組んでいるというのでも分かるかと思うんですが、その辺の数字は把握はされていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 市全体のCO₂の量なんですけれども、こちらは現状だと、国の自治体カルテから各市町村に、あなた方はこれぐらいですよというふうに、いろんな統計を基に案分されて出てきた数字という形になります。なので、それと実際の差を埋めるために、ボトムアップという形で、各市民の方であるとか事業者様に、どのぐらい使っていますかというふうにお尋ねして、その差の部分を埋めれたらいいなということでやっておりますが、みんなの算定ツールに関しましては、やはり現状でも80世帯分ぐらいしかやはりちょっとデータが取れていない状況なものですから、それをもってどれだけというのは、なかなかちょっと申し上げにくいという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて、4款 衛生費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために暫時休憩といたします。

午後4時27分休憩

午後4時33分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、5款 労働費について、説明を願います。

星子部長。

○経済建設部長（星子恭士君） それでは、5款 労働費の決算概要を、実績報告書に基づき御説明いたします。

実績報告書の57ページを御覧ください。

1目 労働諸費です。前年度比ほぼ同額でございます。主な理由は、移住支援金の申請がなかったため、旅費、職業訓練校への負担金のみの支出となっております。主な事業は、近隣6市1町合同によります地元企業就職ガイダンスと、ハローワークとの共催による就職フェアinとよあけを開催いたしました。

以上で5款の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 説明は終わりました。

5款 労働費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井たかお委員 57ページですけど、実績報告書、この地元企業就職ガイダンス、昨年度を見ると7市1町とあったんですけど、これ、長久手が減っているんですけど、これはどういった理由でしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

塚谷産業支援課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 詳しい事情は聴いておりませんが、長久手市が脱退したということです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 この実績報告書57ページにある就職ガイダンスと就職フェアですけども、昨年も多分聞いたと思うんですが、就職につながった件数とかは分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 林委員おっしゃるとおり、昨年も同様な質問をお受けいたしました。

地元企業就職ガイダンスにつきましては、出展企業にアンケート調査を行いまして、毎年ではございませんが、就労につながっているとの回答を得ております。中には2年連続で就職につながったという企業もございました。

また、就職フェアinとよあけにつきましては、こちらにつきましては、後日面接や見学まで行った人数までは把握しておるんですが、就職者数は把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ガイダンスの件数、聞いているんじゃないですか。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 失礼いたしました。

件数は、申し訳ございません、毎年ではございませんので把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、就職フェアのほうの、じゃ、面接とか、そういうところまで行った人数というのはどうなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 35件でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つなんですけども、上も下も豊明市民とは限らないような気がするんですけども、この来場者の中で豊明市民、どれぐらいかは分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 豊明市民かは分かりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 大体の割合だったりとか、そういうことも全然分からない、もしかしたらゼロ人かもしれないしということなんですか。大体でも。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 大体で。おおむねで、分かればで。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 分かりかねます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の88ページ、5款 労働費の職業訓練校事業の協力金ってあるんですけど、この職業訓練校はどこにあるんでしょうか。これでどのような効果があるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 場所は碧南市のものづくりセンターというところがございます。

効果につきましては、建設業の職業訓練ですので、こちらのほうに訓練を行うことで、そういった技術の継承等が行われているというふうに認識しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

関連。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところなんですけども、実際に豊明市民で利用している件数とか、人数とか、そのあたりはどうですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 4年度から6年度で1名の参加があったというふう聞いております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 決算書88ページの移住支援金です。

毎年言っていますが、これも従来と同じ条件で、枠組みとかで取り組んだということでしたっけか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 委員おっしゃるとおりです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 これも毎年言っていますが、こうだからもうやめっか、みたいなことにはならなかったのでしょうか。振り返りで。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 制度がある以上、1名分の予算を計上しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて、5款 労働費の質疑を終わります。

続いて、6款 農林水産業費について、説明を願います。

星子経済建設部長。

○経済建設部長（星子恭士君） それでは、6款 農林水産業費の決算概要を、実績報告書に基づき主なものを御説明いたします。

実績報告書の58ページをお願いいたします。

1項 農業費、1目 農業委員会費です。前年度比約229万円の減額でございます。主な理由は、令和5年度に実施いたしました農地関連システム整備が事業完了したことによるものでございます。主な事業といたしましては農業委員会事務で、農業委員会総会を毎月1回開催し、付議案件を処理いたしました。

2目 農業総務費でございます。前年度比約531万円の増額です。主な理由は人件費の増額によるものです。主な事業といたしましては、農村環境改善センター運営事業でございます。

3目 農業振興費です。前年度比約30万円の減額です。主な事業といたしましては、各農業団体や農業者への支援、農産物の品質向上を図るための支援を行いました。

次に、60ページをお願いいたします。

5目 農地費です。前年度比約7,570万円の増額です。主な理由は、農業土木工事費の増額によるものです。阿野排水機場の遊水池しゅんせつ工事、沓掛町徳田池下地内の農水管改修工事などを行いました。

以上で6款の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 説明、よろしいですね。

説明は終わりました。

6款 農林水産業費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の58ページ、一番下の地域農業振興推進事業ですけども、2つあります重点品目支援補助、これ、何件で何種類かということと、あと、地産地消の推進補助も、これはどれぐらい推進できたでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

加藤農業政策課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、豊明産農産物重点品目支援補助金についての品目数は8品目です。対象者につきましては21名となっております。

その下の豊明産農産物地産地消推進補助金でございますが、対象者は19名。こちらは給食に提供するための農産物を生産するための補助を行うことで、農業者の意欲向上につながって地産地消を推進することができたと思っております。あと、給食使用拡大に向けた検討会もやっておりますので、こちらは学校給食とか保育園給食に新しい、今まで使っていなかった野菜も取り入れることができました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の市が実施する給食での使用というところなんですけども、19名の農家の方が参加されているということですが、成果としては、市のそういう野菜とかが何%から何%に上がったとか、何種類に上がったとか、そういうのは出ていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） そこまで詳しくは私たちのほうでは把握しておりませんが、ただ、農業者の方のお声が、昨年度は高温だとかそういった障害で野菜がなかなかできなかつたんだけど、給食に納入するということで頑張ってやっている、それに対して補助していただくということは本当にありがたいということを直接伺っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実際に給食に納入したかどうかというのは、農政課のほうでは確認はしてないんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 数量までは把握しておりませんが、実際に納入したということは伺っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の今の58ページの、今、同じとこなんですけど、豊明市の重点品目、これが8品目あるということだったんですけども、8品目分かれば教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 白菜、カリフラワー、ブロッコリー、カリノーケール、スイートコーン、柿、ミカン、梨です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 書き切れませんか。大丈夫ですか。もう一回言ってもらいますか。

じゃ、もう一度お願いします。じゃ、最後だけ。

○農業政策課長（加藤直美君） 柿、ミカン、梨です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の90ページの真ん中ほどにあります病虫害難防除対策費補助金、これ、恐らくカメムシだったかと思うんですが、実績をまず教えてください。

あと、もう一点、これも温暖化の影響とか、そういったことも考えられるでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 実績というのは人数でよろしかったでしょうか。

（人数と件数の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 人数と件数です。

○農業政策課長（加藤直美君） 人数でちょっとお答えさせていただきます。人数につきましては124名でございます。

ちょっと件数につきましては、ちょっと複雑ですので、ちょっとそちらのほうは数字は持ち合わせておりません。

以上です。関連。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員、いいですね、件数は。

じゃ、関連。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 カメムシでよかったですかね。

で、これ、温暖化の影響とか、こういう補助が増えて必要になってくるんですけど、こういうふうには捉えていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは、委員のおっしゃられているとおり、温暖化だとか、そういったことの影響で被害が拡大されていたイネカメムシ、あと昨年度、ヨトウムシという虫も一部地域で大発生したというところです。こちらは、昔は集団防除というものをやっていたんですけども、都市近郊であるということで、大変ちょっと難しい状況でございますので、個々の農業者の方がやっていただくということで、この対策費の補助金を上げております。ただ、地球温暖化というのは、これからも継続していくという形になると思いますので、いろんな虫の発生というのは今後も続いていくと予想されます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今お答えいただいたように、おっしゃるとおり、いろんな虫が増えていく、で、影響が、作物に影響があるから、今後増えていくのかなというのが想像つくんですけど、それは対症的療法的。温暖化の流れはどんどん行っているんですけども、その中で当局としてどういうふうに、外注のこの補助はいいんですけども、根本的なところの議論というのはどの程度されているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ぎりでしょうね。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは、私ども市単独で何かがやれるかというのは、そういったことは大変難しい問題でございまして、ただ、国を挙げて、今、高温に耐性ができるような品種改良とか、そういったことは進めていますし、例えば作物を変えるとか、そういった転換もやっておりますので、そうした流れで、農業者の方が選択するという方向になるのかなというふうには捉えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の58ページ、上から2つ目、農林水産業費、農地利用最適化推進事業の中で遊休農地というのが出ていまして、あと、優良農地、保全を図ったというのがあるんですけど、この遊休農地、優良農地の、全農地のどのぐらいの割合になるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 割合についてはちょっと出せてないんですけども、遊休農地につきましては令和6年度は1.5ヘクタールでございまして。あと、全体の農地につきましては461ヘクタールでございまして。

あと、優良農地の指定などでございまして、これはどう捉えるかという問題もございまして、そちらのほうはお答えしづらいです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 関連。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の優良農地の定義というのは、どういったものになるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 私どもは昨年度とその前の年で地域計画というものをつくっております、そちらで主な耕作者の方を集めて座談会とかやっておりますが、こちらは皆さんが、今後も耕作しやすい農地だとか、あとは農振農用地区域内で圃場がきれいだとか、そういったものが該当するかと思われまして。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その中で、農業委員会の委員とか、あと農地利用適正化推進委員

という方、この方は何人見えるのかということと、あと、その後の農地パトロール、これは何回されているんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、農業委員会委員ですけれども、現在、定数11名ですけれども、今現在の人数は10名です。農地利用最適化推進委員さんは定員6名、現在の人数も6名でございます。

農地パトロールにつきましては、こちらは、具体的にどんだけ件数やったかというのは。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 農地パトロールの何か回数とか、そういう。

○農業政策課長（加藤直美君） ごめんなさい、回数につきましては年3回やっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 実績報告書の60ページですけれども、中ほどの大府市排水機場の負担金ですけれども、この負担金を出している理由と、いつ頃から出しているのか、それから、大府市のこの排水機場というのはどこにあるのか、この3点について教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山土木課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらは、五ヶ村川に設置されております大府市、豊明市にも五ヶ村川ございまして、その下流に当たりまして、大府市に入ったところに第3排水機場というのがございます。豊明市の負担としては33.12%、約3分の1が上流から来る水の処理だという解釈で負担金を払っております。

設置年度、申し訳ありません。ちょっと後ほどお答えいたします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 設置年度、後ほど出ますか。じゃ、持っておきます。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 実績報告書の59ページの豊明産の農産物PR事業の中で、PRチラシ印刷代というのが9万9,660円上がっていて、新規事業だと思うんですけど、どこに何枚ほど配布して、その費用対効果を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、PRチラシの枚数ですけれども、3,000枚作成しました。こちらは、豊明まつりと同時にやっております農業まつりをJAの豊明支店でやっているんですが、そちらのほうで配ったり、あと、JAさんの産直施設のところで配った

りということで、半分ぐらいは使われております。ただ、こちらで配布したときの皆様のお声なんですけれども、豊明でこんな種類の農産物を作っているんだということを知っていただくいい機会になりました。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 加藤課長、産直施設に配るっていいんですか、置いとくじゃなくして。

○農業政策課長（加藤直美君） ごめんなさい、置いとく状態です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、実績58ページの上の農地利用最適化推進事業で、ちょっと聞き漏らしたら申し訳ないんですけども、農地パトロール年3回というのは具体的に何を、どういう成果が上がっているかということを知りたいんですけど。

先ほど、遊休農地が1.5ヘクタールあると。それが減っているのかとか、優良農地が増えているのかとか、そのあたりは確認されているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、年に3回やっている農地パトロールは何をしているのかということなんですけれども、国に報告しております荒廃農地調査で、ずっと毎年毎年調査するものがございますので、そちらを調査しているのが121筆。あと、農地を農地として取得された方の利用ですね、利用状況を把握して、ちゃんと適切に農地として管理されているかということもやっております。ちょっと件数については、持ち合わせておりませんので申し訳ございません。それを、時期をずらして、夏に行っても草生えだったりとかするものですから、3回ぐらいやって、本当にされているのかなということも把握しております。あと、草生え、そのときに、腰丈より上の草生えのところにつきましては、農地の適正管理のお願いということで、草刈りの依頼文書を通知しております。

遊休農地の面積なんですけれども、令和5年と令和6年度は同じ1.5ヘクタールで変わらないんですけども、今、農地の所有者の方は高齢だとか、担い手とか後継者不足で、だんだんやれない方も多いい中、実際に農地パトロールに行ってお手紙を出すことで、遊休農地が解消されたという部分もありますので、ただ相殺されて、数字的には変わらなかったということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） こんどう委員。

○**こんどうのぶお委員** 実績報告書の58ページ、下の農業振興費、地域計画作成関連事業の中で、農業経営基盤強化促進法の改正ということがありまして、これで地域農業経営基盤強化促進計画、地域計画というのが策定されているということで、策定地区が5地区ですか、取りあえずこの5地区、どこでしょうか。

○**決算特別委員長（中堀りゆういち議員）** 加藤課長。

○**農業政策課長（加藤直美君）** まず、東沓掛地区、西沓掛地区、阿野地区、大脇地区、間米地区の5地区でございます。

以上です。

○**決算特別委員長（中堀りゆういち議員）** じゃ、こんどう委員。

○**こんどうのぶお委員** この地域計画、具体的にどのような計画になるんでしょうか。

○**決算特別委員長（中堀りゆういち議員）** 加藤課長。

○**農業政策課長（加藤直美君）** これは、地域の農業を維持発展させていくことを目的として、地域の農業の将来の在り方、地域の農業を担うもの、10年後に目指す地域の農地利用を示した地図を示した計画でございます。

なぜこのものをつくらなきゃいけないかという、地域内の農業を担う者に位置づけをされないと、補助金の申請要件であったりだとか、この地域内での農地の貸し借りなどを行うときの条件になるものですから、そちらのほうを策定して、この中で農業をやりたいよという人たちについては位置づけるということが必要となります。

以上です。

○**決算特別委員長（中堀りゆういち議員）** こんどう委員。

○**こんどうのぶお委員** そういった計画はということで、その中の問題点とか課題とかはどうなんでしょうか。

○**決算特別委員長（中堀りゆういち議員）** 加藤課長。

○**農業政策課長（加藤直美君）** 問題点は、農業者の高齢化や後継者不足によって、耕作放棄地の増加が懸念されていると。また、農業をやっても利益が出にくいよという、地域での話合いではそういうお話が出ていました。

地域における将来の在り方は一体どういうことかという、申し上げますと、農地の将来の耕作者は、意欲のある人、法人に任せると。ただ、地域の全ての農地の維持は困難なので、優良なまとまった農地を維持していくということで、皆さんの意見をまとめております。

以上です。

○**決算特別委員長（中堀りゆういち議員）** 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書59ページの真ん中辺りの農業振興補助事業の2番目、米の生産調整の対策奨励費の補助金なんですけども、これ、説明を見ますと、米の需給と価格安定のため作付転換を奨励するとあるんですけど、今、米が足りなくて高騰してきているので、作付転換をすると米が減るんじゃないかなと思うので、これ、補助を実施したら駄目な気がするんですけども、どういう、これはなぜこれを実施しているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 現在、米価が上がっているのは皆さん御存じのとおりなんですけれども、こちらのほうは、米価が上がっているというのは、その年に作られた食べるお米ですね、いわゆる主食用米って言っているんですけども、この生産調整の中には需給調整米といって、備蓄米だとか、米粉用米だとか、飼料用米というのもございます。あと、じゃ、全ての田んぼに食べるお米を作付できるかってなりますと、そうするとそれは価格の暴落にもつながったりしますので、やっぱりこちらは、麦だとか大豆とかの作付に対しても補助しておりますし、じゃ、麦とか大豆とかを、じゃ、国内生産がなしになったらいいかというところというわけではないものですから、そうしたことも踏まえた奨励費というふうに御理解いただければと思います。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございますか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 先ほど、月岡委員に御質問いただきました大府市排水機場負担金の件ですが、大府市の排水機場、第3排水機場がいつできたかという御質問に対しまして、こちらは昭和44年1月に大府市と豊明市で、当時大府町、豊明町ですけど、こちらで維持管理に係る費用負担の協定を結んでおりますので、昭和44年にはもう施設としてはあったものと考えられております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の58ページの農業委員会費、このタブレット端末購入の購入費なんですけど、これは農業委員の方全ての方に貸出しというか、渡しているんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 委員のおっしゃられるとおり、この令和6年度にタブレット端末を購入したことで、全ての委員さんにお渡しすることができました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連。

浅井委員。

○浅井たかお委員 この消耗品費というのもあるんですけど、これの内容もお聞きしたいんです。

それから、端末の利用ということで、農地の現地確認等に活用するためということなんですけど、これを持って行って、全ての委員の方が持って行って何かやるということなんですか。内容もどんなことでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、消耗品費につきましては、タブレットを使うときのカバーだとか、あと、現地調査に活用するものですから、かばんとかタッチペン、こちらのほうを購入しております。

じゃ、全員の方がどんなふうに活用されているのかということなんですけれども、まず、農地につきましては、カーナビがあっても、その場所に行き着くことが大変難しい状況でございます。この端末で位置情報を把握して、このタブレットで写真を撮って全員の方で共有しています。

じゃ、全員の方が同じような使い方をされているのかというと、委員の方も御高齢の方も見えるものですから、まずタブレットを使ったことがないという方もお見えなものですから、そちらの方も順次職員が分からないところをお教えしたりとか、そういった格好で慣れていただくというところから始めてみえる方も見えますし、先行して、農地利用最適化推進委員さんは先行してお渡ししているものですから、その方たちは大変便利に使っているよということは、お声は伺っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 実績報告書の60ページ、上の段、農林水産業費の農地費、農業土木工事13件ということで、せっかく資料を取り寄せてくれたものですから、伊藤部長に怒られてしまうといけないので質問をしますが、3番の阿野の排水機場、しゅんせつ工事ということで4,482万6,100円ということですが、これ、しゅんせつということで、土量のボリュームも出てきたと思うんですけど、どれぐらいの量がしゅんせつされましたか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） しゅんせつ土は780立方メートル、あと、混合廃棄物が若干、

6立米ほど出ております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の59ページ、農業振興補助事業の4番で、地域農業を支える農業団体に運営費の一部の補助と健全な育成ということで、農業団体育成指導補助金、これ、3団体となっています。どちらの団体になるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、豊明園芸組合、2つ目が豊明産直友の会、3つ目がにじいろクラブでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの資料ナンバー4の⑥の阿野排水機場と、その下の農水管の徳田池下、これは金額が両方とも大きいものですから、阿野のほうは、これは土とか廃棄物を処理したという費用ですかね。これ、かなり金額が大きいんですけども、どういうことかということと、こっちの徳田池下の管更生のほうは、どういった工事をされたのかちょっと、改めてちょっと説明をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まず、阿野の遊水池、阿野排水機場の遊水池しゅんせつ工事ですが、おっしゃるとおりに土砂のしゅんせつ処分が大半でございます。あと、水を一旦下げて、大型土のう等で止めて、そういったものの費用、あとは交通誘導員、搬出するときの交通誘導員等の費用でこの金額となっております。

2点目の農水管改修工事、徳田池下地内の工事になりますが、既存のV U 500、塩ビ管の500という農水管、こちらが深いところでの土かぶり、七、八メートルあったものですから、立て坑を2か所つくりまして、管更生、中から管を更生する工法で修繕いたしました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の徳田池下のところが、これ、この資料を見ると、当初から200万ほど、250万ぐらい上がって増額で契約しているのかな、だと思っておりますけども、これはどういう要因でそうなっているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 変更の理由といたしましては、曲管といたしまして、曲がった部分についてはダクタイル、鉄、鋳鉄製の部材を使うんですけども、そこ、事前にちょっとその部材の試掘をしまして、曲管部分の試掘、あと、仮設通路として鉄板敷きを計上いたしまして、主なものはそのような形で変更増しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のの関連で、確認で教えてほしいんですが、当初の予定価格と落札率もお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 落札率は97.91%です。

予定価格は、ちょっと計算させていただいて、ちょっとお時間いただきます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） そしたら計算してから、それともふじえ委員、自分でできる、やればいいですか。

じゃ、計算をお待ちしていますのでお願いします。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の59ページ、農業振興補助事業の8番なんですけど、有機農業に取り組んでいる農業者に交付ということで環境保全型農業直接支払交付金なんですけど、当市で有機農業に取り組んでいる農業者は何団体、何名見えるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 有機農業に取り組んでみえる方はちょっと把握しておりませんけれども、この補助金を活用している団体につきましては1経営体となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績60ページの一番下の林業ですけども、この民有林の伐採届が6年度何件出ているか、あと広さはどのくらいか、まずお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 伐採届の件数につきましては3件でございます。面積につきましては1.35ヘクタールでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その伐採する場所の、森林がなくなるということですので、排水の状況だったりとか、土砂崩れの状況だったりとか、そういうのは市は確認されているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、この届出を受け付けたときに、関係各課に合議を回しておりますので、そちらのほうから特に問題はなかったというふうで記憶しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 先ほど、ふじえ委員、聞いていただきました農水管改修工事の予定価格でよろしかったと思いますけど、予定価格は6,269万2,300円でございます。お配りした資料ナンバー1の①の14番に出ておりますので、参考にしてください。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員、関連ですね。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の先ほどの伐採届のところで、関係各所の稟議というのはどこを言っているのか。それから、そういったところが、現地とかそういった状況を確認しているかというのは確認、分からない状況ですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 関係各課は、土木課、都市計画課、環境課とか、そういうところになりますが、そちらの職員の者が現場に行っているかどうかまでは把握はしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、農政課は分からないかもしれないんですけども、ほかの課、あと部長も関係する課、所管していると思うんですけども、それは、そういうのは確認しているかどうか、分からないんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 要は現地に行ったのか。

星子部長。

○経済建設部長（星子恭士君） 伐採届による苦情等は各課からは聞いておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 確認されているかどうかではなくて、ちゃんとそういった届けが出たときに、そこが排水の状況がどうかとか、危険な土砂崩れの危険性がないかどうかとか、伐採した後どうかということも、確認しているかどうかということを知っているんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 星子部長。

○経済建設部長（星子恭士君） 確認までは行っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書60ページの真ん中から上の辺なんですけど、土地改良事業の中の農業多面的機能支払事業委託料があるんですけど、これはどういった目的、内容になるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 地元の活動団体、豊明市でいうば勅使池保全の会ですが、こちらの農業施設の維持管理、それから長寿命化といったところに、市のほうが補助金を出す形をしております。こちらは国、県からも補助が出ておりますので、地元の活動に対する市からの補助金とお考えください。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほどの伐採についてなんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 何ページ。

○浅井たかお委員 ごめんなさい、実績報告書の60ページなんですけど、ちょっと私、聞き漏らしたらすいません、伐採の目的というのがちょっと分からないんですけど。それを知りたいんですけど、教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これは一番下の。

○浅井たかお委員 そうです、ごめんなさい、一番下の林業費のところの1.35ヘクタールというの。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 伐採届の目的なんですけれども、こちらは、伐採するのに、その後の利用方法だとか、もしそれが利用されなかったら、5年後はどんなふうの木を植えるかとか、そういったことが目的のものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連ですよね。

浅井委員。

○浅井たかお委員 もう一度、今の説明、ちょっとゆっくりしてください。ゆっくりしてください。すいません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長、ゆっくりだそうです。お願いします。

○農業政策課長（加藤直美君） 失礼しました。

まず、伐採届でなんですけれども、その場所で、皆伐なのか、全ての木を切ってしまうのか、それとも間伐なのか、一部の木を切るのかというところと、あと、伐採後、どういうふうな目的で利用されるのか。利用がそのまま、利用がなされなかった場合、5年後どういうふうに木を植えるのかというようなことが記載されているものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今言われた目的の中で、伐採届が受理できないものもあるんじゃないか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、伐採届出というのは、あくまでも届出なものですから、何も使わないのに伐採するというんだったら、じゃ、逆に5年後には森林を植えてくださいという形になろうかと思います。ですので、提出書類がちゃんと備えてあれば、受付をするものでございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の真ん中の大府市の排水機場負担金、先ほど質問ありましたけども、460万の負担金ですけども、この負担割合、先ほど33.12%って、33%ほどだったかと思うんですけども、この負担割合はどのようにして決まっているのかということと、今回この460万はどういう費用なのか。それから、これ、今後もこれぐらいの費用が続くのか、どうなんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 先ほどの協定書、大府と結んだものに流域の面積がついておりまして、流域面積、豊明側でいくと大脇の排水機場の横の、その辺りです。その辺りの

流域を入れてもらっているので、33%程度と決まっております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 要は、割合は場所、広さでちゃんと、それで決められているということですよ、言っているのは。

○土木課長（外山紀元君） そうですね、流域面積で。

あと、この費用は維持管理費、電気代とか、電気、通信等ですね。あと、修繕等をいたしますと、その費用についてもこちらが費用負担する部分がございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その上のほう、今、実績報告書60ページの上の県営事業の土地改良の耐震でため池耐震、道池とか洞洼洞池をしていますけども、これ、耐震工事で、この辺りの治水も非常に、雨、洪水によって危ないところかなと思うんですけども、容量を変える、さらにためれるようにという話はしているんですか、どのように工事されていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 例えば、道池なんかは6年度に完了したんですけども、治水対策としても、私どもの治水対策の中でも、道池については貯留量4,510立米確保したいということで、県営事業でありますけども、洪水吐き、取水施設等も、排水先等も改良していただいて、治水対策としての工事も兼ねております。

以上でよろしかったですかね。以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 なので、しゅんせつして、土を取ったりとかして容量を増やしたのか、どれぐらい増えたのかというのは分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ため池の工事としては、主は耐震の工事でありますけども、同時に水が吐ける吐き口のほう、水位を上げたりとか、水がちょっとたまるようにした感じで、貯留量、私どもの計画した4,500立米ほどはためれるような形で改良していただいております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 どれぐらい増えたかというのはちょっと分からないですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 要はどこから、どこから4,000になったか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 道池のもともとの貯留量ということでよろしいですか。

後ほどお答えします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の60ページの真ん中辺なんですけど、境川堰管理費負担金、これ、去年15万円ほどだったと思うんですけど、3倍か4倍上がっているけど、この理由は何でしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらも老朽化が進みまして、このときにも仮で、仮復旧といたしますか、復旧工事、本体はゴム製なんですけども、亀裂ですとか、若干の穴とか空いていて、それを直しました。直した修繕工事費が入っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ちょっとお待ちください。

先ほどの林委員の質問だったんですけど、これ、洞池だけじゃなく、皿池とかも全部、この3つを聞けばいいんですよね。

（分かればですの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 分かれば。道池だけで。

じゃ、道池だけでお願いします。

ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のところなんですけど、境川の堰の管理費で、これ、刈谷市とやっているといるんですけど、その割合はどういうふうなんでしょうか。負担割合。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 刈谷市と豊明市で5割ずつの負担であります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの県営の耐震のところの洞洼洞池と皿池はまだこれ途中なんですかね。そこも容量を増やすように話は進めているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 洞洼洞池はまだ設計委託の段階でした、6年度は。皿池につきましては6年から工事始めておりますけど、まだ仮設道路ですとか堤体を一部触った段階で、貯留量等はまだ変わっておりません。もともとの貯留水量については、ちょっと台帳はございますので、後ほど調べて。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 先ほど、林委員の道池の貯水量、幾つだったかってやつ、あれ、2万1,000ぐらいじゃなかったでしたっけね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） アドバイスです。どうですか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ちょっと記憶は定かではないので、台帳しっかり見てからお答えしたいと思います。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、その下の県営事業の大久伝排水機場の更新、これ、完了しているかなと思うんですけども、排水能力というのは上がっているんですかね。どれぐらいの雨量に耐えられるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今の、60ページ。

○林 ゆきひろ委員 ごめんなさい、同じ60ページの、先ほどの道池、洞洼洞池の下の県営たん水防除事業、これの大久伝排水のことです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ポンプの能力の考え方としては、受益面積によりますので、アップするという事はないんですけども、もともとついていたものが劣化して機能が下がっていたものは回復する形で、現状のものよりは上がる、現状といいますか、古いものよりは上がる数値にはなります。ただ、機能アップということではありません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 大久伝排水なので、大久伝、非常に東海豪雨で浸水したところだと思うんですけども、そういう治水対策、災害対策で、さらに排水できるようにというのは考えなかったんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） もともとの考えは農地のたん水を防除するため、被害を防ぐためでございますので、同時に集まってきたごみとかも処理できますし、境川に排水するわけですけども、農地の保全という形の施設となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の60ページの農業費、農地費の境川堰管理費負担金のところ、先ほど刈谷と豊明で負担割合が5割ずつというふうでお聞きしたんですけど、これはお互いにどちらからでもこの境川堰の操作ができるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 操作自体は、操作盤は刈谷市側にしかございません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 ということは、刈谷は自由に自分たちの都合でできるんですけど、豊明のほうで水が欲しいという場合は、こちらでできないということは、そういった場合はどうやって連絡というか、操作してもらおうのでしょうか。それで、その不都合があるのに、5割負担というのはおかしいと思うんですけど、その辺はどうでしょうか。交渉はされたのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらは少なくとも昭和63年頃からある施設で、63年に川の改修したときに今の形になったものなんですけども、平成2年4月に管理に関する覚書というのを結んでおりまして……。質問、ちょっと違ってきたかな。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 要は、スイッチが入ってないのに負担割合50%ずつでいいんですかということです。

○土木課長（外山紀元君） 言いかけてました、管理に関する覚書では、そういった操作でできる、できない、あと、受益する面積等で負担割合を決めるということまでうたってなくて、維持管理にかかる費用は5割ずつ負担するというので覚書を結んでおりますので、それに従って5割負担という形になっております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 そのときの覚書にはそういった条件がないということはちょっと不公平があるので、それを改めるというふうで意見等は申出はしたんでしょうか。覚書を、ちょっとこれ、不公平もあるし、そういったことの条件まで書いてないので、改めて条件を検討しましょうという、そういう提案はしましたでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 委員がおっしゃるように、現状でも受益地としては豊明のほうはどんどん減ってってる形で、刈谷市はそんなに減ってないということで、操作のこともそうなんですけど、受益面積等でちょっと見直しを図りたいということ、昨年度から刈谷市のほうに伺って申出はしておるんですけども、ちょっと補正のほうになっちゃうんですけど、今回大きく見直す予定をしております、そういうのが終わって、あとちょっとまた協議を進めようかということで話は進めております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 先ほどの道池の貯留量ですが、2万1,000立米でございました。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 2万1,000立米だとしたら、あれ、4,510立米にするって聞いていたんで。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） プラスですよ、それ。

○林 ゆきひろ委員 これ、2万1,000プラス4,510ということですか。分かりました。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて、6款 農林水産業費の質疑を終わります。

続いて、7款 商工費について、説明を願います。

商工費の説明、星子部長。

○経済建設部長（星子恭士君） それでは、7款 商工費の決算概要を、実績報告書に基づきまして御説明いたします。

実績報告書61ページをお願いいたします。

1目 商工総務費です。前年度比332万円の増額です。主な理由は、商工人件費の増額によるものでございます。主な事業は、とよあけ花マルシェ事業やふるさと納税業務、創業支援セミナーなどを開催しております。

次に、62ページをお願いします。

2目 商工振興費です。前年度比約5,089万円の減額です。主な理由は、令和6年度は地元応援割引券事業がなかったためでございます。主な事業は、商工会への補助事業のほか、信用保証料の助成や企業再投資促進補助金を交付しております。

次に、63ページをお願いいたします。

3目 観光費です。前年度比ほぼ同額でございます。主な事業は市観光協会への補助で、古戦場まつり、甲冑作成教室やイルミネーション事業などに対して補助を行いました。

同じく63ページの4目 消費者行政推進費です。前年度比73万円の減額です。主な理由は、令和6年度は都市ガス導入補助金の交付がなかったためでございます。主な事業は消費生活相談事業のほか、消費者保護対策として、悪質商法などに対する対処方法などの出前講座を開催し、消費者被害に遭わないための周知啓発に努めております。

以上で7款の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 説明は終わりました。

7款 商工費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○**こんどうのぶお委員** 実績報告書の62ページ、商工業振興補助事業の2番目なんですけど、これ、街路灯等維持管理事業費補助金ってあるんですけど、これ、球切れ修理とかもあるんですけど、これ、みんなLEDには変わっているんですか。

○**決算特別委員長（中堀りゆういち議員）** 塚谷課長。

○**産業支援課長（塚谷友昭君）** 全てLEDとなっております。

以上です。

○**決算特別委員長（中堀りゆういち議員）** 林委員。

○**林 ゆきひろ委員** 実績61ページの2の企業誘致のところ、柿ノ木地区の3次募集があるんですけども、これ、ヒアリング等行ったってあるんですけど、結果はこれ、柿ノ木地区の企業は決まったんでしょうか。

○**決算特別委員長（中堀りゆういち議員）** 塚谷課長。

○**産業支援課長（塚谷友昭君）** 3次募集の結果ということで、これ、7年度に、今年度にまたがっておるんですが、3次募集の結果、2区画を募集したんですが、1社決まっております。

以上です。

○**決算特別委員長（中堀りゆういち議員）** 毛受委員。

○**毛受明宏委員** せっかくまた資料があるものですから、使わせていただきますけど、2の7番、61ページの、実績報告書ですね、ふるさと豊明応援寄附事業ということで、今年は780万ほど伸びているということでございますけど、内容的には多分いつも、毎年同じメニューというか、新しいものが入っていったりとか、これ、要因ですね、結局、伸びた。私、ゴルフ好きですんで、9番のゴルフクラブあたりは多分かなりマニアの人がすごい好きなんですよね。

（バームクーヘン、バームクーヘンもいいですねの声あり）

○**毛受明宏委員** バームクーヘンも多分好きな人は好きだと思うんですけど。そういう要因というのは何か1つあるんですかね。

○**決算特別委員長（中堀りゆういち議員）** 塚谷課長。

○**産業支援課長（塚谷友昭君）** 令和6年度の寄附額が増額となった主な要因でございますが、まずは4つのポータルサイトがしっかりと稼働したことによるもの、それから、PET検診という某大学病院の検査があるんですが、これが前年度に比べて8件増えておりますので、これも要因でございます。また、大口の寄附が約400万円ほど入っておりますの

で、そういった要因で増えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの柿ノ木地区なんですけど、柿ノ木地区の工業団地全体であると1区画だけ残っていると、そういう現状でいいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 林委員のおっしゃるとおりです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 あと、その下の、61ページの下の創業支援ですけども、セミナー4回開催し32名の参加があったということですが、この32名のうち豊明市民は何名かということと、創業につながったのはどのぐらいあるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 豊明市の参加者は5名です。その後は追跡調査というのがちょっとなかなか、これ、難しいという表現になるんですが、把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の61ページ、表のところ、とよあけ花マルシェ事業、違うな、これ、すいません、このイベントセミナーの表の11月1日から12月15日、とよあけ花マルシェスタンプラリーのイベントがあったと思うんですけど、これ、前年と比べて半減ぐらいだと思うんですけど、この要因は何かつかんでいるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これ、実はちょっとカウントの仕方を、表記の仕方を変えたということなんですけど、前年度はスタンプラリー、登録した人でカウントしておったんですけど、昨年度は1つでもスタンプ、対象店舗に行った方でカウントしたという、その違いでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの創業支援のところですけども、5名の参加があったということですが、追跡がなぜ難しいかというのがちょっと分からなかったのと、あと、まちづくり指標でこういった創業件数を伸ばしていくことが、なかなかこれは伸びてなかったと思うんですけども、こういったことで創業を増やしていかないと難しいのかなと思うん

ですけれども、そのあたりはどういうふうに増やしていくと考えていますか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） まず、起業する方は、この創業支援セミナーを受ける方以外にもお見えになりますので、そういったところから、全体的な市内でどのぐらいの方が起業したかというのがなかなか拾えないというのがまず背景にありまして、そんな中で、林委員がおっしゃられた、まちづくり指標のほうの数値との関係なんですけど、こちらは便宜上、商工会に新規で加入された方という人数をまちづくり指標のほうに便宜上充てていると、その数値を入れているといった、その違いがございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の62ページ、商工業振興補助事業の3番目、これ、軽トラだとか商品券配布だとかありますけど、この合計が地域活性化事業費補助金273万4,000円と、これの内訳、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これ、予算の範囲内ということで、上限がちょっと決まっちゃっているんですけど、それぞれの事業の決算額で申し上げますが、商業セミナーが45万7,000円、円単位まで言ったほうがよろしいですか、よろしいですか。じゃ、商業セミナーが約45万7,000円、軽トラ市が約29万7,000円、年末謝恩事業が約164万1,000円でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書62ページの下のほうにあります、中小企業と再投資促進事業で5,500万ほど出ているんですけども、この補助金は何に使われているのかということと、その成果はどういうものが上がっていますか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これは、中小企業の方が工場を新增設する際の工場建設費及び償却資産の取得費用に対する補助金でございます。

その後の効果といたしましては、市内で頑張っていたいただいている企業さんが市外に流出しなかったということが一番の成果でございます。さらには新規雇用が14名生まれております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　そこの下の6番目、市内の従業員の住居目的とした社宅ということで、社宅数整備支援補助金で5件と。これ、どこなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君）　市内の事業者様で、こちらは4社で5件分という形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　毛受委員。

○毛受明宏委員　実績報告書の63ページの、これは上から、観光費、観光事務事業、サムライニンジャフェスティバルとか各出展、私もちょくちょく顔を出させていただいておるんですけど、土日に御苦労さまでございます。その結果、結構知名度というか、実感というんですかね、いろんなグッズも工夫されて販売されておられるんですけど、その辺というのの手応えというか伸びというか、その辺はどう見ておられますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君）　まず、毛受委員、イベントのほう、お越しいただいてありがとうございます。

私、ほぼ、昨年度については全ての事業、参加しており、私が感じた感想ではあるんですが、まず桶狭間関連グッズ、こちらのほう、職員が知恵を出して考えておりますので、かなり好調といいますか、マフラータオルセットとか桶狭間Tシャツ、こういったところは非常によく売れてございますので、桶狭間の戦いと背中に書いておりますので、そういったところから知名度といたしましては一定程度あるのかなと。さらにはフォロワー数の獲得というところにも力を入れておまして、ちょっと直近の数字がないんですが、最近では、X、インスタグラム等々で約5,500人ぐらいのフォロワー数がいるというところがございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　62ページ、実績報告書、下のほうなんですけど、中小企業等再投資促進事業、約5,500万ということなんです。これの対象となった企業1社ということで、どこの会社でしょうか。で、どういった条件でこれは対象になるんでしょうかということです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これは県のホームページで公表されておりますので、申し上げますと、市内のシンエイワークスという自動車部品を製造されている工場になりまして、その補助金の交付要綱上は、例えば製造業で市内で10年以上、県内で20年以上立地されているだとか、あとは常用雇用者数が25名以上であるとか、そういった一定の要件がございまして、それに合致された企業様に対して交付するものです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のところで、シンエイワークスさんですか、その会社のこれで、効果測定とかそういったことは出ているんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 効果測定、工場が建設された後につきましては5年間、操業開始から5年間については、工場がしっかり稼働しているだとか、償却資産がしっかり稼働しているか、そういったところの効果測定は行っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの説明ですと、これで新しい工場が建ったというような話だったんですけど、これによって固定資産税等の税収ってどれぐらい影響があるか、分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 個々での固定資産税等の算定はいたしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その下の商工業振興預託事業で、これ、借入困難なところに商工業振興資金をあっせんするんですけど、過去で回収困難とか、不渡りとか、そうなった件数、あるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） こちらについては、我々産業支援課のほうは書類を確認して保証協会のほうに送るといったところにとどまりますので、その後の回収可能、不可能とか、そういったところまでは承知しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これで7款 商工費の質疑を終わります。

それでは、本日の委員会はこれにて終了いたします。

明9月9日午前10時より委員会を再開し、本日の続きから審査を行いますので、よろしくをお願いいたします。

長時間御苦労さまでした。

午後5時43分閉議

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

決算特別委員会

委員長